

建築工事特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
【1】 工 事 概 要	1. 工 事 場 所	京都府船井郡京丹波町和田地内		1	③ 特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	
	2. 敷 地 面 積	1, 8 2 5 m ²					
3. 建築物概要	棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)	備 考	
	単身用医師住宅	木造	1	99.13	96.06		
	世帯用医師住宅	木造	1	103.67	103.67		
4. そ の 他	外構工事	進入路整備 調整池管理用道路整備 (町道、院内駐車場)		汚水排水管、敷設に伴う町道アスファルト撤去 中継ポンプ層敷設に伴う、土工事、保護躯体工事			
【2】 適 用 範 囲	現場説明書 (質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) (平成28年版) をいう。(以下、これを「標仕」という。) 本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。		1	④ 風圧力及び積雪に対する性能 (8.4.3、8.5.3) (10.5.3) (13.2.3~13.4.3)	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速 (Vo) ● 3 2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 ○ I ○ II ● III ○ IV 多雪地域の指定 ● なし ○ あり		
【3】 工 事 区 分	設計図書による。別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。				1	⑤ 現場代理人	本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
【4】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1	⑥ 工事工程報告			月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。日報は監督職員の指示による。週報は毎週 () 曜日に提出する。
【5】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。				1	⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による)
	【6】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑧ 設備工事との取合い
【7】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3)	
	【8】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑩ 工事写真 (1.2.4)
【9】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑪ 電気保安技術者 (1.3.3)	
	【10】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑫ 施工条件 (1.3.5)
【11】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑬ 発生材の処理等 (1.3.11)	
	【12】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑭ 発生材の処理等 (1.3.11)
【13】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑮ 技能士 (1.5.2)	
	【14】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑯ 技能士 (1.5.2)
【15】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑰ 完成図 (1.7.2)	
	【16】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			⑱ 安全に関する資料 (1.7.3)
【17】 工 事 仕 様		1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			1	⑳ 中長期保全計画書	
	【18】 工 事 仕 様	1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の () 内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。		1			㉑ 足場その他 (2.2.4)

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
① 適用基準等	● 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成28年版 (監修: 国土交通省) ● 建築工事標準詳細図 平成28年版 (監修: 国土交通省) ○ 敷地調査共通仕様書 平成27年版 (監修: 国土交通省) ○ 建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版 (監修: 建設大臣) ○ 公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版 (監修: 国土交通省) ● 公共建築木造工事標準仕様書 平成28年版 (監修: 国土交通省) ● 公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) 平成28年版 (監修: 国土交通省) ● 公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) 平成28年版 (監修: 国土交通省) (注: 監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す)	② 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿 (最新版)」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。 (評価名簿によるもの) 床型枠用鋼製デッキプレート (7A ^ハ 7 ^キ)、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材 (7B ^ハ 1 ^シ 形状、現場調合形)、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材 (防水立上部)、陶磁器質タイル、既製調合モルタル (7A ^ハ 6 ^用)、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材 (7A ^ハ 6 ^用)、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類 (7A ^ハ 6 ^用 錠、7A ^ハ 6 ^用 錠)、クロウザー類 (7A ^ハ 6 ^用 、7A ^ハ 6 ^用)、自動扉機構 (制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置)、自閉式上吊り引戸機構 (手動開き式)、重量シャッター、軽量シャッター、カーペットドア、ガラス7A ^ハ 6 ^用 型、型板7A ^ハ 6 ^用 、網入板7A ^ハ 6 ^用 、線入板7A ^ハ 6 ^用 、熱線吸収板7A ^ハ 6 ^用 、倍強度7A ^ハ 6 ^用 、熱線反射板7A ^ハ 6 ^用 、ガラスブロック (中空)、防水剤、現場発泡断熱材、7A ^ハ 6 ^用 7A ^ハ 6 ^用 (3000N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切 (7A ^ハ 6 ^用 7A ^ハ 6 ^用)、トイレブス、煙突成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム (屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム)、トップライト、エポキシ樹脂、タイル部分張替え用接着剤、ポリマーセメントモルタル、鉄製敷ふた (マンホールふた・弁拵ふた)
③ 山留めの撤去 (3.3.3)	● 撤去する ○ 存置する	③ 山留めの撤去 (3.3.3)	● 撤去する ○ 存置する
④ 基礎種別	○ 杭基礎 杭の種類、本数等 構造図による 工法 構造図による 試験杭 ○ 行う (構造図による) 7A ^ハ 6 ^用 の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭継手 ○ 7A ^ハ 6 ^用 接合 ○ 無溶接継手 杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による 杭の載荷試験 ○ 行う (構造図による) 継杭溶接部試験 ○ 行う (浸透探傷試験 _____ 本) 載荷試験 ○ 行う (下記以外は構造図による)	④ 基礎種別	○ 杭基礎 杭の種類、本数等 構造図による 工法 構造図による 試験杭 ○ 行う (構造図による) 7A ^ハ 6 ^用 の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭継手 ○ 7A ^ハ 6 ^用 接合 ○ 無溶接継手 杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による 杭の載荷試験 ○ 行う (構造図による) 継杭溶接部試験 ○ 行う (浸透探傷試験 _____ 本) 載荷試験 ○ 行う (下記以外は構造図による)
2 地盤の載荷試験 (4.2.4)	平板載荷試験 試験箇所数 _____ 箇所 (試験位置図示) 設計地耐力 _____ t/m ²	2 地盤の載荷試験 (4.2.4)	平板載荷試験 試験箇所数 _____ 箇所 (試験位置図示) 設計地耐力 _____ t/m ²
⑤ 砂利及び砂地業 (4.6.3)	厚さ (mm) ● 図示による ○ 60 材料 ※ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利及び切込砕石	⑤ 砂利及び砂地業 (4.6.3)	厚さ (mm) ● 図示による ○ 60 材料 ※ 再生クラッシュラン ○ 切込砂利及び切込砕石
⑥ 捨てコンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm) ● 図示による ○ 50	⑥ 捨てコンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm) ● 図示による ○ 50
⑦ 床下防湿層 (4.6.5)	ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm 重ね幅及び基礎梁際のみみ込 250mm以上 施工範囲 ○ 図示による ● 建物内の土間スラブ (土間コンクリート含む) の直下 (ピット下を除く) ○ 捨てコンクリートの直下	⑦ 床下防湿層 (4.6.5)	ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm 重ね幅及び基礎梁際のみみ込 250mm以上 施工範囲 ○ 図示による ● 建物内の土間スラブ (土間コンクリート含む) の直下 (ピット下を除く) ○ 捨てコンクリートの直下
6 土間断熱材	押出法ポリスチレンフォーム 3種 b のスキン層付き 厚さ ※ 2.5mm ○ _____ mm	6 土間断熱材	押出法ポリスチレンフォーム 3種 b のスキン層付き 厚さ ※ 2.5mm ○ _____ mm
7 地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。 ○ _____ 改良方法 セメント及びセメント系固結材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じた適切な措置を講ずること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財) 日本建築セメント) を参考とすること。	7 地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。 ○ _____ 改良方法 セメント及びセメント系固結材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じた適切な措置を講ずること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財) 日本建築セメント) を参考とすること。

設計番号		設計年度		平成 30 年 3 月	都 市 設 計	京丹波町立医師住宅等新築工事	図 番
設計番号		設計年度		平成 30 年 3 月			
Ver. H28.01					一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号	一級建築士登録 第152097号	村林俊治

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
5 鉄筋工事 ①鉄筋の種類 (5.2.1) ②溶接金網 (5.2.2) ③鉄筋の継手 (5.3.4) (5.5.2) (5.5.3) ④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5) 5 圧接完了後の試験 (5.4.9)	(表5.2.1) 異形鉄筋 種類 種類記号 径(mm) 備考 ※SD295A D16以下 ※SD345 D19以上 一般建築物の柱・梁の主筋に適用する ※SD295AはF _c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する 網目の形状、寸法 150×150 鉄線の径 6 mm 部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手の長さ ※柱・梁の主筋 ○重ね継手 ※ガス圧継手 D19以上 ○標仕表5.3.2による ○機械式継手 ○溶接継手 ※その他 ※重ね継手 ○ガス圧継手 D16以下 ※構造図による ○機械式継手 ○溶接継手 ○機械式継手 種類 工法 品質確認方法、修正方法等 ○溶接継手 種類 工法 品質確認方法、修正方法等 ○鉄筋継手位置 ※構造図による ○表5.3.3による ○柱に取付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ※構造図による ○表5.3.4による ○軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 ○塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施工箇所等 最小かぶり厚さ(mm) 土に接する部分 60mm 機械式継手及び溶接継手のあき ○ 試験方法 ※超音波探傷試験 ○引張試験	6 コンクリート工事 ⑦型枠(せき板) (6.2.5) (6.8.2) (6.8.3) 合板の規格 ※「合板の日本農林規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 合板の材質 ※広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ(mm) ※12 ○ 打放し仕上げのせき板 ※合板せき板を用いる場合 (表6.2.4) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 ○A種 ※6.8.3(b)(1) ○ ○B種 ※6.8.3(b)(2) ○ ○C種 ※6.8.3(b)(2) ○ ○合板せき板を用いない場合 せき板の種類 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※図示による ○20mm ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※図示による ○ ⑧スリーブ (6.8.3) スリーブの材質 (表6.8.1) 適用箇所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 ※つば付き銅管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6mm以上、つば幅50mm以上の銅板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 ※硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU) 上記以外の円形スリーブ ※溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上) ○ ⑨コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5) 10 軽量コンクリート (6.10.1) 常時土又は水に直接接する部分の使用 ○可 ○不可 種別 ○1種 ※2種 施工箇所 気乾単位容積質量 t/m ³ 11 寒中コンクリート ※予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節(寒中コンクリート)による。 12 暑中コンクリート (6.12.2) 暑中における構造体強度補正值(S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日~8月31日 ※6N/mm ² 中 部 地 域 7月21日~8月31日 ○3N/mm ² 南 部 地 域 7月1日~9月10日 13 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2) 施工箇所 セメントの種類 ○中熟熱ポルトランドセメント ○低熟熱ポルトランドセメント ○高炉セメントB種 ○フライアッシュセメントB種 ○普通ポルトランドセメント 混和材料 混和剤 ※AE減水剤又は高性能AE減水剤(JIS A 6204) ○ 混和材 ○フライアッシュのI種若しくはII種(JIS A 6201)又は高炉スラグ微粉末の3000又は4000(JIS A 6206) ○ スランブ ※15cm ○ ⑭コンクリートミキサー車の過積載防止対策等	7 鉄骨工事 5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) セットの種類 ○1類 (F8T相当) 摩擦面の処理 ○プラスチック処理(表面粗度5.0μmRz以上) ○リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験 試験方法等 ○図示による ○ 6 普通ボルト (7.2.3) ボルト径 ○ 7 溶接材料 (7.2.5) 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(a)(b)による ○図示による ○ 8 ターンバックル (7.2.6) 鋼の種類 ※割替式 ○パイプ式 ボルトの種類 ※羽子板ボルト ○両ねじボルト ○アイボルト 9 デッキプレート (7.2.7) (7.7.8) 材質、形状及び寸法 ※図示による ○ 10 工作図 (7.3.2) 高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、バアキ等 ※図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による) 11 仮組 (7.3.10) ○実施する 部位 () ○実施しない 12 溶接作業における技能資格者 (7.6.3) 溶接作業者の技量付加試験 ※行わない ○行う 試験の要領 ○図示による () ○ 13 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7) 開先の形状 ○図示による ○構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ エンドタブの切断 ○有 ○無 適用箇所 ※図示による ○ スカラップの形状 ○図示による ○構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○改良型スカラップ 14 溶接部の試験 (7.6.11) 完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※行う ○行わない ○工場溶接の場合 AQL ○4.0% ○2.5% 検査水準 ○第6水準(節全て) ○工事現場溶接の場合 AQL ○4.0% ○2.5% 15 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7) 種類 種 別 材 料 ・ 工 法 適用箇所(部位・部分) ○耐火材吹付け ○乾式吹付ロックウール ○耐火材巻付け ○半乾式吹付ロックウール ○耐火板張り ○湿式ロックウール ○耐火材巻付け ○繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○耐火材巻付け ○高断熱ロックウール ○耐火材巻付け ○ ○耐火材巻付け ○ 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性 能 適用箇所(部位・部分) ○30分耐火 ○1時間耐火 ○2時間耐火 ○3時間耐火 16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) 適用 ○構造用アンカーボルト 材質 ○SNR400B ○ アンカーフレームの形状及び寸法 ○図示による ○ ○建方用アンカーボルト 材質 ○SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○A種 ○B種 ○C種 柱底均しモルタルの厚さ ○50mm ○30mm 17 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) モルタルの種類 ※無収縮モルタル ○ 厚さ ※図示による ○ 工法 ※A種 ○B種	7 鉄骨工事 18 錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2) 塗料の種類 ○鉄鋼面の錆止め塗料 ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○ ○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○C種 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○行わない ○行う 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.4) ブロックの種類 ※16(C種) 普通ブロック ○16-W(C種) 防水ブロック コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²) 充填用及びまぐさ ※21以上 ○ 上記以外 ※21以上 ○ 各部の配筋 ※図示による ②コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) ブロックの種類 (表8.3.1) 適用箇所 種類記号 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 空洞ブロック 16 外壁の化粧積み 空洞ブロック 16-W 各部の配筋 ※図示による 腐化粒ブロック ●有 () ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²) ※18以上 ○ 3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5) パネルの種類 (表8.4.2) (表8.4.3) (表8.4.4) 区 分 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 構 法 耐火性能 ○外壁パネル ※1180 ○1960 ※100 ○A種 ※有り(時間) ○ ※B種 ○無し ○間仕切パネル ※640 ○ ※100 ※C種 ○E種 ※有り(時間) ○ ※D種 ○無し ○屋根パネル ※980 ○ ※100 ※F種 ※有り(時間) ○ ○無し ○床パネル ○2350 ○3530 ○100 ※F種 ※有り(時間) ○ ○150 ○無し 外壁パネルの工法 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 ○パネル幅の最小限度を300mm以下とする場合 _____mm パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 _____mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 ○適用する ○適用しない 4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2) ~ (8.5.5) 種類 ※無石綿タイプ(タイプII) 施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 工 法 耐火性能 ○外壁 ※フラットパネル ○35 ○A種 ※有り(時間) ○デザインパネル(図示) ○50 ○B種 (時間) ○タイルベースパネル ○60 ○無し ○ ※フラットパネル ○35 ○B種 ○有り ○デザインパネル(図示) ○50 ○C種 (時間) ○タイルベースパネル ○60 ○無し 外壁パネルの工法 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 パネル相互の目地幅 ○図示による ○ _____mm 出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅 ※15mm ○ _____mm やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出すること。 パネルに開口を設ける場合 短辺 開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルを切り欠く場合 短辺 長辺			
6 コンクリート工事 ①コンクリートの種類 (6.2.1) ②コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.14.1) ③セメントの種類 (6.3.1) ④骨材 (6.3.1) ⑤混和材料 (6.3.1) ⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	種類 ※普通コンクリート ○ 類別 ※I類 ○II類 (表6.2.1) 設計基準強度(F _c) 打 設 部 位 F _c (N/mm ²) スランブ(cm) 備 考 構造体 基礎 ※21 ○ ※15 ●18 上部 ※21 ○ ※15 ※18 土間スラブを含む 土間コンクリート ※18 ○ ※15 ○18 側溝・犬走り 捨コンクリート ※18 ○ ※15 ○18 軽量コンクリート ※21 ○ ※15 ○18 無筋コンクリート ※18 ○ ※15 ○18 標仕6.14.11による ※構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 [F _c +構造体強度補正值(S)] N/mm ² (6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○高炉セメントのB種(適用箇所 _____) ○シリカセメント ○フライアッシュセメントのB種(適用箇所 _____) 粗骨材 ※砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○再生骨材H 細骨材 ※砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) ○高炉スラグ ○電気炉酸化スラグ ○鋼スラグ ○珪石スラグ ○再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※A(無害) ○ 混和剤 ※AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種(JIS A 6204) 防錆剤 ※鉄筋コンクリート用防錆剤(JIS A 6025) 混和材 ※フライアッシュ(JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○コンクリート用高炉スラグ微粉末(JIS A 6206) ○コンクリート用シリカフェーム(JIS A 6207) ○コンクリート用膨張材(JIS A 6202) ※気温による構造体強度補正值(S) (表6.3.2) 予想平均気温(°C) 補正值(S) 期 間 (打 設 日) 普通 早強 8以上 5以上 3 3/6~6/30 3/11~7/20 3/11~7/10 N/mm ² 9/11~11/15 N/mm ² 9/1~11/5 9/1~10/31 0以上 0以上 6 11/16~3/5 11/6~3/10 11/1~3/10 8未満 5未満 N/mm ² 南部地域(京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域(宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域(上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)	7 鉄骨工事 1 鉄骨の製作工場 (7.1.3) ※建築基準法第77条の5第6項1に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(OS OH OM OR OJ)グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ○監督職員の承認する工場(標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る) 2 施工管理技術者 (7.1.3) (7.1.4) 適用する 3 鋼材の種類 (7.2.1) 材質、形状及び寸法 ※図示による ○ 4 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) ボルトの区分 ○トルシア形高力ボルト ○JIS形高力ボルト ボルト径 ○ すべり係数試験 ※行わない ○行う 試験方法等 ○図示による ○	7 鉄骨工事 5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2) (7.4.2) セットの種類 ○1類 (F8T相当) 摩擦面の処理 ○プラスチック処理(表面粗度5.0μmRz以上) ○リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※すべり耐力試験 試験方法等 ○図示による ○ 6 普通ボルト (7.2.3) ボルト径 ○ 7 溶接材料 (7.2.5) 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(a)(b)による ○図示による ○ 8 ターンバックル (7.2.6) 鋼の種類 ※割替式 ○パイプ式 ボルトの種類 ※羽子板ボルト ○両ねじボルト ○アイボルト 9 デッキプレート (7.2.7) (7.7.8) 材質、形状及び寸法 ※図示による ○ 10 工作図 (7.3.2) 高力ボルト、普通ボルトのゲージ、ピッチ、バアキ等 ※図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による) 11 仮組 (7.3.10) ○実施する 部位 () ○実施しない 12 溶接作業における技能資格者 (7.6.3) 溶接作業者の技量付加試験 ※行わない ○行う 試験の要領 ○図示による () ○ 13 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7) 開先の形状 ○図示による ○構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○ エンドタブの切断 ○有 ○無 適用箇所 ※図示による ○ スカラップの形状 ○図示による ○構造関係共通図(鉄骨標準図)による ○改良型スカラップ 14 溶接部の試験 (7.6.11) 完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※行う ○行わない ○工場溶接の場合 AQL ○4.0% ○2.5% 検査水準 ○第6水準(節全て) ○工事現場溶接の場合 AQL ○4.0% ○2.5% 15 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7) 種類 種 別 材 料 ・ 工 法 適用箇所(部位・部分) ○耐火材吹付け ○乾式吹付ロックウール ○耐火材巻付け ○半乾式吹付ロックウール ○耐火板張り ○湿式ロックウール ○耐火材巻付け ○繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○耐火材巻付け ○高断熱ロックウール ○耐火材巻付け ○ ○耐火材巻付け ○ 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性 能 適用箇所(部位・部分) ○30分耐火 ○1時間耐火 ○2時間耐火 ○3時間耐火 16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) 適用 ○構造用アンカーボルト 材質 ○SNR400B ○ アンカーフレームの形状及び寸法 ○図示による ○ ○建方用アンカーボルト 材質 ○SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○A種 ○B種 ○C種 柱底均しモルタルの厚さ ○50mm ○30mm 17 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) モルタルの種類 ※無収縮モルタル ○ 厚さ ※図示による ○ 工法 ※A種 ○B種	7 鉄骨工事 18 錆止め塗料 (7.8.3) (18.3.2) 塗料の種類 ○鉄鋼面の錆止め塗料 ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○ ○亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○C種 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ○表18.3.1による ※A種 ○B種 ○ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○行わない ○行う 8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.4) ブロックの種類 ※16(C種) 普通ブロック ○16-W(C種) 防水ブロック コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²) 充填用及びまぐさ ※21以上 ○ 上記以外 ※21以上 ○ 各部の配筋 ※図示による ②コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) ブロックの種類 (表8.3.1) 適用箇所 種類記号 間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 空洞ブロック 16 外壁の化粧積み 空洞ブロック 16-W 各部の配筋 ※図示による 腐化粒ブロック ●有 () ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²) ※18以上 ○ 3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5) パネルの種類 (表8.4.2) (表8.4.3) (表8.4.4) 区 分 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 構 法 耐火性能 ○外壁パネル ※1180 ○1960 ※100 ○A種 ※有り(時間) ○ ※B種 ○無し ○間仕切パネル ※640 ○ ※100 ※C種 ○E種 ※有り(時間) ○ ※D種 ○無し ○屋根パネル ※980 ○ ※100 ※F種 ※有り(時間) ○ ○無し ○床パネル ○2350 ○3530 ○100 ※F種 ※有り(時間) ○ ○150 ○無し 外壁パネルの工法 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 ○パネル幅の最小限度を300mm以下とする場合 _____mm パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 _____mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 ○適用する ○適用しない 4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2) ~ (8.5.5) 種類 ※無石綿タイプ(タイプII) 施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 工 法 耐火性能 ○外壁 ※フラットパネル ○35 ○A種 ※有り(時間) ○デザインパネル(図示) ○50 ○B種 (時間) ○タイルベースパネル ○60 ○無し ○ ※フラットパネル ○35 ○B種 ○有り ○デザインパネル(図示) ○50 ○C種 (時間) ○タイルベースパネル ○60 ○無し 外壁パネルの工法 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 ※建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 パネル相互の目地幅 ○図示による ○ _____mm 出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅 ※15mm ○ _____mm やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出すること。 パネルに開口を設ける場合 短辺 開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅 パネルを切り欠く場合 短辺 長辺			

12	⑦床張り用合板 (12.2.1)	普通合板	使用箇所	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理	
		※押入れ、物入れ	※5.5mm		※1類	広葉樹	※2等以上	○防虫処理	
			○		○2類		○		
					計葉樹	※C-D以上	○		
		構造用合板	使用箇所	等級	厚さ	樹種名	接着程度	板面の品質	その他処理
		※畳床下地材、70- リッパ張り下地材	※2級以上	※12mm		※1類	※C-D以上	●防虫処理	
			●1級	●2.4		●特類	○		
		パーティクルボード	使用箇所	厚さ	各種区分				
				※15mm	○	※13Pタイプ又は13Mタイプ			
		構造用パネル	使用箇所	等級	厚さ				
	⑧防腐、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)~(12.3.2)	防腐・防蟻処理	※行う(○木材保存剤の加圧注入 ●木材保存剤の塗布)						○行わない
		防虫処理	※行う(範囲:ラワン材等 ※「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分K1)						○行わない

13	1 性能	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	
		(表13.2.1)	
		屋根葺形式	材料の種類等
		○横葺	※JIS G 3322の屋根用コイル
	2 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3)	○瓦葺	○平葺
	3 折板葺 (13.3.2)	形式による区分	※重ね形 ○はげ締め形 ○嵌合形
	4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)	種類、大きさ、産地等	J型 53A ●F型 40
	5 とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)	といの材種	○配管用鋼管 ●鉄芯入硬質*リ塩化* (屋内といにV.P管は使用しない)
	6 保証書	※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限:工事目的物渡しより 10年間以上とする。)	

14	1 一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う(箇所以上、 ___N/箇所) ○行わない	
		種 類 施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外)	
		※H.L程度	下記以外の見掛り全て
		○No.2 B程度	
	2 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	種 別 種 類 施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)	
	③7Mn2Al及び7Mn2Al合金の表面処理 (14.2.2)	世帯用ポーチ底	
	4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)	表面処理方法 種 別 試 験 施 工 箇 所	
	5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4)	野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 屋外 ○19型 ※25型	
	6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※表14.5.1における「カド」の高さによる区分に応じた種類 ○	
	7 金属成形板張り (14.6.3)	形 状 製 法 材 種 寸 法 (mm) 表 面 処 理	伸縮調整継手 ※設けない ○設ける (施工箇所は図示)
	8 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)	種 類 板厚(mm) 表 面 処 理 備 考	建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した固定金具の間隔、固定方法等 ※図示による ○
	9 手すり (14.8.2)	材 料 及 び 表 面 処 理 施 工 箇 所	
	10 タラップ及び丸環 (14.8.3)	材 種 ※ステンレス製SUS304 (表面処理 ※研磨なし ○)	
	⑩ 天井点検口	※アルミニウム製既製品 (450×450) 計3箇所 (各廊下) ○アルミニウム製既製品 (600×600) 箇所	
	⑪ 床点検口	●アルミニウム製既製品 (600×600) 計3箇所 (各洗面所) ○ステンレス製既製品 (600×600) 箇所 ○鑄鉄製マンホール蓋 型 φ 箇所	
	13 屋上点検口	寸法 (mm) ○φ600 ○500角 断熱材 ○有り ○無し	

15	①モルタル塗り (15.2.2)~(15.2.5)	既製目地材	○適用する (形状 _____)		
		床塗り	目地の設置 ※有り (※押目地 ○) ○無し		
		外壁タイル張り下地等の下地モルタル塗りの確認及び試験 浮きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力試験 ※行う ●行わない			
		※種類及び品質は表15.4.1による ○せっこう系 ○セメント系 厚さ (mm) ※10 ○15			
	2 セルフレベリング材塗り (15.4.2)	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○			
	3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)	薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)			
		種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法 備 考	
		○外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け ローラー	
		○可とう形外装薄塗材Si	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け ローラー	
		○外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け ローラー	
		○可とう形外装薄塗材E	○砂壁状 ○ゆず肌状	吹付け ローラー	
		○防水形外装薄塗材E (増塗材)	○ゆず肌状 ○さざ波状	吹付け ローラー	
		○外装薄塗材S	砂壁状	吹付け	
		○内装薄塗材C	○凹凸状	吹付け ○調湿形	
		○内装薄塗材L	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○内装薄塗材Si	○砂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け	
		○内装薄塗材E	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○内装薄塗材W	○寂壁状じゅらく ○ゆず肌状	吹付け ○調湿形 ○耐アルカリ性 ○耐湿性	
		厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法 備 考
		○外装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け ローラー	
		○外装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け ローラー	
		○外装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○内装厚塗材C	○吹放し ○凸部処理	吹付け ○調湿形	
		○内装厚塗材L	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○内装厚塗材G	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○内装厚塗材Si	○吹放し ○凸部処理	吹付け	
		○内装厚塗材E	○平たん状 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	種 類 (呼び名)	仕 上 げ	工 法 備 考
		○複層塗材CE	○凸部処理	吹付け	
		○複層塗材Si	○凹凸状		
		○複層塗材E			
		○複層塗材RE	○ゆず肌状	ローラー	
		○可とう複層塗材CE	○凸部処理 ○凹凸状	吹付け ローラー	
		○防水形複層塗材CE	○凸部処理	吹付け (○増塗材)	
		○防水形複層塗材E	○凹凸状		
		○防水形複層塗材RE			
		○防水形複層塗材RS	○ゆず肌状	ローラー	
		複層仕上塗材の耐候性	※耐候形3種 ○		
		複層仕上塗材の上塗材	溶媒 ※水系 ○弱溶剤系 ○溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ○ 外観 ※つや有 ○つやなし ○メタリック		

15	4 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	軽量骨材仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	
		種 類 (呼び名)	仕 上 げ
		○吹付用軽量塗材	砂壁状 吹付け
		○こて塗用軽量塗材	平たん状 こて塗
	5 マスチック塗材塗り (15.6.2)	ALCパネルの内壁目地の形状 ※V型目地付き ○	
	6 ロックウール吹付け (15.8.2) (15.8.3)	種別 ○A種 ※B種 仕上塗り 種類 _____ 適用箇所 _____	
		吹付け厚さ (mm)	施 工 箇 所
			※仕上表による
		ワウールのホルムアルデヒド放散量	※F☆☆☆☆ ○
		接着剤のホルムアルデヒド放散量	※F☆☆☆☆ ○
	①性能	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	
	2 防火戸 (16.1.3)	※図示による ○	
	3 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 ○行う (建具番号 _____) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号 _____)	
	4 防犯建物部品 (16.1.6)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 (_____) ・サッシ 適用箇所 (_____) ・シャッター 適用箇所 (_____)	
	⑤アルミニウム製建具 (16.2.2)~(16.2.4)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (アルミ樹脂複合窓) (表16.2.1)	
		性能等級	※A種 ○B種 ○C種
		耐風圧性	※S-4 ●S-2 ※S-5 ○ ※S-6 ○
		気密性	※A-3 ●A-4 ※A-4 ○
		水密性	※W-4 ○ ※W-5 ○
		枠見込み (mm)	※図示 ○70 ○100 ※100 ○
		表面処理 (表14.2.1)	種 別 色 施 工 箇 所
		○B-1種	○標準 ○特注 ※図示による ○
		●B-2種	●標準 ○特注 ※図示による ○
		○	○標準 ○特注
		○	○標準 ○特注
		○防音ドアセット、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 _____) ○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 _____) ○耐震ドアセットとする場合 (面内変形追随性の等級 _____) 結露水の処理方法 ※図示による ○ 水切り、ぜん板等 ※図示による ○ ※出入口のくつぎりにステンレスを使用する場合は図示による。	
	⑥網戸 (16.2.3)	防虫網 網の種類 ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式 ○固定式 線径、網目 ※0.25mm以上、16~18メッシュ ○ 雨戸 手動式シャッター雨戸	
	7 樹脂製建具 (16.3.2)~(16.3.4)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表16.3.1)	
		性能等級	○A種 ○B種 ○C種
		耐風圧性	※S-4 ○ ※S-5 ○ ※S-6 ○
		気密性	※A-4 ○
		水密性	※W-4 ○ ※W-5 ○
		枠見込み (mm)	※図示 ○
		○防音ドアセット、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 ○T-1 ○T-2 ○) ○断熱ドアセット、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 ○H-4 ○H-5 ○)	
		ガラス	※複層ガラス ○単板ガラス ○三重ガラス ○
		表面色	○標準色 ○特注色

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項													
16	建具工事	8 鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1) ○ 防音ドアセット、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○ 耐震ドアセットとする場合 (面内変形追従性の等級) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ○ ○ 溶融亜鉛-5%Zn-Ni合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※ Y08を満足するもの ○ 鋼板類の厚さ ※ 表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm	16	建具工事	○ グレモン錠	レバー錠: 亜鉛合金、(○ステンレス)	○ 取付位置 ()	16	建具工事	⑪ ガラス (16.14.2) ~ (16.14.4)	材料	種別	種類等	種別	種類等								
		9 鋼製軽量建具 (16.5.2) ~ (16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 ※ 適用する (A-3) ○ 適用しない ○ 防音ドアセット、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○ 耐震ドアセットとする場合 (面内変形追従性の等級) 鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ ビニル被覆鋼板 ○ カラー鋼板 ○ ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ ※ 表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ mm			ケースハンドル錠	ステンレス				○ 強化ガラス													
		10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~ (16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表16.4.1) ○ 防音ドアセット、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) ○ 断熱ドアセット、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) ○ 耐震ドアセットとする場合 (面内変形追従性の等級) ステンレス鋼板 ※ JIS G 4305 ステンレス鋼板 (屋外) ※ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ステンレス鋼板 (屋内) ※ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※ 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ HL ○ 鏡面 曲げ加工 ※ 普通曲げ ○ 角出し曲げ			点検口錠	亜鉛合金程度、(○ステンレス)				● 型板ガラス F4 カスミ ○ 熱線吸収ガラス	FL3A3、FL4A4												
		⑪ 木製建具 (16.7.2)	建具材の含水率の種別 ○ A種 ※ B種 ○ C種 代用樹種の適用 ※ 可 ○ 不可 フラッシュ戸 表面材の合板の種類及び品質等 ○ 表面板の厚さ ※ 図示による ○ かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 ※ 図示による ○ 見込み寸法 ※ 36mm ○ ふすま 上張りの種類 ※ 図示による ○ 見込み寸法 ※ 19.5mm ○ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 30mm ○ 紙張り障子 見込み寸法 ※ 30mm ○ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○			○ ピボットヒンジ	加部: ステンレス、(○亜鉛合金)	亜鉛合金は本製建具用のみ			○ 網入板ガラス													
						⑫ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	○ ドアクローザー			本体: 7%Ni合金 7-ム部: 鋼 (焼付け塗装)	● 玄関扉	○ 縁入板ガラス											
								12 自動7開閉装置 (16.9.2) ~ (16.9.4)			閉鎖傾位調整器	ステンレス、(○鋼)		○ 合わせガラス										
								⑬ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	○ 押棒・押板	(○ステンレス、○黄銅、○合成樹脂)	○ 取付位置 ()	○ 網入板ガラス									
												⑭ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	上げ落し (フランス落し)	亜鉛合金程度、(○ステンレス)		○ 合わせガラス							
														⑮ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	○ アームカバー	鋼 (加-ムめっき)、(○ステンレス)		○ 合わせガラス					
																⑯ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	● 戸当り	亜鉛合金程度、(○ステンレス、○黄銅)	○ あり止め付き	○ 合わせガラス			
⑰ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)			凍結防止装置	○ 設ける ○ 設けない					○ 合わせガラス														
				⑱ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)				性能値等の区分 (表16.10.1)	適用戸の総質量 (kg) ○40以下 ○40を超えるもの 手動開き力 (N) ※15以下 ○ ※20以下 ○ 手動閉じ力 (N) ※15以下 ○ ※20以下 ○									○ 合わせガラス					
									⑳ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)								種類	○ 管理用シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 外壁用防火シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 屋内用防火シャッター (シャッターケース設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (シャッターケース設ける) 開閉方式 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)		○ 合わせガラス			
		㉑ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)															スラット及びシャッターケース用鋼板	材質	めっきの付着量		○ 合わせガラス		
						㉒ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)											○ シリンダー箱錠	○ 握り玉: ステンレス ● レバー錠: 7%Ni合金、(○ステンレス、○黄銅)	○ 取付位置 () 实用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○		○ 合わせガラス		
																		㉓ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	○ 本締り錠	シリンダー錠: ステンレス	实用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス建具) ○ 耐じん性能のグレード ○		○ 合わせガラス
								㉔ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)									○ 空錠	○ 握り玉: ステンレス ○ レバー錠: 7%Ni合金、(○ステンレス、○黄銅)	○ 取付位置 ()		○ 合わせガラス
												㉕ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)							13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)	性能値等の区分 (表16.10.1)	適用戸の総質量 (kg) ○40以下 ○40を超えるもの 手動開き力 (N) ※15以下 ○ ※20以下 ○ 手動閉じ力 (N) ※15以下 ○ ※20以下 ○		○ 合わせガラス
														㉖ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)					14 重量シャッター (16.11.2) ~ (16.11.4)	種類	○ 管理用シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 外壁用防火シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 屋内用防火シャッター (シャッターケース設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (シャッターケース設ける) 開閉方式 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)		○ 合わせガラス
																㉗ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)			15 軽量シャッター (16.12.2) ~ (16.12.4)	スラット	材質	めっきの付着量	
㉘ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																			16 オーバーヘッドドア (16.13.2) ~ (16.13.4)	セクション材	※ 7%Ni合金 ○ 7%Ni合金 ○ アルミ合金		○ 合わせガラス
				㉙ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)															17 性能 (17.1.3)	※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。			○ 合わせガラス
									㉚ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)										18 重量シャッター (17.1.3)	種類	○ 管理用シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 外壁用防火シャッター (シャッターケース設ける) 耐風圧強度 ○ 屋内用防火シャッター (シャッターケース設ける) ○ 屋内用防煙シャッター (シャッターケース設ける) 開閉方式 ※ 上部電動式 (手動併用) ○ 上部手動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)		○ 合わせガラス
		㉛ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																	19 ガラスブロック (16.14.5)	寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	パターン
						㉜ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)													20 ポリカーボネイト樹脂板	種類	mm		
																		㉝ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	21 性能 (17.1.3)	※ 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。			
								㉞ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)									22 ガラス (17.2.2) ~ (17.2.3)	材料	※ 7%Ni合金製		
												㉟ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)							23 PCカーテンウォール (17.1.3) ~ (17.1.3)	形状・寸法	※ 図示による		
														㊱ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)					24 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2) (17.3.2)	断熱材	※ 図示による		
																㊲ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)			25 構造用ガスケツト (17.2.2) (17.3.2)	見え掛り仕上げ	○ A-1種 (無着色) ○ A-2種 (着色)		
㊳ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																			26 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐風圧性	○ S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○		
				㊴ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)															27 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐震性	水平方向 (KH) ※ 1.0 ○ 鉛直方向 (KV) ※ 0.5 ○		
									㊵ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)										28 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	水密性	○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ○ W5		
		㊶ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																	29 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	気密性	○ A1 ○ A2 ○ A3 ○ A4 ○		
						㊷ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)													30 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐火性	※ 図示 ○ 30分 ○ 1時間 ○		
																		㊸ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	31 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐温度差性 (°C)	○ 80 ○ 70 ○ 60 ○		
								㊹ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)									32 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	遮音性	○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○		
												㊺ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)							33 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	断熱性	○ H1 ○ H2 ○ H3 ○ H4 ○ H5		
														㊻ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)					34 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	材料	※ 7%Ni合金製		
																㊼ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)			35 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	形状・寸法	※ 図示による		
㊽ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																			36 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	断熱材	※ 図示による		
				㊾ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)															37 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	見え掛り仕上げ	○ A-1種 (無着色) ○ A-2種 (着色)		
									㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)										38 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐風圧性	○ S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○		
		㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																	39 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐震性	水平方向 (KH) ※ 1.0 ○ 鉛直方向 (KV) ※ 0.5 ○		
						㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)													40 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	水密性	○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ○ W5		
																		㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	41 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	気密性	○ A1 ○ A2 ○ A3 ○ A4 ○		
								㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)									42 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐火性	※ 図示 ○ 30分 ○ 1時間 ○		
												㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)							43 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐温度差性 (°C)	○ 80 ○ 70 ○ 60 ○		
														㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)					44 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	遮音性	○ T1 ○ T2 ○ T3 ○ T4 ○		
																㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)			45 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	断熱性	○ H1 ○ H2 ○ H3 ○ H4 ○ H5		
㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																			46 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	材料	※ 7%Ni合金製		
				㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)															47 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	形状・寸法	※ 図示による		
									㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)										48 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	断熱材	※ 図示による		
		㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)																	49 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	見え掛り仕上げ	○ A-1種 (無着色) ○ A-2種 (着色)		
						㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)													50 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐風圧性	○ S4 ○ S5 ○ S6 ○ ○		
																		㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)	51 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	耐震性	水平方向 (KH) ※ 1.0 ○ 鉛直方向 (KV) ※ 0.5 ○		
								㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)			マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)									52 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	水密性	○ W1 ○ W2 ○ W3 ○ W4 ○ W5		
												㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨戸 鋼板製スラット フック棒 開き戸 (表16.8.1)							53 ガラス (17.2.2) (17.3.2)	気密性	○ A1 ○ A2 ○ A3 ○ A4 ○		
														㊿ 建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※ 作成する (グループ、各グループ 個) ● 作成しない ○ 在来マスターキーに合わせる 雨戸 ● 手動 (操作ロープ) 式シャッター雨									

章 項 目	特 記 事 項
19 4 帯電防止床シート、 床タイル (19. 2. 2)	○帯電防止床シート 種 類 性 能 厚 さ (mm) ○ <input type="checkbox"/> 体積抵抗値 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度
5 視覚障害者用 床タイル (19. 2. 2)	○帯電防止床タイル 種 類 性 能 厚 さ (mm) ○ <input type="checkbox"/> 体積抵抗値 1×10 ⁷ ~1×10 ¹⁰ Ω程度
6 耐動荷重性床シート (19. 2. 2)	種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/>
7 防滑性床シート、 床タイル (19. 2. 2)	○防滑性床シート 種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/>
⑧ビニル幅木 (19. 2. 2)	○防滑性床タイル 種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ <input type="checkbox"/>
9 ゴム床タイル張り (19. 2. 2)	種 類 厚 さ (mm) 備 考 ●軟質 ○硬質 ※60 ○75 ○100 ○150 ○200 ※1.5 ○2.0
10カーペット敷き (19. 3. 3) (19. 3. 4)	○織じゅうたん 種 別 織り方 パイル形状 帯電性 施 工 箇 所 ○A種 ○B種 ○C種 ○適用
11 合成樹脂塗り床 (19. 4. 2) (19. 4. 3)	○タフトカーペット パイル形状 パイル長さ(mm) 工 法 帯電性 施 工 箇 所 ※グリップ-工法 ○適用 ○全面接着工法
⑫ フローリング張り (19. 5. 2) ~(19. 5. 7)	○ニードルパンチカーペット 厚 さ (mm) 帯電性 施 工 箇 所 ○適用
	○タイルカーペット 種 別 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施 工 箇 所 ※1種 ※ループパイル ※500×500 ※6.5
	タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※市松敷き ○ <input type="checkbox"/> 階段部分 ※模様流し ○ <input type="checkbox"/> 下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ <input type="checkbox"/>
	見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○ <input type="checkbox"/>
	厚膜型塗床材 ○弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) ○ <input type="checkbox"/>
	○エポキシ樹脂系塗床材 ※薄膜流し展べ仕上げ ○ 厚膜流し展べ仕上げ (○平滑 ○ 防滑) ○樹脂モルタル仕上げ (○平滑 ○ 防滑)
	薄膜型塗床材 ○エポキシ樹脂系塗床材
	単層フローリング (表19. 5. 1)~(表19. 5. 6)
	種 別 樹 種 厚 さ (mm) 下張り 工 法 備 考 ●フローリング ボード1等 ●サクラ ○8 ※あり 釘留め工法 ○根太張り工法 ○直張り工法 ○接着工法
	○フローリング ブロック1等 ※なら ○8 ○15 ○接着工法 ○防水処理足金物付
	○モザイク パーケット1等 ○ ○ 接着工法

章 項 目	特 記 事 項
19 13 緑甲板張り (19. 5. 1)	複合フローリング 種 別 樹 種 厚 さ (mm) 下張り 工 法 備 考 ○1×6タイプ ○8 ○あり 釘留め工法 ○フローリング ボードタイプ ※なら ○15 ※あり ○根太張り工法 ○A種 ○B種 ※C種 ○直張り工法 ○A種 ○B種 ※C種 ○接着工法
⑭ 畳敷き (19. 6. 2)	※下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング表面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ○ <input type="checkbox"/> 仕上げ塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○オイルステインの上ワックス塗り ○生地そのままワックス塗り
⑮ セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (19. 7. 2)	種 別 ●A種 ○B種 ○C種 ○D種 (表19. 6. 1)
	種別 ※表19. 7. 11によるJIS規格品とする (表19. 7. 1)
	種 類 規 格 ・ 厚 さ (mm) 等 ●セッコウボード (GB-R) ※12. 5 (不燃) ●9. 5 (準不燃) ●化粧セッコウボード (GB-D) ●杉径模様 ○12. 5 (不燃) ○トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のもとする) ○不燃積層セッコウボード (GB-NC) ○トラバーチン模様 ※9. 5 (不燃) ○模様なし
	●シージングセッコウボード (GB-S) ○15 (不燃) ○12. 5 (準不燃) ※9. 5 (準不燃) ○強化セッコウボード (GB-F) ○21 (不燃) ○15 (不燃) ○12. 5 (不燃) ○ロックウール吸音ボード (RW-B) ※25 ○ ○グラスウール吸音ボード (GW-B) ※25 ○ ○吸音あなあきセッコウボード (GB-P) ○9. 5 (準不燃) ○ロックウール化粧吸音板 (DR) 内部用 フラット ○12 (不燃) ※9 (不燃) 立体模様 ○15 (不燃) ※12 (不燃) 軒天用 フラット ○12 (不燃) ※9 (不燃) 立体模様 ○15 (不燃) ※12 (不燃)
	○けい酸カルシウム板 (0. 8FK) タイプ2 (無石綿) ○8. 0 ○6. 0 ○ ○メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による ※1. 2 ○難燃毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15 ○断熱毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15
	○普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 板面の品質 防虫処理○行う
	○天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○なら ○しおじ 防虫処理○行う
	○特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 ○F ○FW ○W ○WS 防虫処理○行う
	●その他下張り用合板
	軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※アクリル系シーリング ○ウレタン系シーリング ○ジョイントコンパウンド 合板類の張付け (表19. 7. 3) ○A種 ※B種 セッコウボードの目地処理 (表19. 7. 5) ○目透かし ○突付け ●縫目処理
⑮ 壁紙張り (19. 8. 2) (19. 8. 3)	防火性能・種類・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による
	施 行 箇 所 防火性能 品 質 ・ 規 格
	素地ごしらえ モルタル及びプaster面 ○A種 ※B種 (表18. 2. 4) コンクリート面 ○A種 ※B種 (表18. 2. 5) セッコウボード面 目地縫目処理工法の場合 ※A種 ○B種 (表18. 2. 7) 突付け・目透し工法の場合 ○A種 ※B種 (表18. 2. 7)
⑰ 天井廻り縁 (19. 9. 2) (19. 9. 3)	材質 ○アルミニウム製 ●塩化ビニル製 ●木製 (和室)
18 断熱・防露 (19. 9. 2) (19. 9. 3)	材 料 そ の 他 断熱材 ○ビ-ス法 [®] リフレフォーム保温材又は断熱材 断熱材厚さ ○押出法 [®] リフレフォーム保温材又は断熱材 ○ mm 打込み工法 ○硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材 JIS A 9511 ○フェノレフォーム保温材又は断熱材 JIS A 9521 断熱材現場 吹付け厚さ 発泡工法 ※A種1 ○ mm (難燃性を有するものとする) ※開口部等補修用接着剤の [®] 放散量はJISで定めるF☆☆☆☆とする ※特定フロンを使用しないものとする。

章 項 目	特 記 事 項
20 ①家具、ユニット等の 揮発性有機化合物 対策	収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の [®] 放散量 ※F☆☆☆☆ ○ <input type="checkbox"/> 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 [®] 放散量 ※F☆☆☆☆ ○ <input type="checkbox"/> 含まれる可塑剤 ※フッ酸-フ [®] 等を含有しない、難揮発性のもの ○ <input type="checkbox"/>
2 2 フリーアクセス フロア (20. 2. 2)	※建設技術評価制度「耐震型フリーアクセス」の技術評価を取得した製品とする。 施 工 箇 所 寸法 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止 漏えい (mm) 高さ (mm) 性能 抵抗 スロープ及びポーター ※製造所の標準仕様 ○ 図示による コンセント等の取付け ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル ○あり (※固定式 ○可変式 施工箇所は図示) ※表面仕上げ材の品質、規模等は、構柱19章内装工事による。
3 3 可動間仕切 (20. 2. 3)	フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 ○ <input type="checkbox"/> 耐衝撃性能 ○ <input type="checkbox"/> ローリングロード性能 ○ <input type="checkbox"/> 耐燃焼性能 ○ <input type="checkbox"/>
4 4 移動間仕切 (20. 2. 4)	種 類 構 造 形 式 構成基材 表 面 仕 上 遮 音 性 寸法・形状 ※パネル式 ※メラミン樹脂又は ○スタッド式 アクリル樹脂接着 ○スタッパ [®] 式 ○ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆
5 5 トイレブース (20. 2. 5)	パネル操作方法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能 あと施エアンカー 材質 寸法 引抜耐力試験 ※行う
6 6 階段滑り止め (20. 2. 6)	表面材 ※メラミン樹脂系化粧板 ○ポリエステル樹脂系化粧板 (※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き) () 脚部 ※幅木型 ○足金物型 ヒンジ ※グレビティヒンジ パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F☆☆☆☆ 材質 ※ステンレス製 (SUS304) 幅 ※約35mm 形状 ※ビニルタイヤ入り 両端フット [®] ※あり (※ビニル ○SUS304) 取付工法 ※接着工法 ○埋込み工法
7 7 階段手すり (20. 2. 9)	○ステンレス製 (SUS304 H L 仕上) 径 mm (仕様は金属工事参照) ○集成材クリアラッカー仕上げ 径 mm ○ビニル製ハンドレール ※丸型 径 mm ○平型 幅 mm
8 8 黒板及び ホワイトボード (20. 2. 8)	種 類 寸法 (mm) 色彩 備 考 ○黒板 ○焼付け ○色緑 ○曲面 ○白 [®] ボード [®] ※ほうろう ※白 ○曲面 ○スクリーン付引分け
9 9 鏡 (20. 2. 9)	額縁金属 ※アルミ製 (表面処理の種類 ※B-2 ○B-1) 品質・規格
10 10 表示・標識 (20. 2. 10) (20. 2. 11)	厚さ (mm) ※5 ○ <input type="checkbox"/> 衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ステンレス製 径 30 mm ○ <input type="checkbox"/> ○なし 法令に基づく表示 ※非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。
	室名札 厚 さ (mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式 ※5 ※アクリル板 ※角太ゴシック ※シルク印刷 ○平付型 ○アルミ板 ○丸 ○持出型 外国語表現 ○行う (○英語 ○ <input type="checkbox"/> 寸法 (mm) ○50×250 ○60×250 ○ 図示による
	ビクトグラフ (便所、車いす、階段等) 厚 さ (mm) 材 質 印刷等の種類 取付け形式 備 考 ※5 ○アクリル板 ※シルク印刷 ※平付型 ○アルミ板 ○持出型 寸法 (mm) ○150×150 ○ 図示による

章 項 目	特 記 事 項
20 11 ブラインド (20. 2. 12)	案内板 (館内、各階、便所) 厚 さ (mm) 材 質 色 書 体 印刷等の種類 取付け形式 ※5 ※アクリル板 ※角太ゴシック ※シルク印刷 ○平付型 ○アルミ板 ○丸 ○持出型 外国語表現 ○行う (○英語 ○ <input type="checkbox"/> 寸法 (mm) ○600×600 ○100×600 ○200×200 ○ 図示による
12 ロールスクリーン (20. 2. 13)	館名板等 品質・規格
13 カーテン (20. 2. 14)	形式 スラ ッ ト の 材 種 開 閉 方 式 スラ ッ ト の 幅 (mm) ※横形 ※アルミ合金 ○ ※ギヤ式 ○コード式 ※25 ○35 ○縦形 ○アルミ ○カーテン ○80 ※100 操作方法 ○スプリング式 ○チェーン式 幅及び高さ スクリーンの材質 ○布製 ○ガラス繊維製 ○木製 品質・規格
⑭ カーテンレール (20. 2. 14)	材 種 ※アルミニウム製 ○ステンレス製 ○ <input type="checkbox"/> 形式 ○片引き ○引分け (贈幕用は300 mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 ○C型 ○D型 ○角型
⑮ ブラインドボックス カーテンボックス	● 図示による ○市販品 (アルミニウム製 押出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) ※90×150 ○150×80 ○120×80 ○ <input type="checkbox"/> 表面処理 ○C-1 (無着色) ○C-2 (着色)
16 くつふきマット	材 種 ○塩化ビニル製 (コイル状 ステンレス製 (SUS304) 受枠) ○硬質アルミニウム合金 (受枠とも) ○ステンレス製 (SUS304) (受枠とも) ○ゴム製 (ステンレス製 (SUS304) 受枠)
17 鋼製書架及び棚	品質・規格
18 収納家具 (木製)	品質・規格
19 掲示板	枠 の 材 質 表面の材質 照 明 器 具 施 錠 品 質 ・ 規 格 ○屋内 ※アルミ合金 (B-2) — — ○ステンレス製 (SUS304) ○屋外 ※アルミ合金 (B-2) ※あり ※あり ○ステンレス製 (SUS304) ○なし ○なし
20 カウンター ⑳ 洗面カウンター	品質・規格 材 種 ○メラミン樹脂化粧板張り (芯材: 集成材) ○ 奥行き (mm) ○約450 ○約600 ●洗面化粧台 (タカラ S U R I A 同等品) シングルレバー式シャワー水栓 1面鏡、ヒーター付
22 流し台ユニット	種 類 部品寸法 (mm) 規 格 仕 様 ○流し台 ○優良住宅部品 入寸法 [®] (品質 図示) ○コンロ台 ○優良住宅部品 バックガード有り ○吊戸棚 ○優良住宅部品 高さ 約500 mm ○水切り棚 ○優良住宅部品 ステンレス製1段式 ○
㉑ システムキッチン	●システムキッチン世帯用 (タカラ E d e l エーデル 65d×259w×85h 同等品) 食器洗い乾燥機 EW-45R2ST IHヒーター HTB-TS7TJS バックパネル シャワー水栓 KM5021TK レンジフード FUSC-2AD SVRA-901TFAD R キッチンパネル ●システムキッチン単身用 (タカラ E d e l エーデル 65d×214w×85h 同等品) IHヒーター HTB-TS7TJS バックパネル シャワー水栓 KM5021TK レンジフード FUSC-2AD SVRA-901TFAD R キッチンパネル
㉒ ユニットバス	●ユニットバス (タカラ 伸びの美容室 世帯用1616 単身用1317サイズ 同等品) シャワーフックスライドバー (手摺タイプ) 窓枠樹脂タイプ 横長鏡 風呂ふた 樹脂ハンドバー=600w 収納棚クリアタイプB (2段) タオルハンガーL
25 非常用救助袋等	※垂直降下式緩衝機は消防法に基づく国家検定に合格したものとする。 形式 ○傾斜式 ○垂直式 品質・規格
26 定礎	市販品 形式 ※約下式 ○差込式 (○30 ○60 ○120 ○ <input type="checkbox"/>) 組用 (<input type="checkbox"/>) 個
27 定礎	定礎石 ○御影石 文字掘込 寸法 450×600×30 ○ <input type="checkbox"/> 定礎銘板 ○銅板製 両面文字掘込 寸法 B 4 厚さ 5 mm ○ <input type="checkbox"/> 定礎箱 ○銅板製 寸法 400×300×60 ○ <input type="checkbox"/>
28 旗竿受金物	材 種 ※ステンレス鋼 (SUS304) (市販品 ※1箇所 ○ <input type="checkbox"/> 箇所) 品質・規格

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																										
20 ユニット及びその他の工事	27 旗ポール	<table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>地上高さ (m)</th> <th>操作 方法</th> <th>固 定 方法</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金</td> <td>※テーパー型</td> <td>○ 6 ○ 10</td> <td>※ハンドル式</td> <td>○埋込式</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○同一断面型</td> <td>○ 8 ○</td> <td>○ロープ式</td> <td>○ベース式</td> </tr> </table> 品質・規格 _____	材 質	形 式	地上高さ (m)	操作 方法	固 定 方法	※アルミニウム合金	※テーパー型	○ 6 ○ 10	※ハンドル式	○埋込式	○	○同一断面型	○ 8 ○	○ロープ式	○ベース式	22 舗装工事	②路盤 (22.3.2) (22.3.3) (22.3.5)	路盤の厚さ _____ mm ●図示による 材料 ※再生クラッシュラン (RC-40, 30, 20) ○クラッシュラン (C-40, 30, 20) ○クワックン鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤締固め度の試験 ※行う ●行わない	23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3)	※行う <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>12m以上</td> <td>※ 100 ○ 120 ○ 150</td> <td>※ A種</td> <td>※ 植込み部分</td> </tr> <tr> <td>7~12m未満</td> <td>※ 80 ○ 100</td> <td>○ B種</td> <td>○ 葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>3~ 7m未満</td> <td>※ 60 ○ 80</td> <td>○ C種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>※ 50 ○ 60</td> <td>○ D種</td> <td>○ 図示</td> </tr> </table> 芝、地被類 ※ 20 ※ B種 ○ ※ 植栽範囲 ○ ※ 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 植込み用土 ※ 現場発生土の良質土 ○ 客土 (※ 畑土 ○ 黒土) 土壌改良材 ※ 行う (※ パーク堆肥 ○ 下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※ 植込み部分 ○ 図示による	樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲	12m以上	※ 100 ○ 120 ○ 150	※ A種	※ 植込み部分	7~12m未満	※ 80 ○ 100	○ B種	○ 葉張りの範囲	3~ 7m未満	※ 60 ○ 80	○ C種	(樹高7m以上)	3m未満	※ 50 ○ 60	○ D種	○ 図示						
	材 質	形 式	地上高さ (m)	操作 方法	固 定 方法																																												
	※アルミニウム合金	※テーパー型	○ 6 ○ 10	※ハンドル式	○埋込式																																												
○	○同一断面型	○ 8 ○	○ロープ式	○ベース式																																													
樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																																														
12m以上	※ 100 ○ 120 ○ 150	※ A種	※ 植込み部分																																														
7~12m未満	※ 80 ○ 100	○ B種	○ 葉張りの範囲																																														
3~ 7m未満	※ 60 ○ 80	○ C種	(樹高7m以上)																																														
3m未満	※ 50 ○ 60	○ D種	○ 図示																																														
28 煙突ライニング (20.2.11)	煙突用成形ライニング材及びギヤスタブル耐火材 最高温度 ※ 400℃ ○ 650℃ 品質・規格 _____	③アスファルト舗装 (22.4.2) ~ (22.4.6)	<table border="1"> <tr> <th>舗 装 の 種 類</th> <th>表層 (mm)</th> <th>基層 (mm)</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※ アスファルト舗装</td> <td>50</td> <td>150</td> <td>※ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>50</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table> アスファルト ※ 再生アスファルト ○ ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>○寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> <td></td> </tr> </table>	舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類	※ アスファルト舗装	50	150	※ 顔料混入加熱アスファルト混合物	○	50	100		区分	※一般地域	○寒冷地域	表層	※ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)		○ 細粒度アスファルト混合物 (13)		2 樹木の種類等 (23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	寸 法	数 量	備 考																			
舗 装 の 種 類	表層 (mm)	基層 (mm)	カラー舗装の種類																																														
※ アスファルト舗装	50	150	※ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																														
○	50	100																																															
区分	※一般地域	○寒冷地域																																															
表層	※ 密粒度アスファルト混合物 (13)	※ 密粒度アスファルト混合物 (13F)																																															
	○ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																
種 類	寸 法	数 量	備 考																																														
29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20.4.2) (20.4.3)	間知石の材種 ※ 花こう岩 ○ _____ コンクリート間知ブロック 面の形状 ○ 長方形 ○ 正方形 ○ 六角形 ○ H型 質量区分 ○ ブロックA ○ ブロックB 地業の材料 ※ 再生クラッシュラン ○ _____ 練積みの工法 ○ 谷積み ○ 布積み (目塗り ○ 行う) 伸縮目地材の材種、厚さ _____	④コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)	<table border="1"> <tr> <th>舗 装 の 種 類</th> <th>部 位</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>設計基準強度 (N/m²)</th> <th>スランブ (cm)</th> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>カーポートアプローチ</td> <td>100</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> </table> 早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する 目地 注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ 種類 ○ 突合せ目地 ● 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ _____ 間隔 ○ 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ● 3~2m程度ごと ○ _____ コンクリート版厚さの試験 ○ 行う ※ 行わない	舗 装 の 種 類	部 位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m ²)	スランブ (cm)	土間コンクリート	カーポートアプローチ	100	18	15	3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)	支柱材 ※ 杉(焼き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ) 形式 ※ 図示による ○ _____ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太 ○ _____ 幹巻き用材料 ※ 幹巻き用テープ ○ わら及びこも																																		
舗 装 の 種 類	部 位	厚さ (mm)	設計基準強度 (N/m ²)	スランブ (cm)																																													
土間コンクリート	カーポートアプローチ	100	18	15																																													
30 敷地境界石標	種別 ○ 花こう石類 (文字記号入り) ※ コンクリートブロック製 (市販品)	5 カラー舗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系777舗混合物</td> <td>○ 車路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石</td> <td>○ 歩行者用通路</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○ 777舗 ○ 石油樹脂 (添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>777舗混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 舗装の厚さ _____ mm ○ 常温系ニート工法 ○ 常温系塗布工法 着色部の下部 ○ アスファルト舗装 ○ コンクリート舗装	種 類	部 位	配合その他	※ 加熱系777舗混合物	○ 車路		添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路		結合材 ○ 777舗 ○ 石油樹脂 (添加量 _____)			777舗混合物等の抽出試験			○ 適用する ※ 適用しない			4 芝 (23.4.2) (23.4.3)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">芝 張 り の 工 法</th> <th rowspan="2">客 土</th> </tr> <tr> <th>平地</th> <th>切土法面</th> <th>盛土法面</th> </tr> <tr> <td>○ コウライシバ</td> <td>※ 目地張り</td> <td>※ べた張り</td> <td>※ 筋芝張り</td> </tr> <tr> <td>○ ノシバ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 行う ※ 畑土 ○ 黒土</td> </tr> </table>	種 別	芝 張 り の 工 法		客 土	平地	切土法面	盛土法面	○ コウライシバ	※ 目地張り	※ べた張り	※ 筋芝張り	○ ノシバ	○	○	○ 行う ※ 畑土 ○ 黒土											
種 類	部 位		配合その他																																														
※ 加熱系777舗混合物	○ 車路																																																
添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩行者用通路																																																
結合材 ○ 777舗 ○ 石油樹脂 (添加量 _____)																																																	
777舗混合物等の抽出試験																																																	
○ 適用する ※ 適用しない																																																	
種 別	芝 張 り の 工 法		客 土																																														
	平地	切土法面		盛土法面																																													
○ コウライシバ	※ 目地張り	※ べた張り	※ 筋芝張り																																														
○ ノシバ	○	○	○ 行う ※ 畑土 ○ 黒土																																														
31 車止め	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 上下式鎖内蔵型 (○ スプリング付き)</td> <td>※ スチール製 (SUS304)</td> <td>※ φ76.3 t=2.0</td> <td>※ GL+700</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ φ114.3 t=2.5</td> <td>○ GL+850</td> </tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度	形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)	※ 上下式鎖内蔵型 (○ スプリング付き)	※ スチール製 (SUS304)	※ φ76.3 t=2.0	※ GL+700	○	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850	⑦ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 彩 及 び 表 面 加 工 等</th> </tr> <tr> <td>※ 標準ブロック ○ 京エレンガ</td> <td>車路 ※ 80 ○</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 歩行者用通路</td> <td>※ 60 ○ 80 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td>○ 60 ※ 80 ○ 100 ○</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ ○ インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 彩 及 び 表 面 加 工 等</th> </tr> <tr> <td>※ 標準ブロック ○ 京エレンガ</td> <td>車路 ※ 80 ○</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 歩行者用通路</td> <td>※ 60 ○ 80 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td>○ 60 ※ 80 ○ 100 ○</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____	種 類	厚 さ (mm)	色 彩 及 び 表 面 加 工 等	※ 標準ブロック ○ 京エレンガ	車路 ※ 80 ○	※ 標準品	○ 歩行者用通路	※ 60 ○ 80 ○		○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○		種 類	厚 さ (mm)	色 彩 及 び 表 面 加 工 等	※ 標準ブロック ○ 京エレンガ	車路 ※ 80 ○	※ 標準品	○ 歩行者用通路	※ 60 ○ 80 ○		○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○		5 屋上緑化 (23.5.2) ~ (23.5.4)	○ 屋上緑化システム 排水層 ※ 軽量骨材 (厚さ _____) ○ 板状成形品 土壌層 ※ 改良土 (厚さ _____) ○ 人工軽量土 (厚さ _____) ○ 屋上緑化軽量システム 樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 芝・地被類の種類 ※ 図示による ○ コウライシバ (※ 目地張り ○ _____) ○ ノシバ (※ 目地張り ○ _____) ○ セダム類 (○ カット ○ ふるい ○ プラグ苗 ○ _____) 材料 ○ 見切材 _____ ○ 舗装材 _____ ○ 水抜き管 _____ ○ 排水材 _____	種 類	寸 法	数 量	備 考				
形 式	材 質	柱径・肉厚 (mm)	高さ (mm)																																														
※ 上下式鎖内蔵型 (○ スプリング付き)	※ スチール製 (SUS304)	※ φ76.3 t=2.0	※ GL+700																																														
○	○	○ φ114.3 t=2.5	○ GL+850																																														
種 類	厚 さ (mm)	色 彩 及 び 表 面 加 工 等																																															
※ 標準ブロック ○ 京エレンガ	車路 ※ 80 ○	※ 標準品																																															
○ 歩行者用通路	※ 60 ○ 80 ○																																																
○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○																																																
種 類	厚 さ (mm)	色 彩 及 び 表 面 加 工 等																																															
※ 標準ブロック ○ 京エレンガ	車路 ※ 80 ○	※ 標準品																																															
○ 歩行者用通路	※ 60 ○ 80 ○																																																
○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○																																																
種 類	寸 法	数 量	備 考																																														
③フェンス	<table border="1"> <tr> <th>表 面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門 原 の 仕 様</th> </tr> <tr> <td>※ 亜鉛めっき</td> <td>○ 樹脂塗装</td> <td>○ 片開き</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル被覆</td> <td>○ ネットフェンス</td> <td>○ 両開き</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 網フェンス</td> <td></td> </tr> </table> ● 図示による	表 面 仕 上 等	種 類	門 原 の 仕 様	※ 亜鉛めっき	○ 樹脂塗装	○ 片開き	○ ビニル被覆	○ ネットフェンス	○ 両開き		○ 網フェンス		6 透水性舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ 表層の厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 開粒度777舗混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない	6 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4) (23.3.6) (23.4.7) (23.5.5)	※ 引渡しの日から 1年 ○ 引渡しの日から _____ 年																																
表 面 仕 上 等	種 類	門 原 の 仕 様																																															
※ 亜鉛めっき	○ 樹脂塗装	○ 片開き																																															
○ ビニル被覆	○ ネットフェンス	○ 両開き																																															
	○ 網フェンス																																																
21 排水工事	①材料 (21.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>材 種 (表21.2.1)</th> <th>管 の 種 類</th> <th>呼び径</th> <th>基床の厚さ</th> </tr> <tr> <td>○ 遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>● 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>※ VP ● VU</td> <td>100A</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ RS-VP ○ RS-VU</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>※ DV</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ	○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)			● 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP ● VU	100A			○ RS-VP ○ RS-VU			○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	※ DV			22 舗装工事	①路床 (22.2.2) (22.2.3) (22.2.5)	路床の構成 ○ 凍上抑制層 厚さ ● 図示による ○ _____ ○ 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 ○ 図示による ○ 150mm ○ _____ 歩道部 ○ 図示による ○ 50mm ○ _____ 盛土に用いる材料 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 (表3.2.1) 路床安定処理 ○ 行う ● 行わない 路床安定処理用材料 ※ 添加材料による安定処理 (表22.2.2) 種 類 ○ 地盤改良材 (_____) ○ 高炉セメントB種 ○ 普通ポルトランドセメント ○ 生石灰 特号 ○ 生石灰 1号 ○ フライアッシュセメントB種 ○ 消石灰 特号 ○ 消石灰 1号 添加量 _____ kg/m ³ 路床土の支持力比 (GBR) 試験 ○ 行う (※ 乱した土 ○ 乱さない土) 路床締固め度の試験 ※ 行う (埋戻し部、盛土部) ● 行わない 砂の粒度試験 ○ 行う ● 行わない	7 白線引き	種 類 ○ 熔融式 ○ ペイント式 幅 (cm) ○ 15 ○ _____																						
	材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ																																													
	○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管 (※ 1種 ○ 2種)																																															
● 硬質ポリ塩化ビニル管	※ VP ● VU	100A																																															
	○ RS-VP ○ RS-VU																																																
○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	※ DV																																																
②側溝、排水樹及びふた (21.2.1)	● 側溝の形状および寸法 ※ 図示による ○ _____ ● 排水樹の種類 ※ 図示による ○ _____ ○ 鋼鉄製マンホールふたの種類 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適 用 荷 重 (安全荷重)</th> </tr> <tr> <td>○ 水封形 ○ 密閉形 (テーパーハッチ式)</td> <td>○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)</td> </tr> <tr> <td>○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形 (ハッチ式)</td> <td>○ T-20用 (50KN)</td> </tr> </table>	種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)	○ 水封形 ○ 密閉形 (テーパーハッチ式)	○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)	○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形 (ハッチ式)	○ T-20用 (50KN)	⑧砂利敷き (22.10.2)	通 路 ※ A種 ○ B種 建物周囲その他 ○ A種 ※ B種 ※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする																																								
種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)																																																
○ 水封形 ○ 密閉形 (テーパーハッチ式)	○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)																																																
○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形 (ハッチ式)	○ T-20用 (50KN)																																																
③緑石 (21.3.1)	歩車道境界ブロックのJIS による呼び名 ※ A ○ _____ 地先境界ブロックのJIS による呼び名 ○ A ○ C ○ _____ 砂利地業の厚さ ※ 100mm ○ _____	9 白線引き	種 類 ○ 熔融式 ○ ペイント式 幅 (cm) ○ 15 ○ _____																																														
④コンクリート側溝 (21.3.1)	鉄筋コンクリートL形のJIS による呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ コンクリートL形のJIS による呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____ 鉄筋コンクリートU形のJIS による呼び名 ○ 240 ○ 300A ○ 360A ● 180 現場打ちコンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²) ○ 18 ○ _____ 地業の材料 ○ C-40 ※ RC-40 ○ C-30 ○ RC-30 ○ C-20 ○ RC-20																																																

外部仕上表

部 位	備考1	品名 (参考品番)	備考2	参考メーカー	その他
世帯用 ・単身者用住宅	屋根	平板瓦葺 切妻屋根・寄棟屋根 4寸勾配 雪止瓦 ケラバ瓦 (一体袖瓦) 隅棟 (廻隅瓦)	スーパーライ 110 スマート	鶴屋	
		ゴムアスファルトルーフィング	瓦棧 エコランパー (K1530) 瓦座 (H4035) 登棧 エコランパー (K1530)	フクビ フクビ	
	軒裏	ケイ酸カルシウム板 厚10 底目 下地処理 アクリル系リシン吹付 軒天換気孔 75×910 アルミ見切り縁	軒天換気孔 NEDXW	フクビ	
	庇 破風、鼻隠し	アルミ庇 (世帯用) 鼻隠し、破風包; ガルバリウム化粧鋼板厚0.4曲げ加工	アルフィン インターバイザー JA13914	共和 エービーシー 理研軽金属	
	外壁 (通気工法)	窯業系サイディング 厚16 構造用合板 9.0 防湿通気シート	(自然木目調ブルウッドⅡ)	ニチハ・ケイミュー	
	アプローチ腰壁	50口磁器質モザイクタイル (内面; コンクリート打ち放し補修 吹付けタイル)			
	腰 (基礎巾木)	コンクリート 打ち放し補修 アクリル樹脂系撥水塗料 (NAD) 塗装			
	開口部	アルミ・樹脂複合建具 複層ガラス	エピソード NEO アルジオ サーモス L	YKK 三協立山 LIXIL	
樋	軒樋 : スチール芯入り硬質塩化ビニール角形 W=130 (前高) 吊金物 SuS@450、落葉除けアルミメッシュ (全面)	アーキスケアE マイルドE-I 型	パナソニック		
	縦樋 : 住宅用縦樋 (60口) (地中埋設部はVPφ75とする)	住宅用縦樋 PC30	パナソニック		
郵便受	SuS製 壁埋め込みタイプ (390w×287d×390h)	アルメールKF I 型 エクスポスト口金タイプ ポストSOV2型	LIXIL 三協立山		
物置	(単身用)	既製物置 (別途)	ESD-1509EGL (内法: 1,452×1,410×770)	ヨド鋼・稲葉・田窪	
	(世帯用)	既製物置 (別途)	1500w×1500h×900d		
宅内駐車場	土間 カーポート	土間コンクリート厚100 木こて押え 溶接金網 φ6 150×150 下地砕石厚100 (RC-40) アルミ製 カーポート 既製品 (HG1500N/m ² 仕様)	ファインポートポート II Z-L 24-50 バリューポート DHGN-(PK) 2450 カーポートカムフェースZ	四国化成 LIXIL 三協立山	防犯灯取付 (電気工事)
アプローチ	宅内通路	洗い出しコンクリート平板 300口×60 砕石敷き厚100			
専用庭	ウッドデッキ 砕石舗装	ウッドデッキ (デッキ下部・土間コンクリートコテ押え) 幕板 砕石厚100敷き均し	ファンデッキ アースデッキ RV NH工法 ひとと木	四国化成 エービーシー 三協立山	
犬走り		土間コンクリート 厚100 金こて仕上 コテ目地切り@2000 溶接金網 φ6 150×150 下地砕石厚100 (RC-40)			
困障	単身者用南側 単身・世帯者間 その他	CB厚120化粧積みH=1000 目隠しフェンスH=800 CB厚120 4段化粧積み 宅地先管理用道路、残地沿い メッシュフェンスH=1200 見切り縁石120口×600	目隠し バリューフェンス6型 プレスタフェンス6型 ルミレス I 型	四国化成 LIXIL 三協立山	
進入路	車路	アスファルト舗装 (表層 厚50 路盤砕石 厚150) 宅地沿い; V形側溝、V形側溝柵グレーチング蓋T-20 保育所職員駐車場沿い; L形側溝、L形側溝柵グレーチング蓋T-20			
保育所職員用 駐車場	車路	(工事対象外)			
管理用道路		宅地沿い; アスファルト舗装 (表層 厚50 路盤砕石 厚100) 保育所職員駐車場沿い; 砕石舗装厚100			

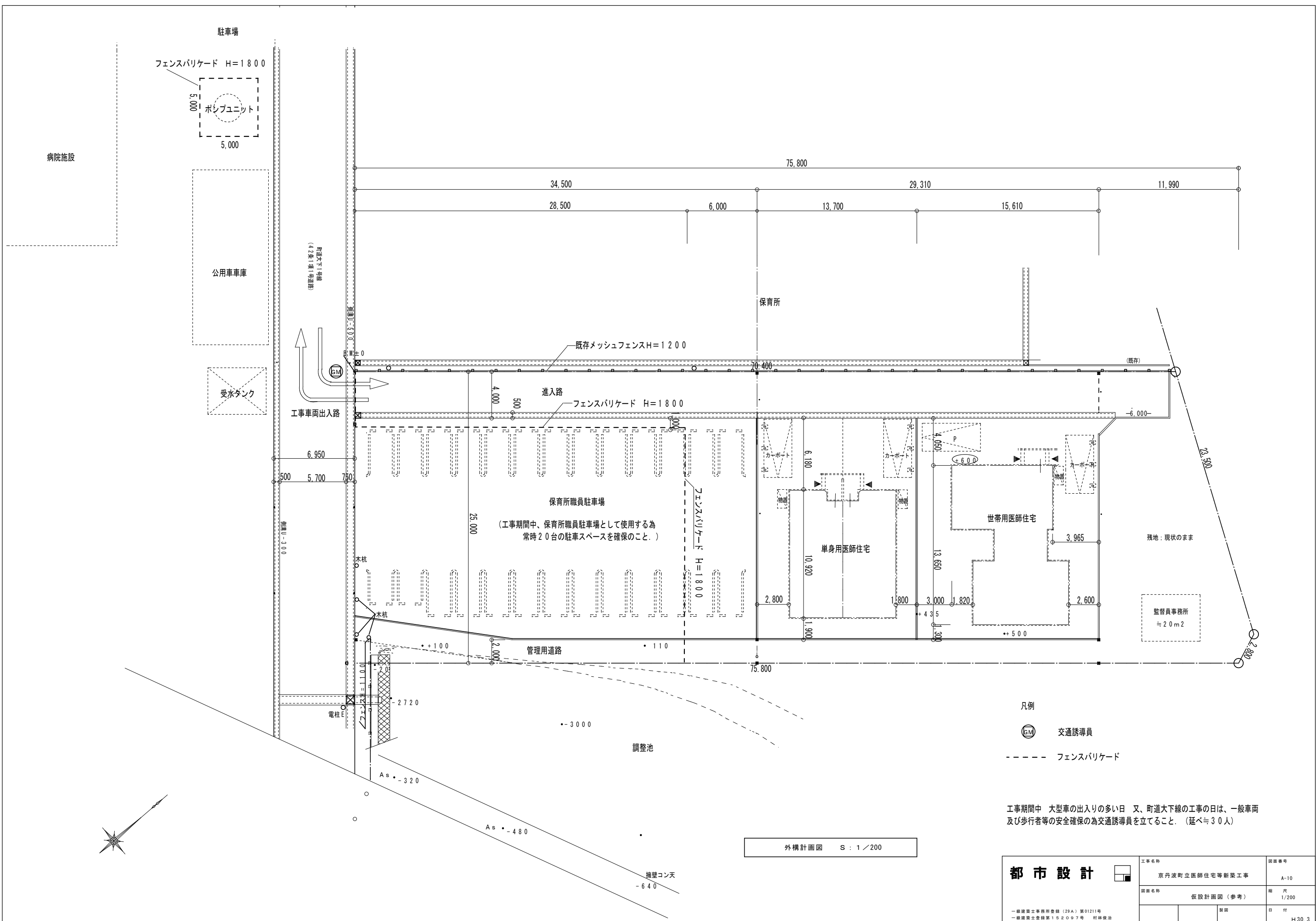
<p>都市設計</p> <p>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 村林俊治</p>	<p>工事名称 京丹波町立医師住宅等新築工事</p> <p>図面番号 A-8</p>
	<p>図面名称 外部仕上表</p> <p>縮尺</p>
	<p>製図 T, K</p> <p>日付 29.12</p>

内部仕上表

室名	床		巾 木		腰 壁		壁		天 井		備考
	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	
1. 玄関 (共通)	モルタル	磁器床タイル	モルタル	磁器床タイル				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	上り框 100×100 桧CL 玄関収納
		100□	コンクリート	100□ H=100、200			PB厚12.5		PB厚9.5		
2. ホール (共通)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	ブラインドBOX 収納棚
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
3. 廊下 (共通)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	天井点検口
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
4. LDK (共通)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	システムキッチン クーラースリーブ(世帯用2箇所)
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5	キッチンボード	PB厚9.5		
5. 和室 (世帯用)	構造用合板	畳		畳寄せ				ビニールクロス	木軸天井下地	化粧PB(杉証底目)	内障子 クーラースリーブ
	(特類)厚24	厚55	木軸				PB厚12.5	(土壁調)		木製廻り縁	
6. 押入れ (世帯用)	構造用合板	合板タイプI		15×15				押入れボード	木軸天井下地	合板タイプI 厚5.5	天井点検口
	(特類)厚24	厚12	木軸	雑布摺			木軸			木製廻り縁	
7. 寝室 (共通)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	収納クローゼット クーラースリーブ
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
8. 書斎 (世帯用)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	書斎机(別途) クーラースリーブ
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
9. W・I・C(世帯用) (ウオークインクローゼット)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	収納棚
	(特類)厚24	厚12	木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
10. 個室 ×2 (世帯用)	構造用合板	フローリング		木製巾木				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	収納クローゼット クーラースリーブ
	(特類)厚24		木軸	H=60			PB厚12.5		PB厚9.5		
11. 便所 (共通)	合板タイプI	長尺シート	耐水合板 厚9.0	ビニールソフト				ビニールクロス	木軸天井下地	ビニールクロス	収納吊戸棚
	厚9	厚2.0		巾木			耐水合板9.0		PB厚9.5		
	構造用合板			H=60			手摺取り付け部		(GB-S)		
12. 洗面所 (世帯用)	合板タイプI	長尺シート	耐水合板 厚9.0	ビニールソフト				ビニールクロス	木軸下地	ビニールクロス	床下点検口 収納 天板修成材CL 洗面化粧台750w 浴室 UB1616
	厚9	厚2.0		巾木			耐水合板9.0		PB厚9.5		
	構造用合板			H=60					(GB-S)		
13. 洗面所 (単身用)	合板タイプI	長尺塩ビシート	耐水合板 厚9.0	ビニールソフト				ビニールクロス	木軸下地	ビニールクロス	床下点検口 洗面化粧台750w 浴室 UB1316
	厚9	厚2.0		巾木			耐水合板9.0		PB厚9.5		
	構造用合板			H=60					(GB-S)		

- <特記> 1. フローリング 突板合板 厚12 2. 木製巾木 60×23 CL 3. 床下断熱材 ポリプロレン発泡断熱材厚80 E-2235K35型(フクビ)同等 壁断熱材 厚90(16kg/m²) * 単身者用界壁(Y8通り)は、PB厚12.5下地を、屋根裏まで到達させる。(両面2枚重ね張ガラスウール充填) * クーラースリーブ取付用下地; 耐水合板 厚12 * 便所内手摺取付部事前下地補強; 耐水合板 厚12 4. 木軸天井下地 野縁受 45×60 @910 野縁 40×30 @455 5. 天井ウラ グラスウール 厚100 (24kg/m²) 敷込 カーテンレール 各室共通 ステンレス製W 6. 和室以外の天井廻り縁は塩ビ製とする。

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅等新築工事	図面番号	A-9
	図面名称	内部仕上表	縮尺	
一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録 第152097号 杉林俊治	製図	T.K	日付	29.12

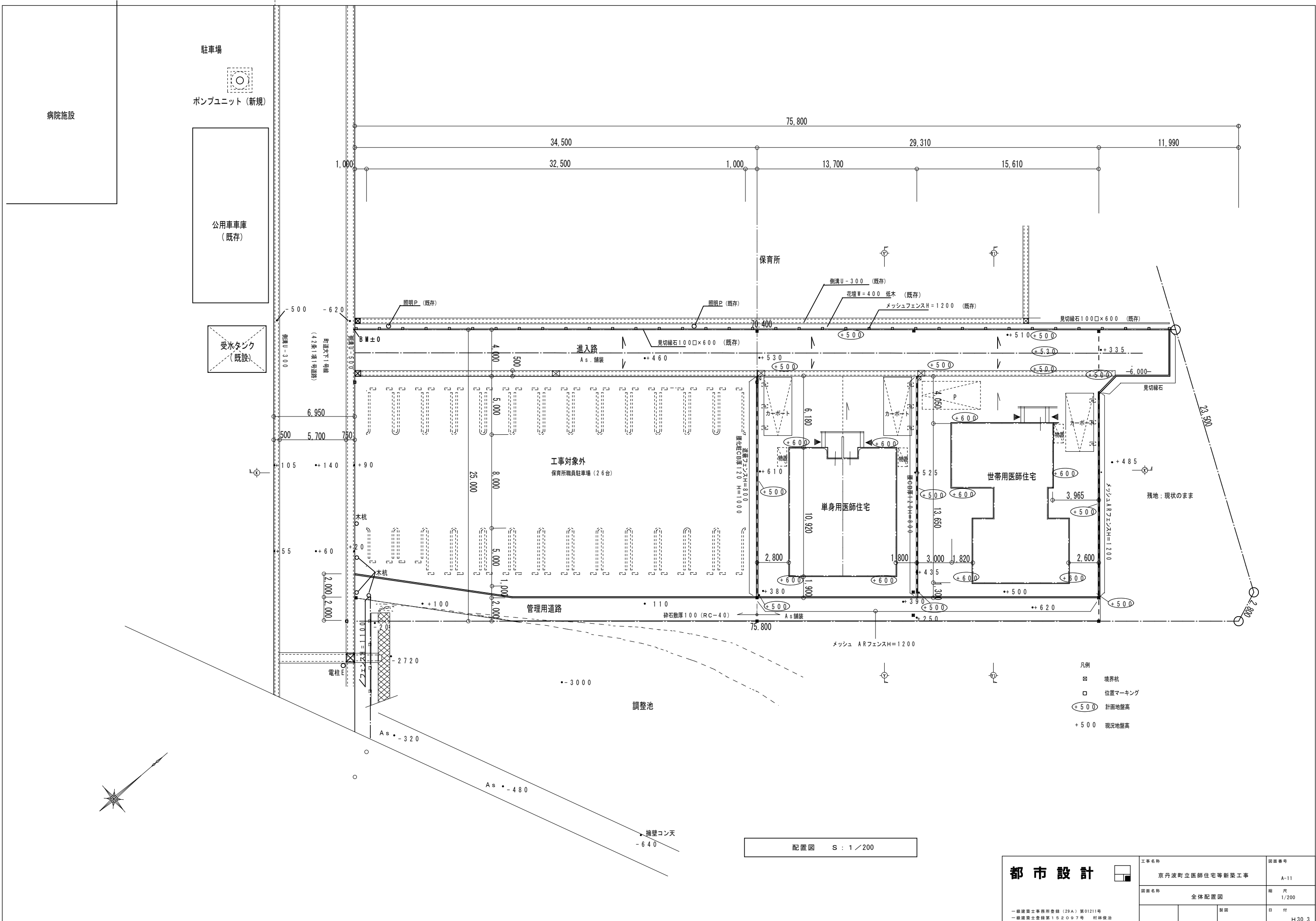


- 凡例
- 交通誘導員
 - フェンスバリアード

工事期間中 大型車の出入りの多い日 又、町道大下線の工事の日は、一般車両及び歩行者等の安全確保の為交通誘導員を立てること。(延べ≒30人)

外構計画図 S : 1 / 200

都市設計		工事名称	図面番号
		京丹波町立医師住宅等新築工事	A-10
図面名称 仮設計画図(参考)		縮尺	1/200
一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一般建築士登録第152097号 村林建設		製図	日付
			H30.3



駐車場
ポンプユニット (新規)

病院施設

公用車庫
(既存)

受水タンク
(既設)

保育所

工事対象外
保育所職員駐車場 (26台)

単身用医師住宅

世帯用医師住宅

調整池

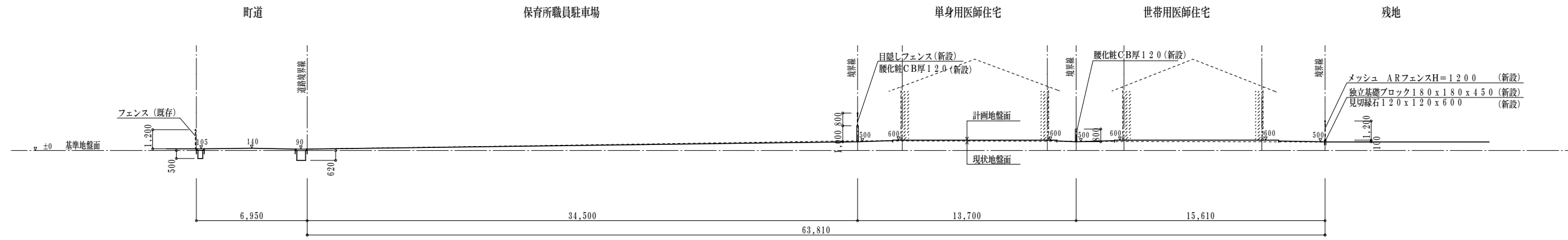
管理用道路

残地: 現状のまま

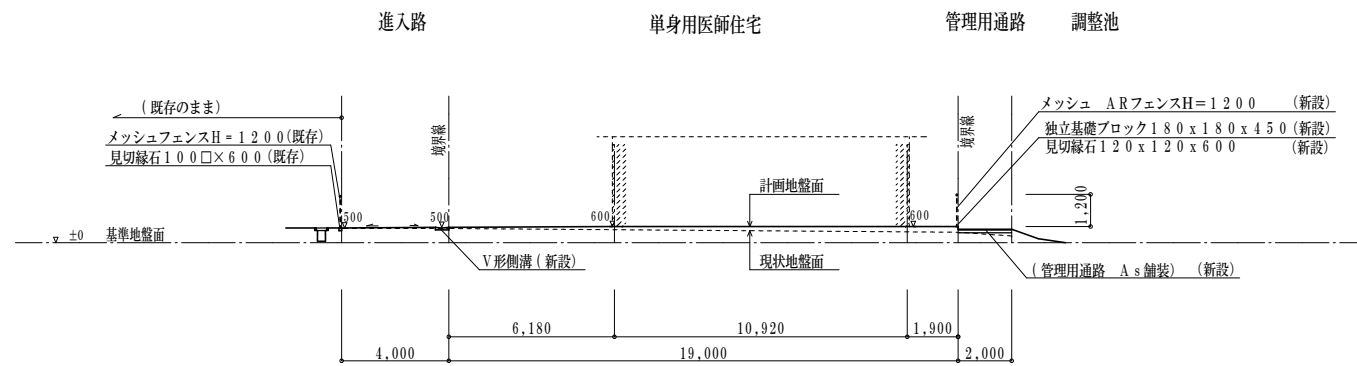
- 凡例
- ⊠ 境界杭
 - 位置マーキング
 - ⊕ 5.0 計画地盤高
 - + 5.0 現況地盤高

配置図 S: 1/200

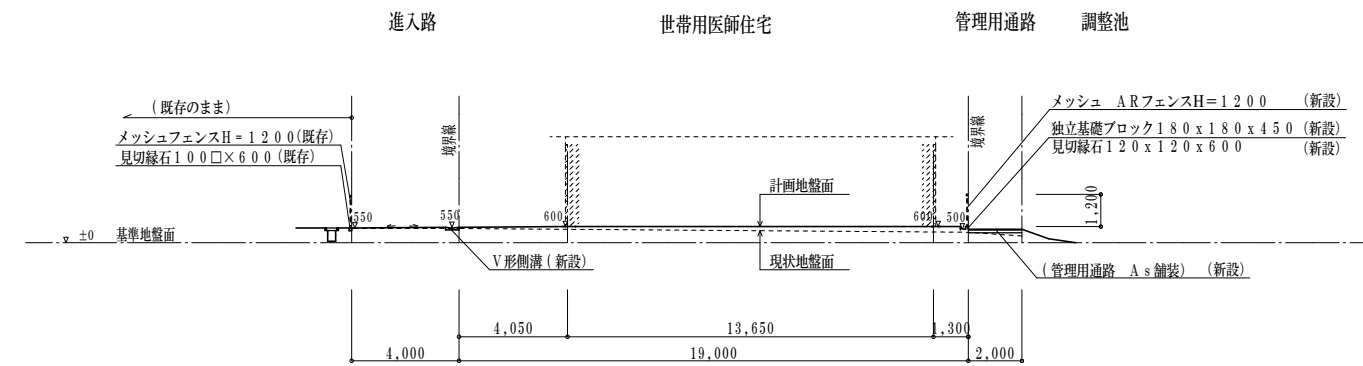
都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅等新築工事	図面番号	A-11
	図面名称	全体配置図	縮尺	1/200
<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林建設</small>	製図	日付	H30.3	



X-X' 断面図 S : 1 / 200

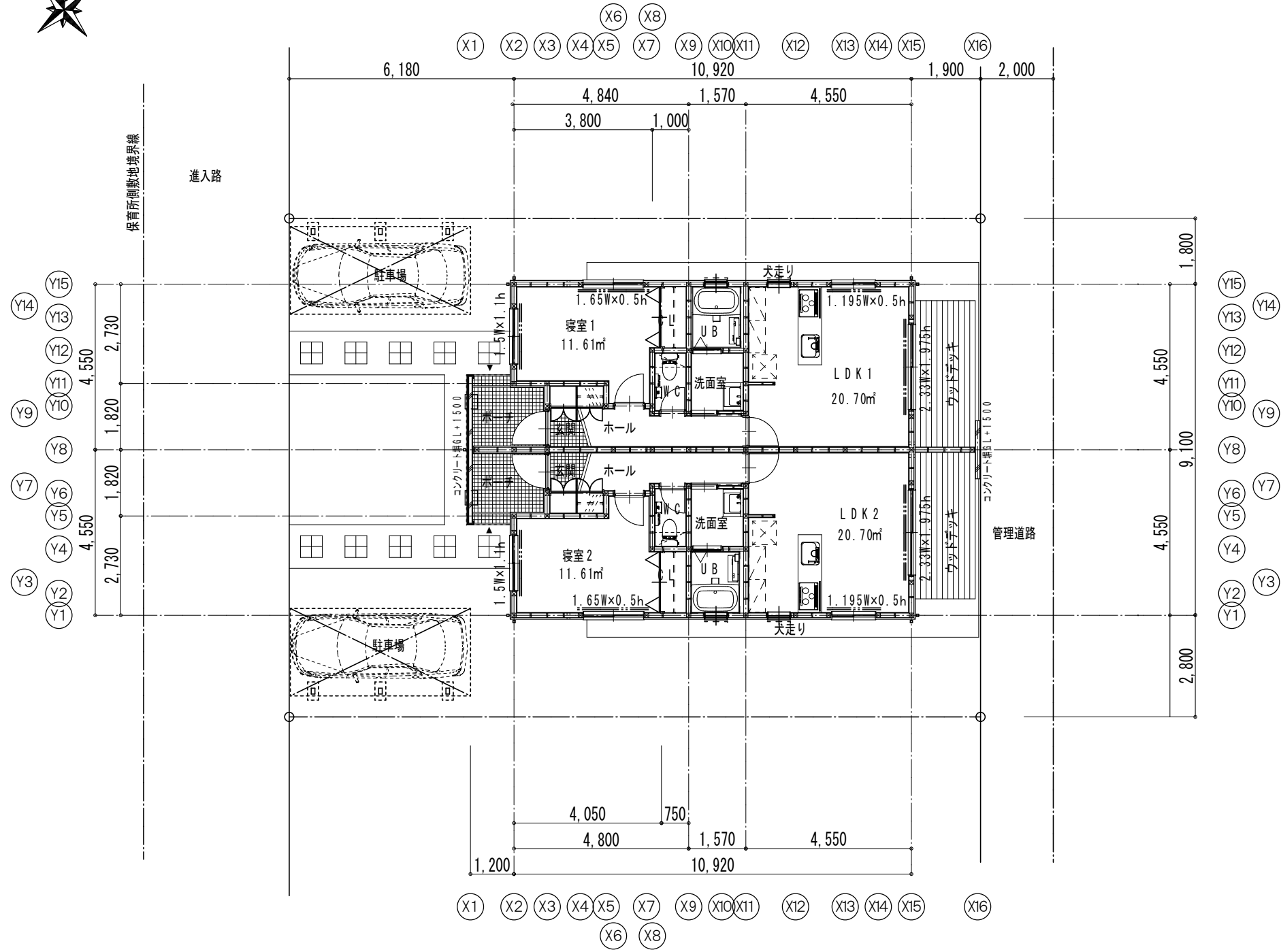


Y-Y' 断面図 S : 1 / 200

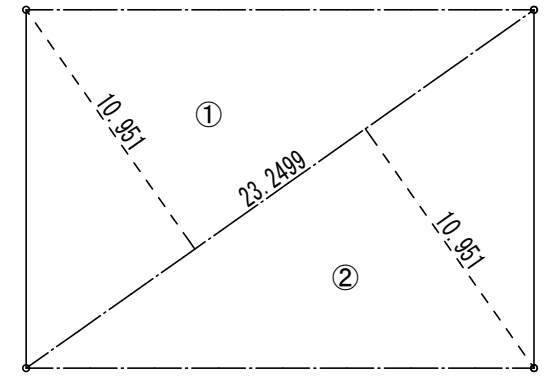


Y1-Y1' 断面図 S : 1 / 200

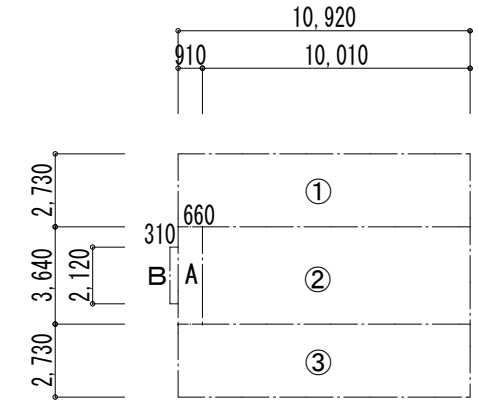
都市設計 <small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152007号 村林俊治</small>	工事名称 京丹波町立医師住宅等新築工事	図面番号 A-12
	図面名称 敷地断面図	縮尺 1/200
	製図 ET	日付 H30.3



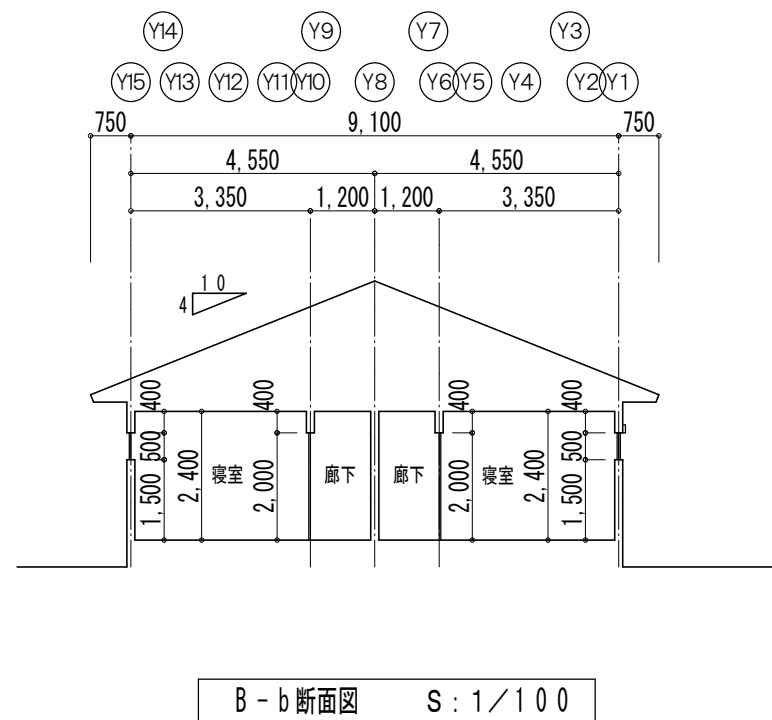
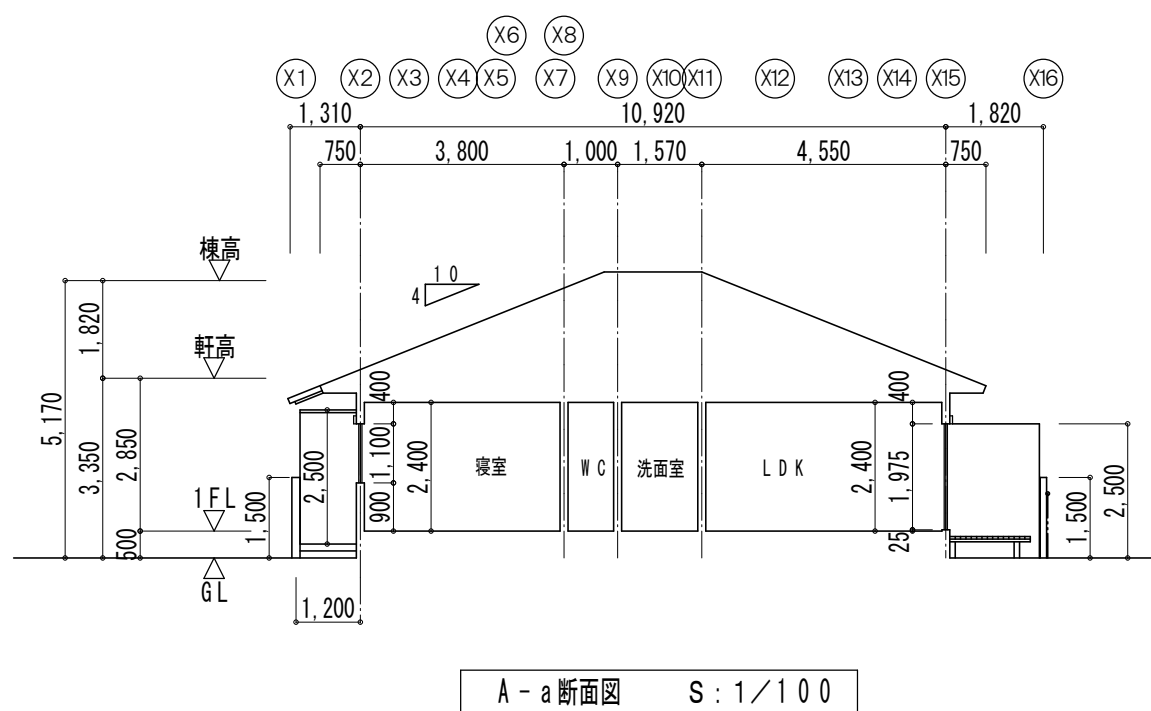
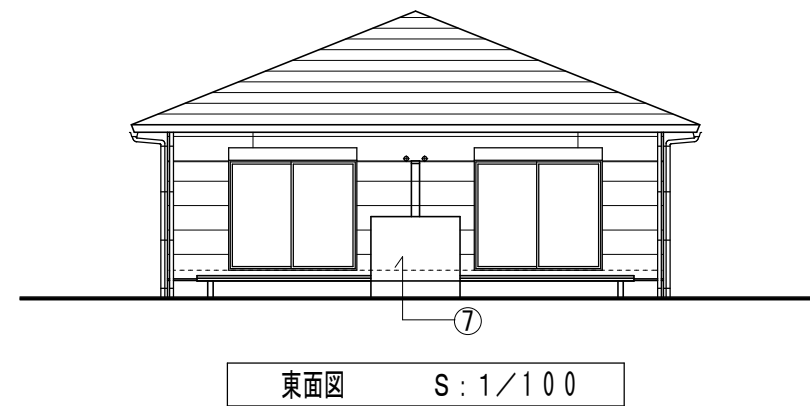
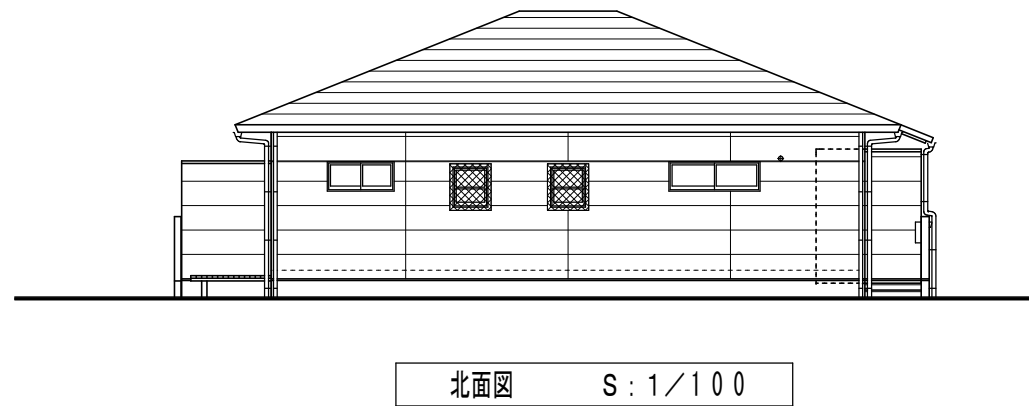
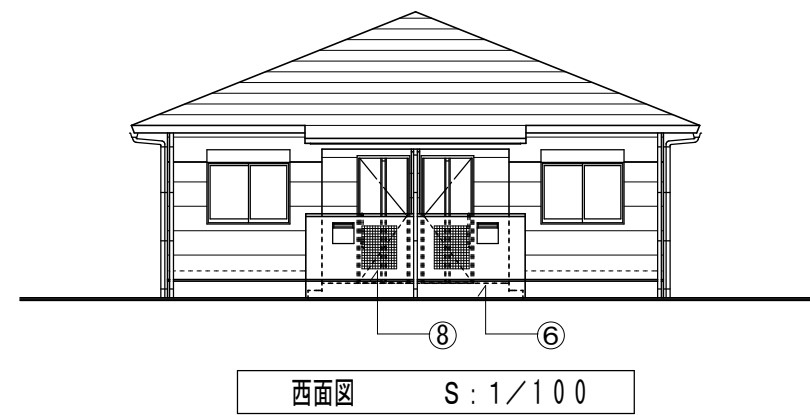
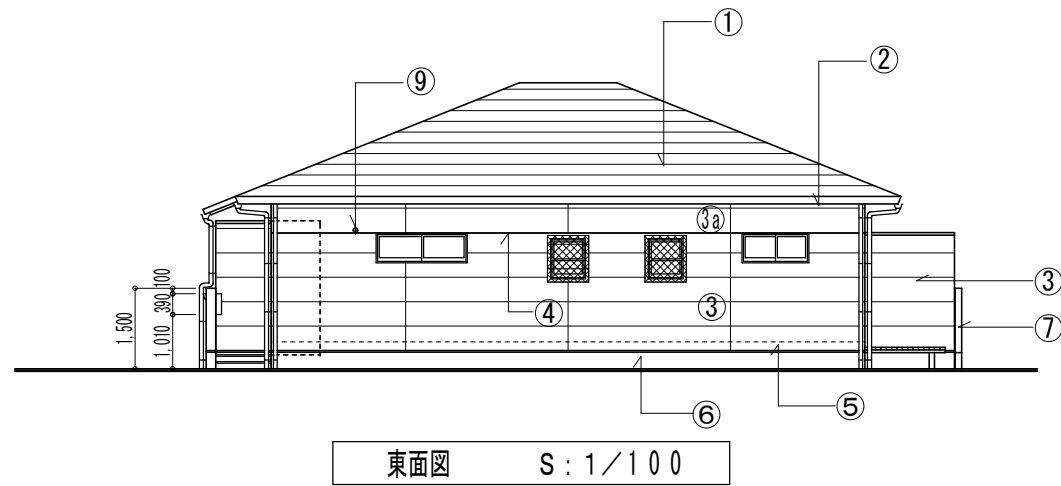
1階平面図 S: 1/100



①	$23.2499 \times 10.951 \times 1/2 = 127.30482745$
②	$23.2499 \times 10.951 \times 1/2 = 127.30482745$
合計	254.60m ²



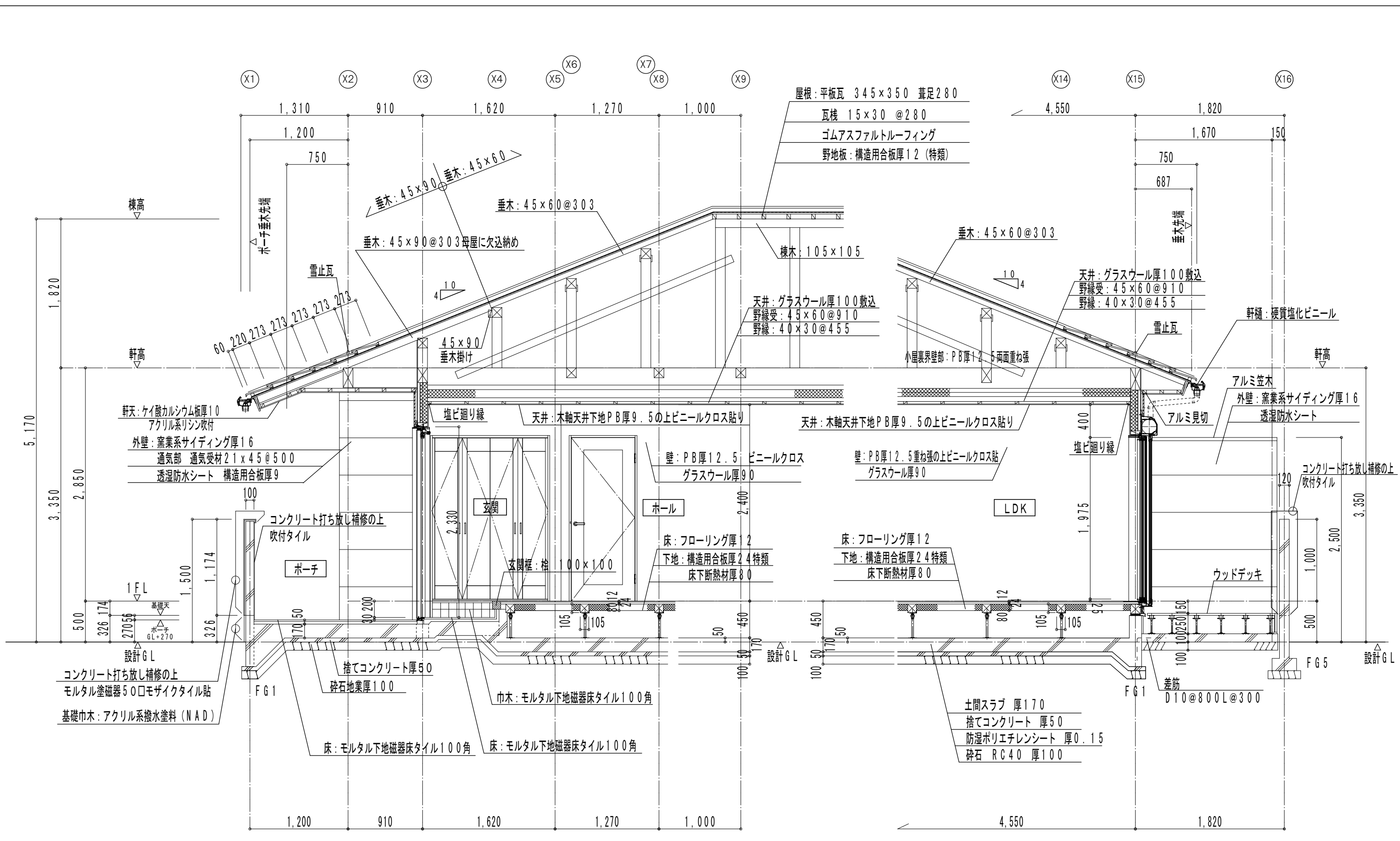
①	$10.92 \times 2.73 = 29.8116$
②	$10.01 \times 3.64 = 36.4364$
③	$10.92 \times 2.73 = 29.8116$
合計	96.0596
A	$0.66 \times 3.64 = 2.4024$
B	$0.31 \times 2.12 = 0.6696$
合計	①+②+③+A+B = 99.13
建築面積	99.13m ² (29.98坪)
床面積	96.06m ² (29.06坪)



外部仕上表	
①	屋根: 平板瓦葺 4寸勾配 (スーパートライ110スマート同等)
②	軒樋: 硬質塩化ビニール製
③	外壁: 窯業系サイディング厚16 16×455×3030 ヨコ張
③a	外壁: 窯業系サイディング厚16 16×455×3030 ヨコ張
④	アルミ見切縁
⑤	アルミ通気土台
⑥	コンクリート打ち放し補修 アクリル樹脂系撥水塗料 (NAD)
⑦	コンクリート打ち放し補修の上 吹付タイル
⑧	コンクリート打ち放し補修の上 表側 磁器モザイクタイル50口張 内側 吹付タイル
⑨	クーラースリーブSU75 4ヶ処

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-14
	図面名称	単身用医師住宅 立面図・断面図	縮尺	1/100
	製図		日付	H30.3

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治

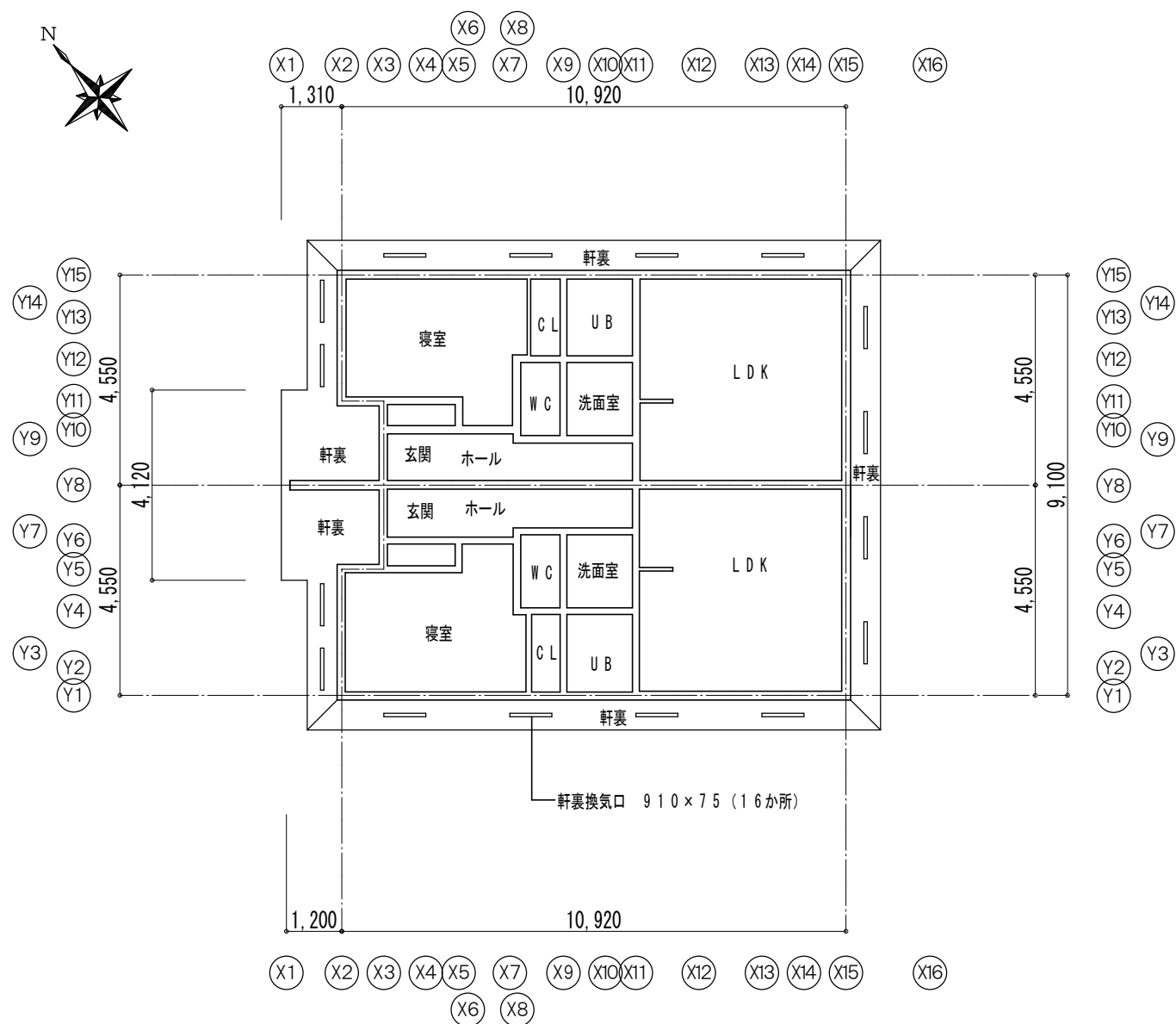


※ 設計GL=B.M+600とする

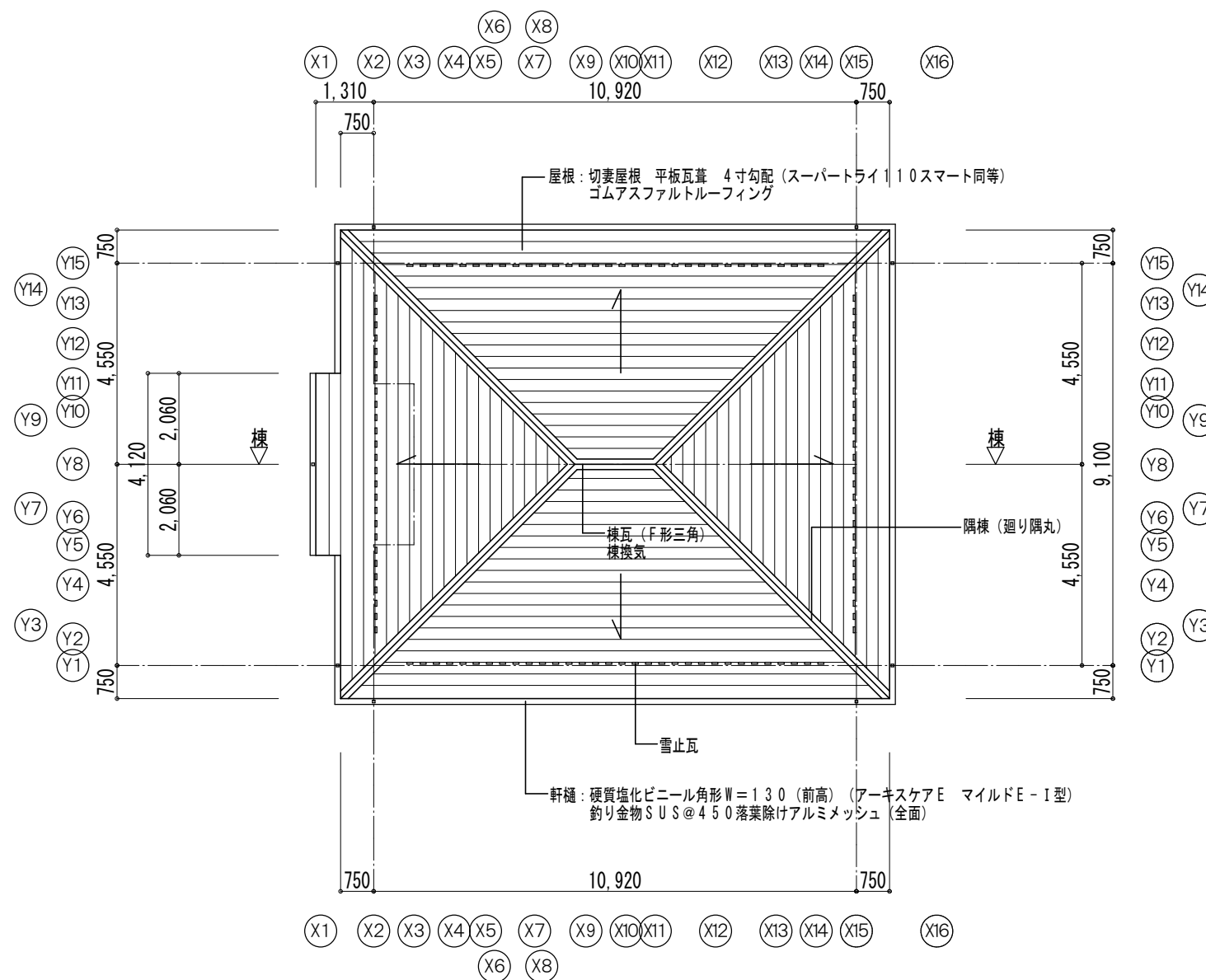
矩計図 S: 1/30

矩計図 S: 1/30

都市設計 <small>一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林健治</small>	工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号 A-15
	図面名称 単身用医師住宅 矩計図	縮尺 1/30



1階平面図 S: 1/100



屋根伏図 S: 1/100

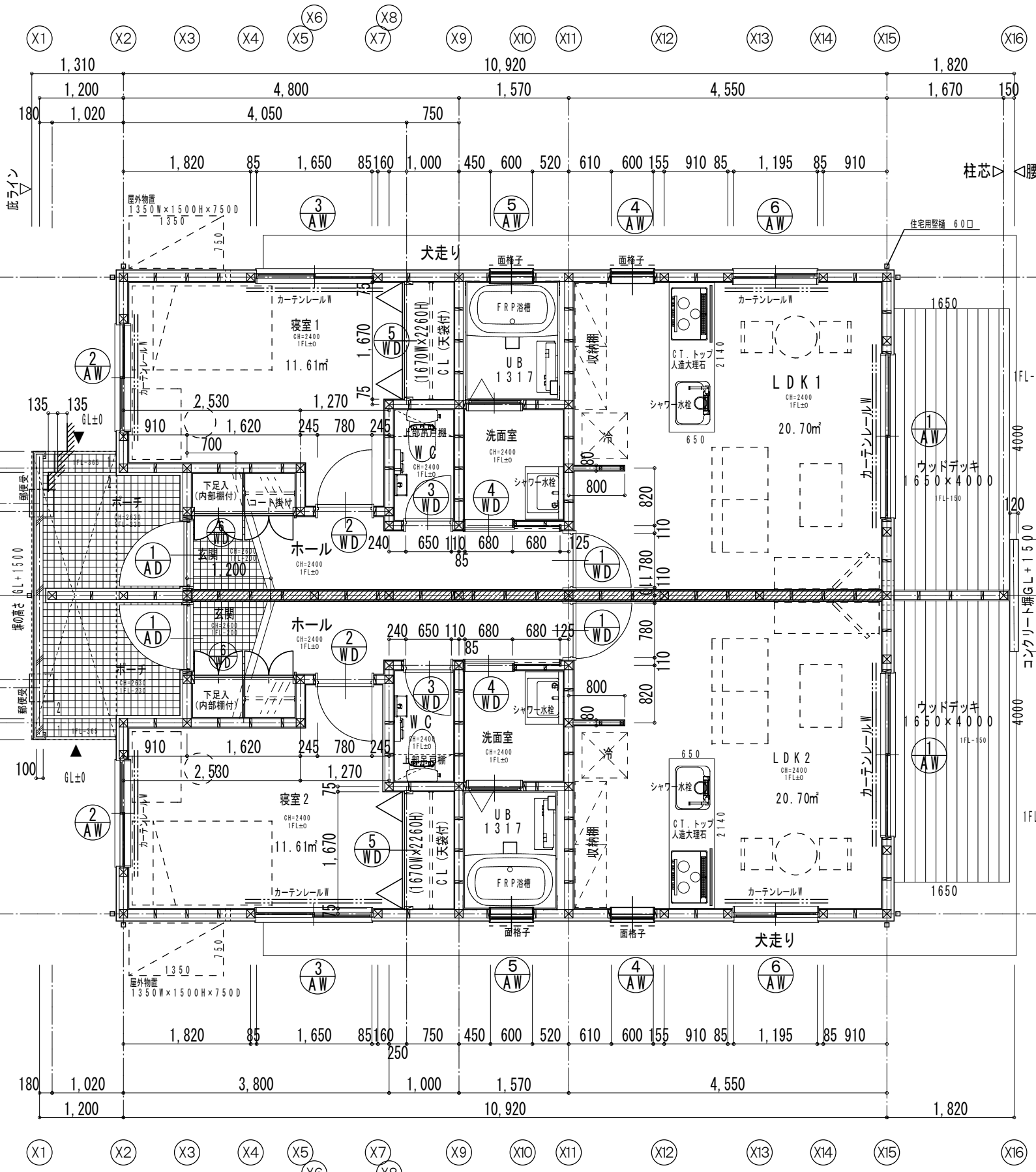
室名	天井仕上材	室名	天井仕上材
軒裏	ケイ酸カルシウム板 厚10 アクリル系リシン吹付 (下地調整共)	洗面所	木軸天井下地PB厚9.5 ビニールクロス貼り
		UB	バスパネル
玄関・ホール	木軸天井下地PB厚9.5 ビニールクロス貼り	WC	木軸天井下地PB厚9.5 ビニールクロス貼り
L.D.K	同上	寝室	同上
廊下	同上	寝室CL	シナベニア 厚4.0

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-16
	図面名称	単身用医師住宅 天井伏図・屋根伏図	縮尺	1/100
	製図	日付	H30.3	

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治



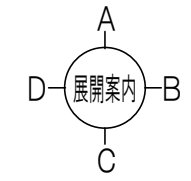
Y15
Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1



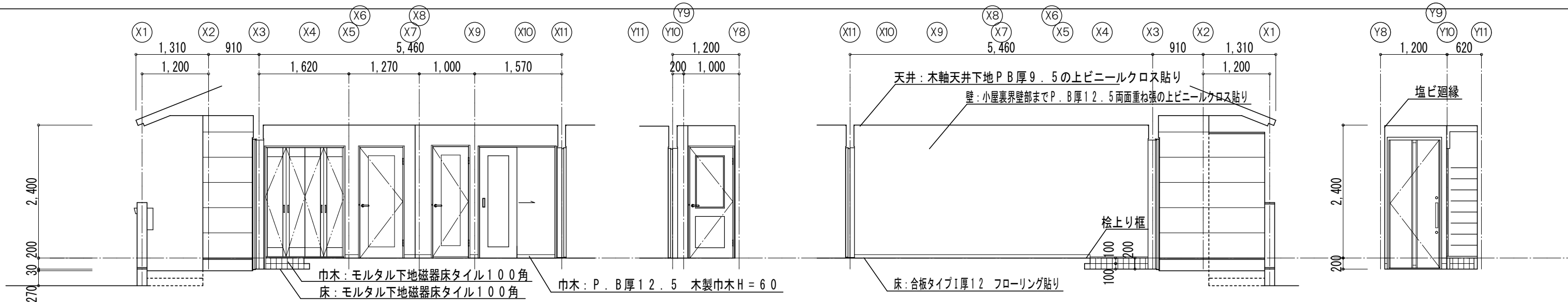
界壁
壁：P8厚12.5重ね張（屋根裏まで）の上ビニールクロス貼
ガラスウール厚90を示す

※ エアコン設置想定部は合板厚12 表張補強を施すこと。

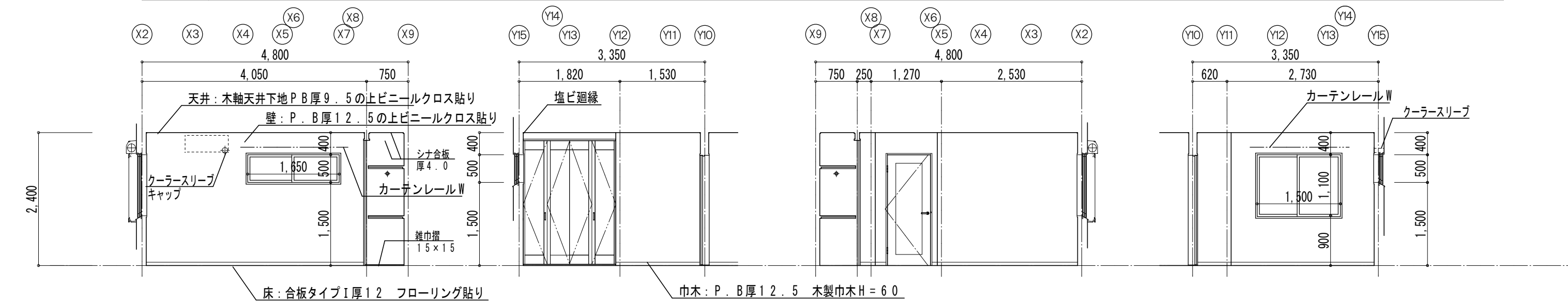
1階平面詳細図 S: 1/50



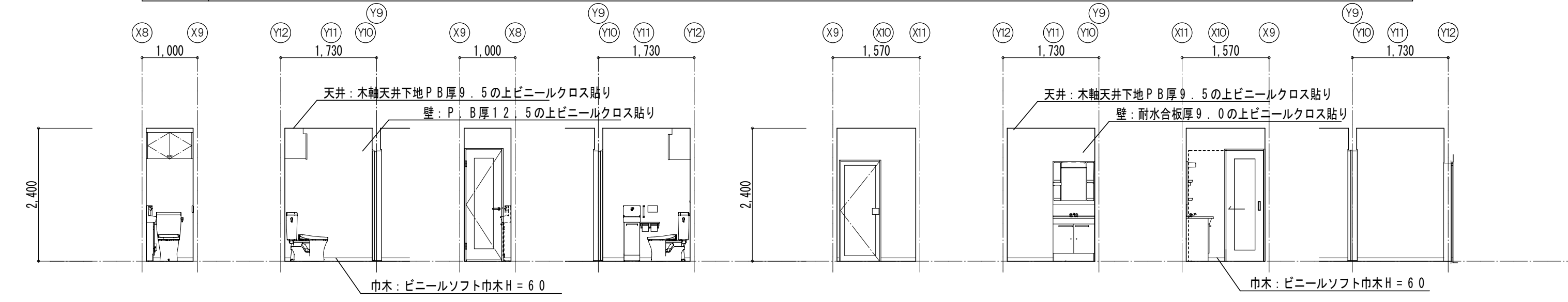
都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-17
	図面名称	単身用医師住宅 平面詳細図	縮尺	1/50
<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 材料検査</small>		製図	日付	H30.3



玄関・廊下



寝室

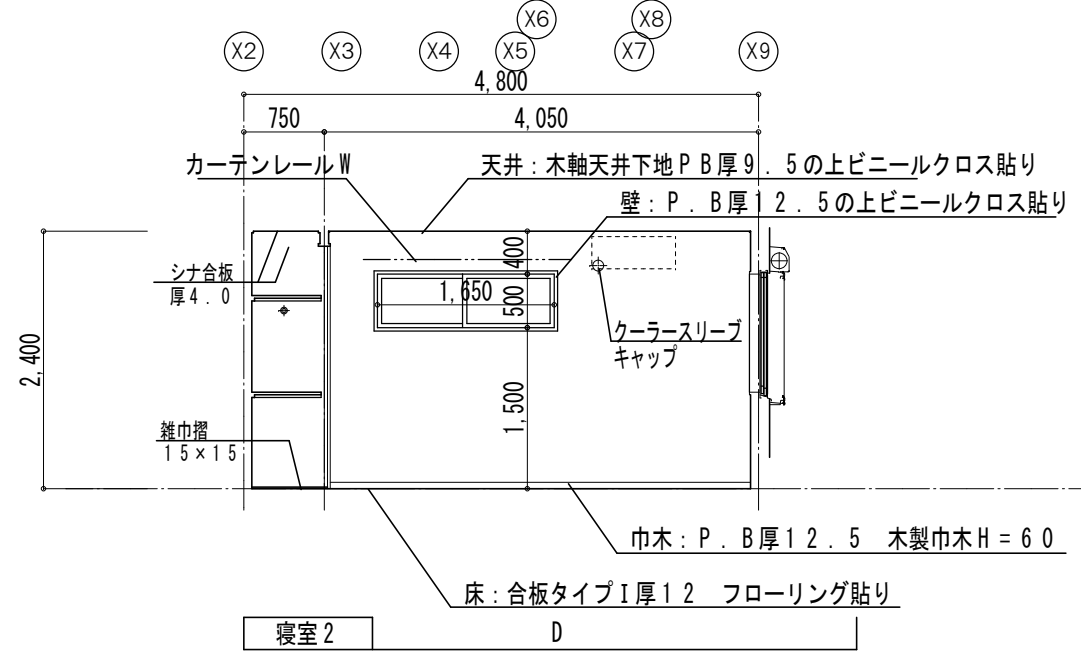
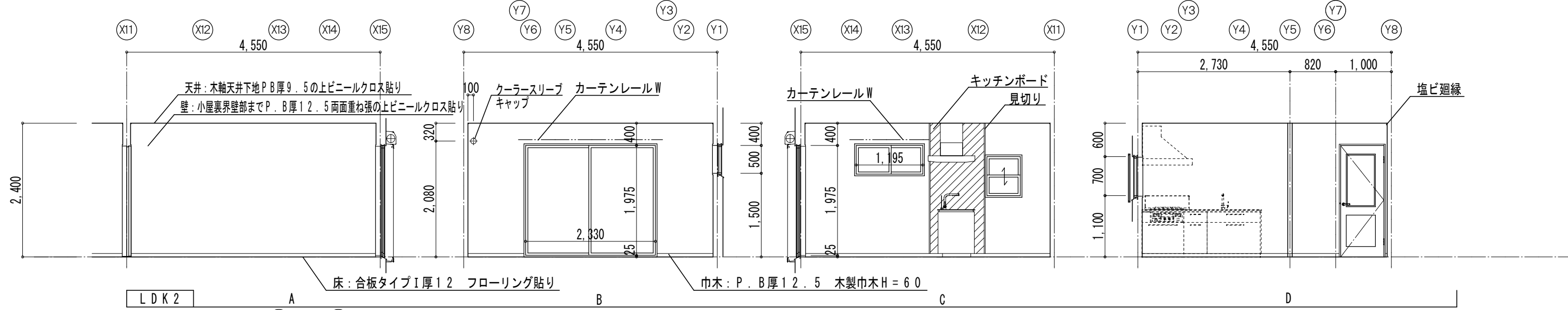
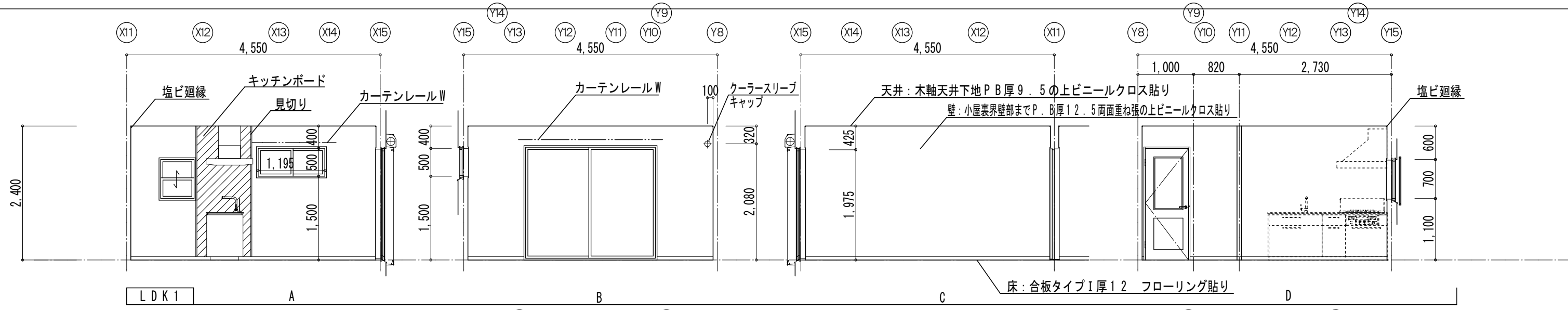


WC

洗面室

※ エアコン設置想定部 は合板厚12 裏張補強を施すこと。
 ※ カーテンレール引戻寸法は開口両側それぞれ150とする。

都市設計		工事名称	図面番号
		京丹波町立医師住宅新築工事	A-18
		図面名称	縮尺
		単身用医師住宅 展開図1	1/50
		製図	日付
			H30.3



都市設計 <small>一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>	工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号 A-19
	図面名称 単身用医師住宅 展開図2	縮尺 1/50
	製図 日付 H30.3	

記号・形式	①AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違イ窓 半外付網戸付	②AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違イ窓 半外付網戸付	③AW アルミ樹脂複合 引違イ窓 半外付網戸付	④AW アルミ樹脂複合 片上げ下げ窓 半外付網戸付面格子付	⑤AW アルミ樹脂複合 片上げ下げ窓 半外付網戸付面格子付	⑥AW アルミ樹脂複合 引違イ窓 半外付網戸付
姿 図						

寸法 (W×H)・場所	2330×1975	LDK1・2	1500×1100	寝室1・2	1650×500	寝室1・2	600×700	LDK	600×700	浴室	1195×500	LDK1・2
見込 数量	86	2	86	2	86	2	86	2	86	2	86	2
水切	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁
額縁	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製
仕 上	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色
金 物	クレセント、付属金物一式、下枠フラットレール	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
備 考	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸、雨戸付シャッター	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸、雨戸付シャッター	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸	上枠一体型換気框、網戸

記号・形式	①AD アルミ樹脂複合片開き玄関ドア	①WD 木製片開きドア	②WD 木製片開きドア	③WD 木製片開きドア	④WD 木製片引戸	⑤WD クローゼット扉	⑥WD 木製開き扉
-------	--------------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-------------	-----------

姿 図							
-----	--	--	--	--	--	--	--

寸法 (W×H)・場所	922×2330	玄関	780×2000	LDK1・2	780×2000	寝室1・2	650×2000	WC	680×2000	洗面室	1670×2260	寝室1・2 CL	1410×2000	玄関	
見込 数量	98	2	30	2	30	2	30	2	30	2	30	2	30	2	
水切	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	額縁	
額縁	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	
仕 上	木目調	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	
金 物	下枠 SUS カバー、DC、付属金物一式 ディンプルキー (PSシリンダー) 2箇所操作 ドアチェック	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	付属金物一式、3方枠	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール
備 考	断熱ドア (D2仕様)														

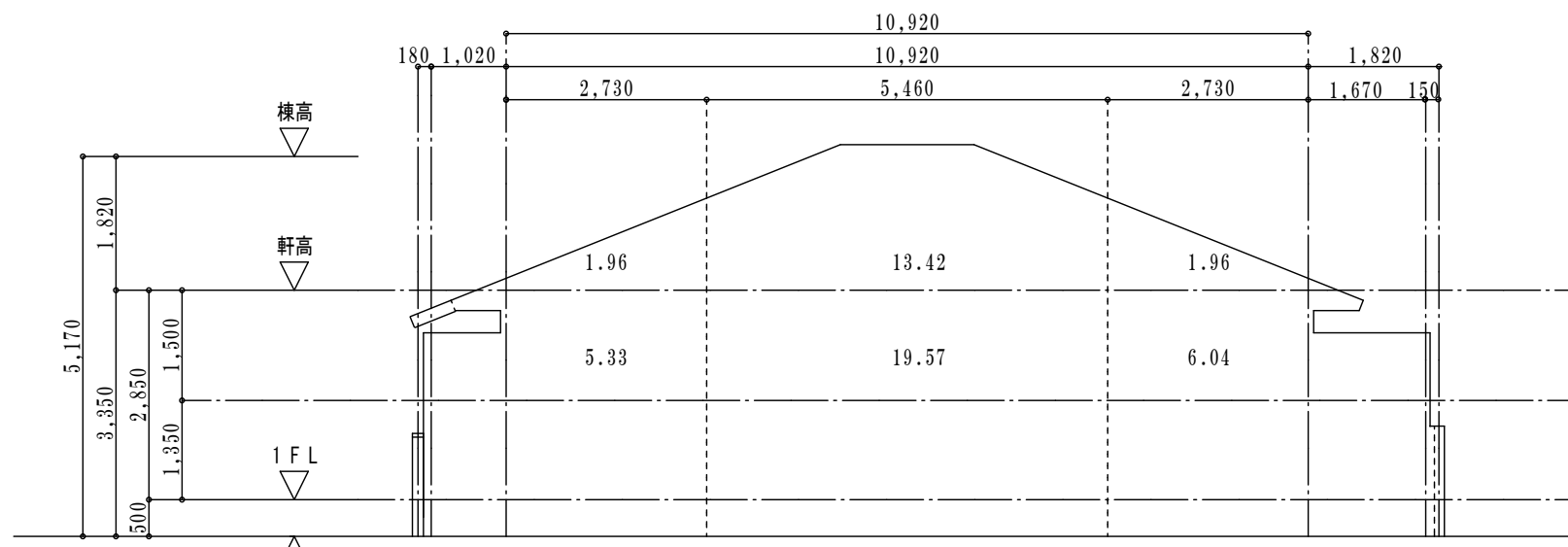
姿 図														
寸法 (W×H)・場所														
見込 数量														
水切														
額縁														
仕 上														
金 物														
備 考														

凡例
 FL 透明フロート硝子
 AP アクリル系樹脂板ミスト半透明
 F 型板硝子
 居室アルミサッシはフィルター付換気框とする
 (引違イ窓は上框一体型)

都市設計

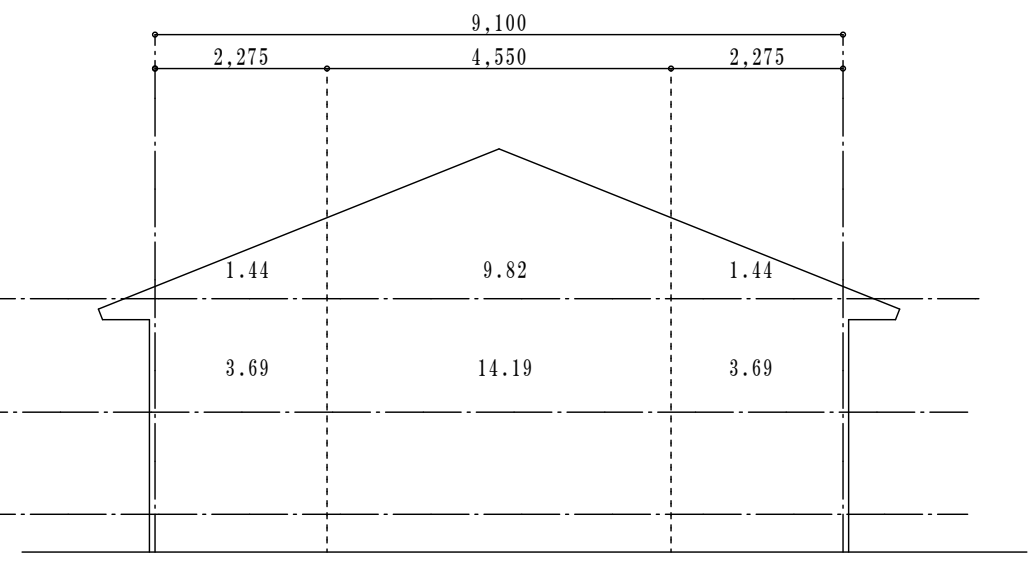
工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-20
図面名称	単身用医師住宅 建具表	縮尺	1/50
製図		日付	H30.3

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治

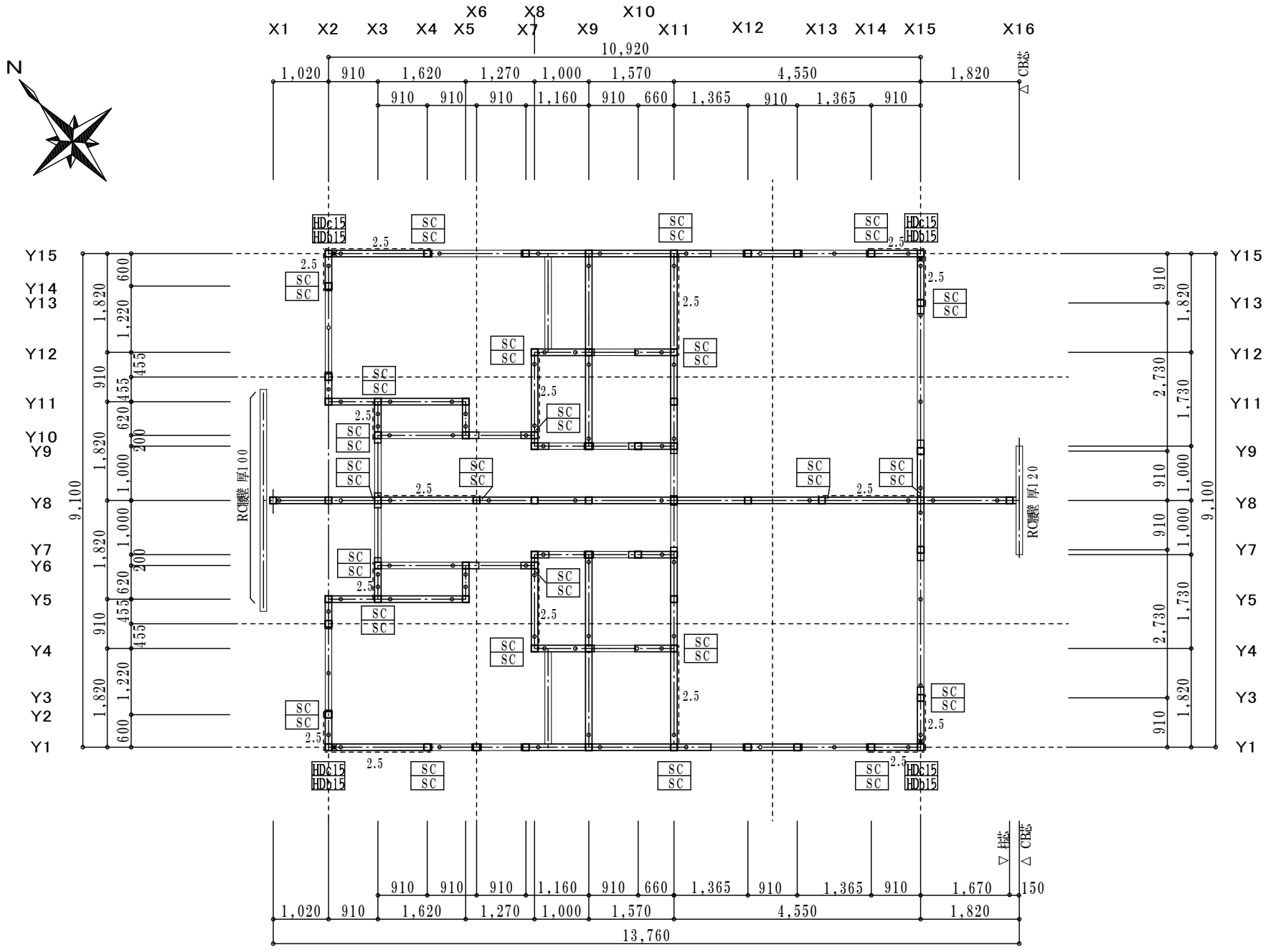


南立面図 S : 1 / 100

建築基準法施行令第46条による面積



西立面図 S : 1 / 100



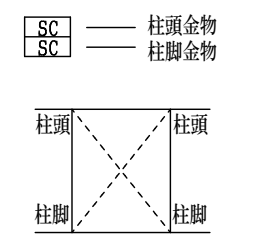
耐力壁金物伏図 S : 1 / 100

特記なきは下記による
 ○ : アンカーボルトM-12 (A-40) @2000以内

アンカーボルトの埋め込み長さの検討
 $SD295A \quad F_c = 21 \quad \text{短期付着} \quad f_a = 2.1$
 アンカーボルトM-16 (A-60) 周長 = $16 \times 3.14 = 50.24$
 $15 \text{ KN} / (50.24 \times 0.0021) = 142.17 \rightarrow 15 \text{ cm}$ 以上埋め込み必要
 (27.4cmの埋め込みとする)

凡例

使用欄	壁倍率	仕様
×	2	筋違い90x45を示す。
×	4	(ダブル)
×	5	(90x45 たすき掛け+構造用合板厚9片面 釘N50 @150)
×	5	(構造用合板 厚9 両面張り 釘N50 @150)
○	2.5	(構造用合板(特類)厚9 片面張り 釘N50 @150)



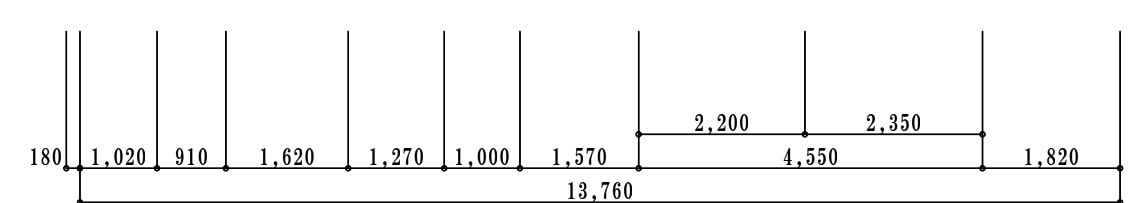
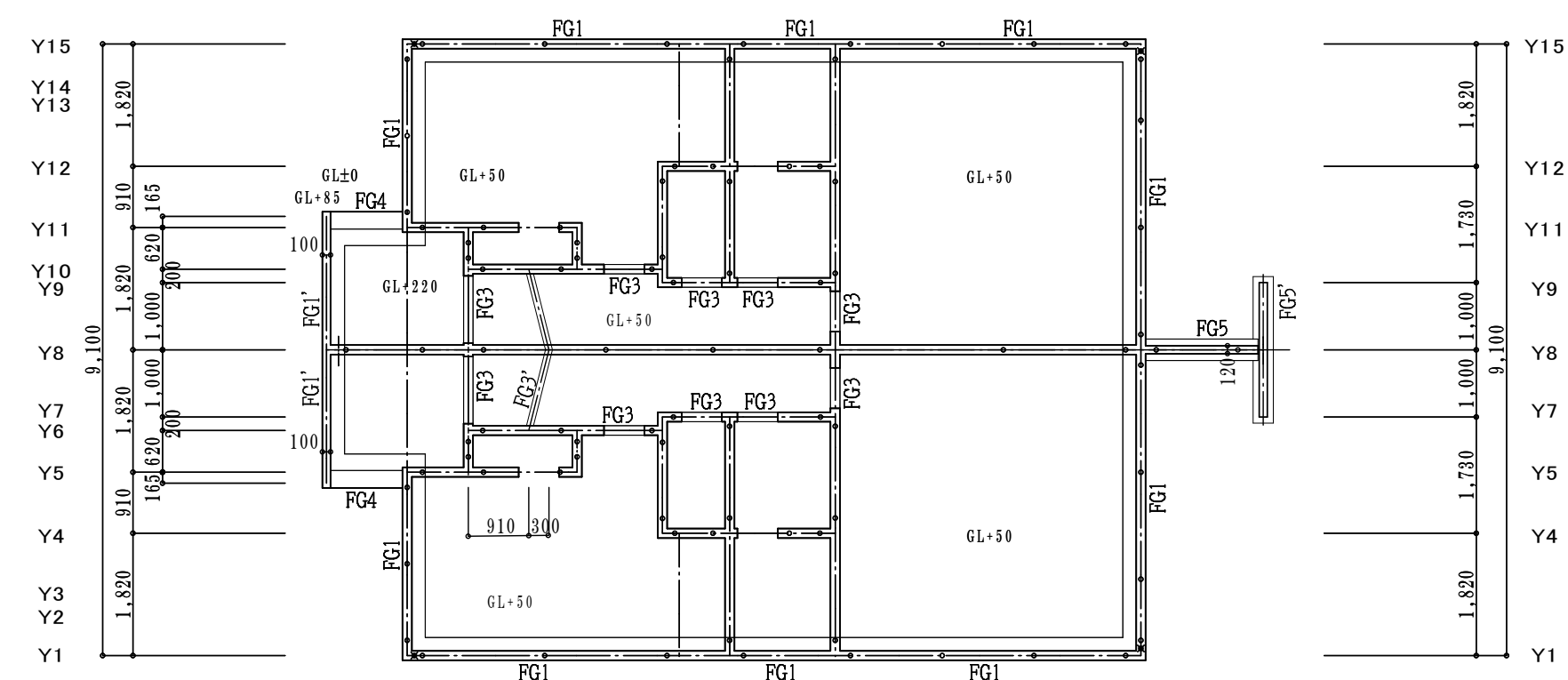
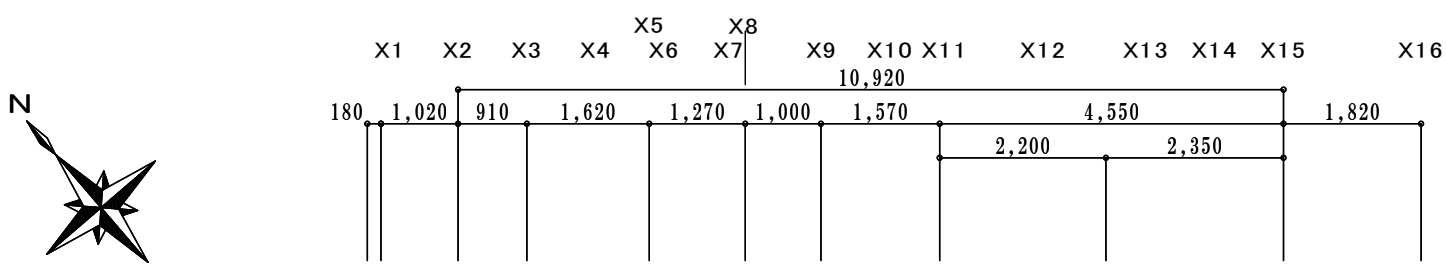
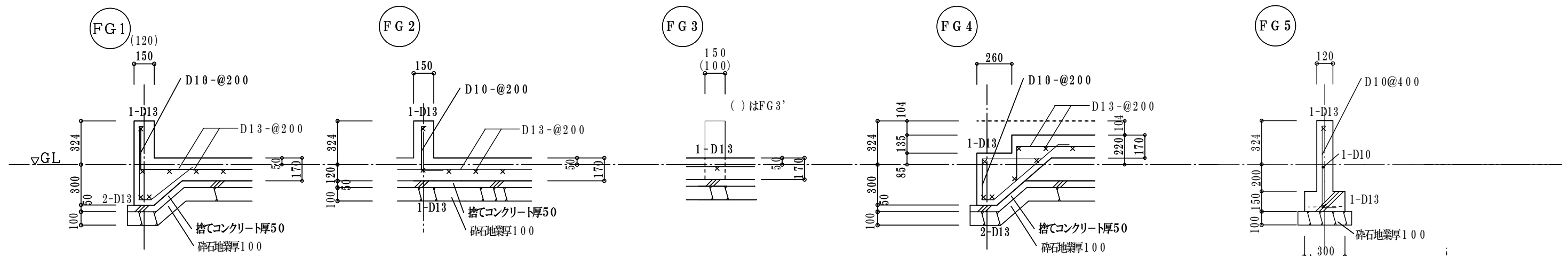
告示記号	略符号	要耐力 KN	金物等	略符号	(株式会社 タナカ) (メーカー商品名)	略符号	(株式会社 カナイ) (メーカー商品名)
ろ	CP-L	3.4	L字形かど金物 釘CN65x5本	SC	スモールコーナー		ミニビルトコーナー
は	VP	5.1	山形プレート金物 釘CN90x8本 又はT字形かど金物 釘CN65x5本	CC	コンパクトコーナー		
へ	HD10	10	10KN用引き寄せ金物	HDε10	ホールダウンコーナー 又は ジョイント		
と	HD15	15	15KN用引き寄せ金物	HDε15	オメガコーナー-15KN用	HDb15	プレイングホールダウンB-HD15
ち	HD20	20	20KN用引き寄せ金物	HDε20	オメガコーナー-20KN用	HDb20	プレイングホールダウンB-HD20
り	HD25	25	25KN用引き寄せ金物			HDb25	プレイングホールダウンB-HD25
ぬ		30				HDb30	プレイングホールダウンB-HD30
		35		HDε35	ビス止めホールダウンU35		

納まりに依り同等の金物使用

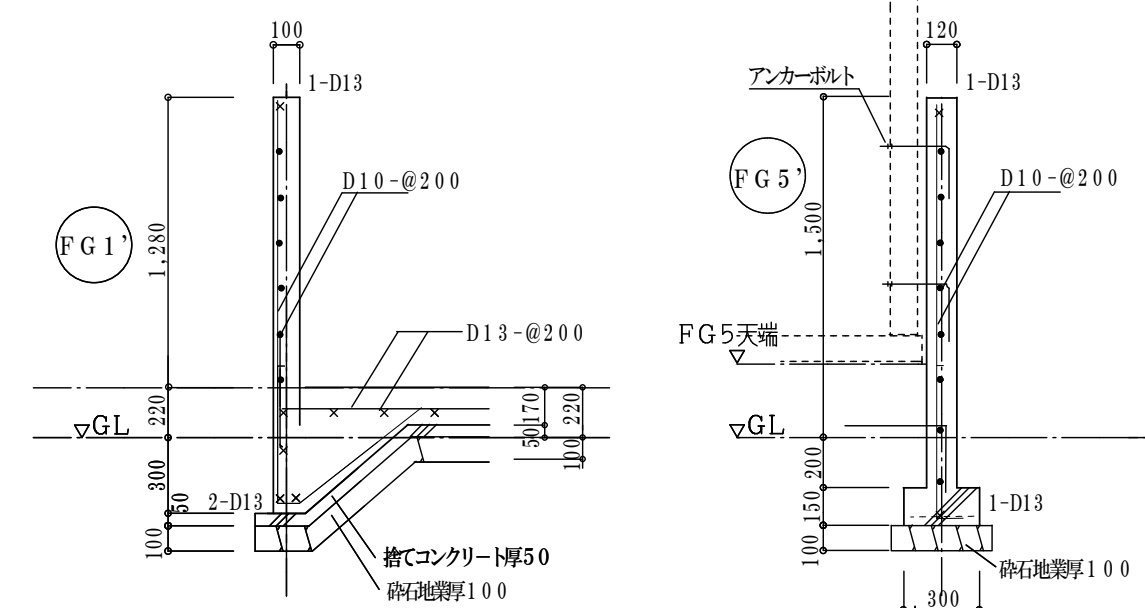
<h1>都市設計</h1>	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-21
	図面名称	単身者用 耐力壁金物伏図	縮尺 (A-3)	1/100
	製図	ET	日付	H30.3

一級建築士事務所登録(29A)第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治

基礎詳細図 1:30



基礎伏図 S: 1/100

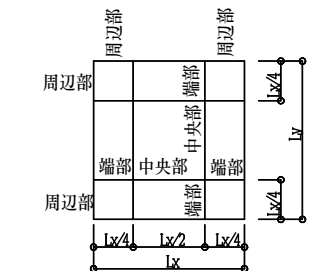


構造概要

基礎	ベタ基礎
スウェーデン式サウンディング法により支持地盤を確認済	
コンクリート	FC21-18-20 (下記以外) FC18-15-20 (捨てコンクリート)
鉄筋	SD295A (規格品)

特記なきは下記による
 * : アンカーボルト (A-60)
 ○ : アンカーボルト (A-40) @2000以内
 FG2 FS1 とする。

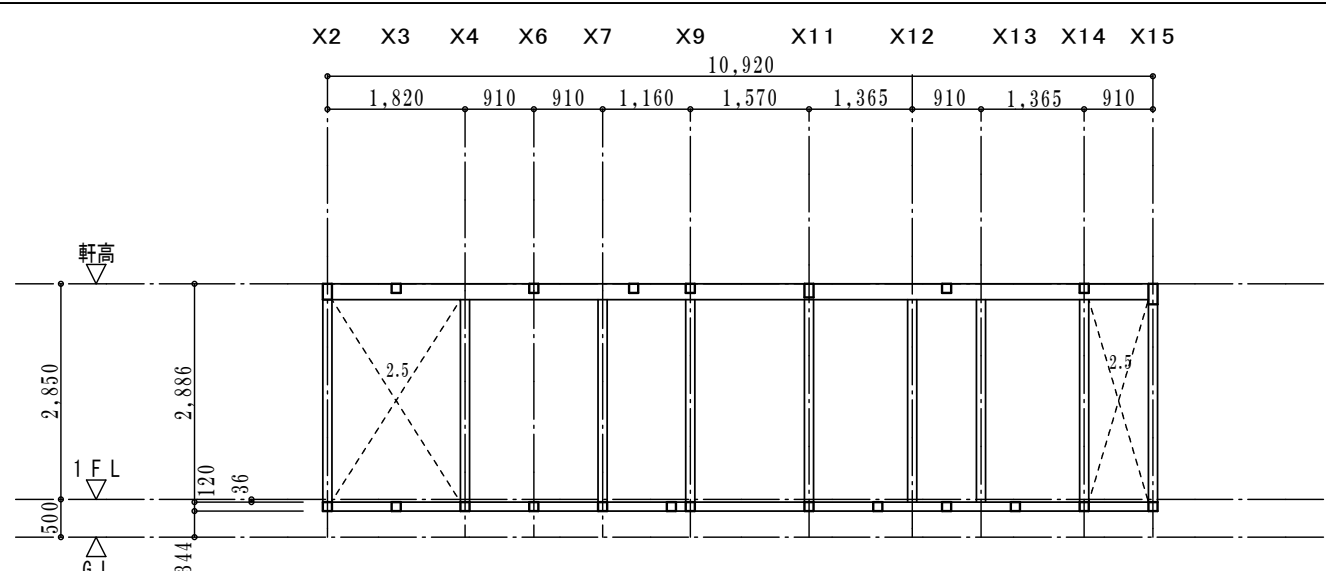
符号	短辺	端部	中央部	周辺部	版厚
FS1	短辺	D13-@200	D13-@200	D13-@200	170
	長辺	D13-@200	D13-@200	D13-@200	



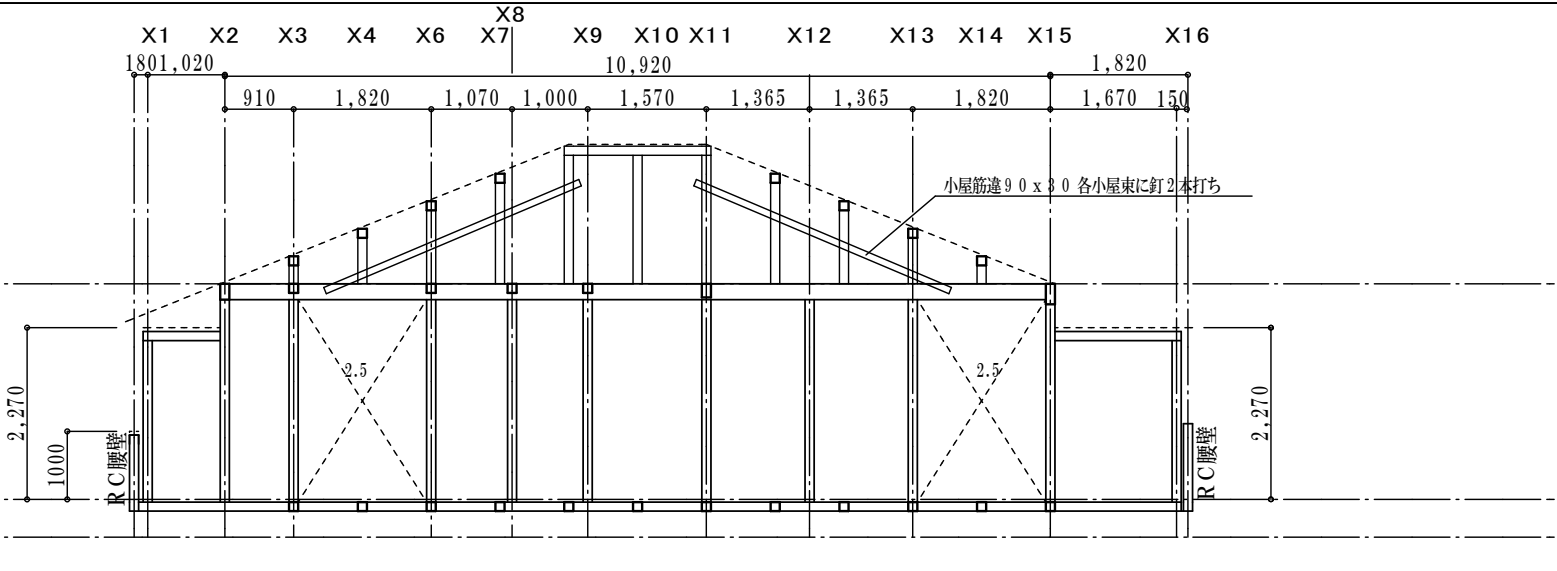
鉄筋は、シングル配筋とする。
 スラブ筋の梁への定着長さは35dとする。
 スラブ下面、ポリエチレン防湿シート厚0.15敷込とする。

<h2>都市設計</h2>	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-22
	図面名称	単身者用 基礎伏図	縮尺 (A-3)	1/100
	製図	ET	日付	H30.3

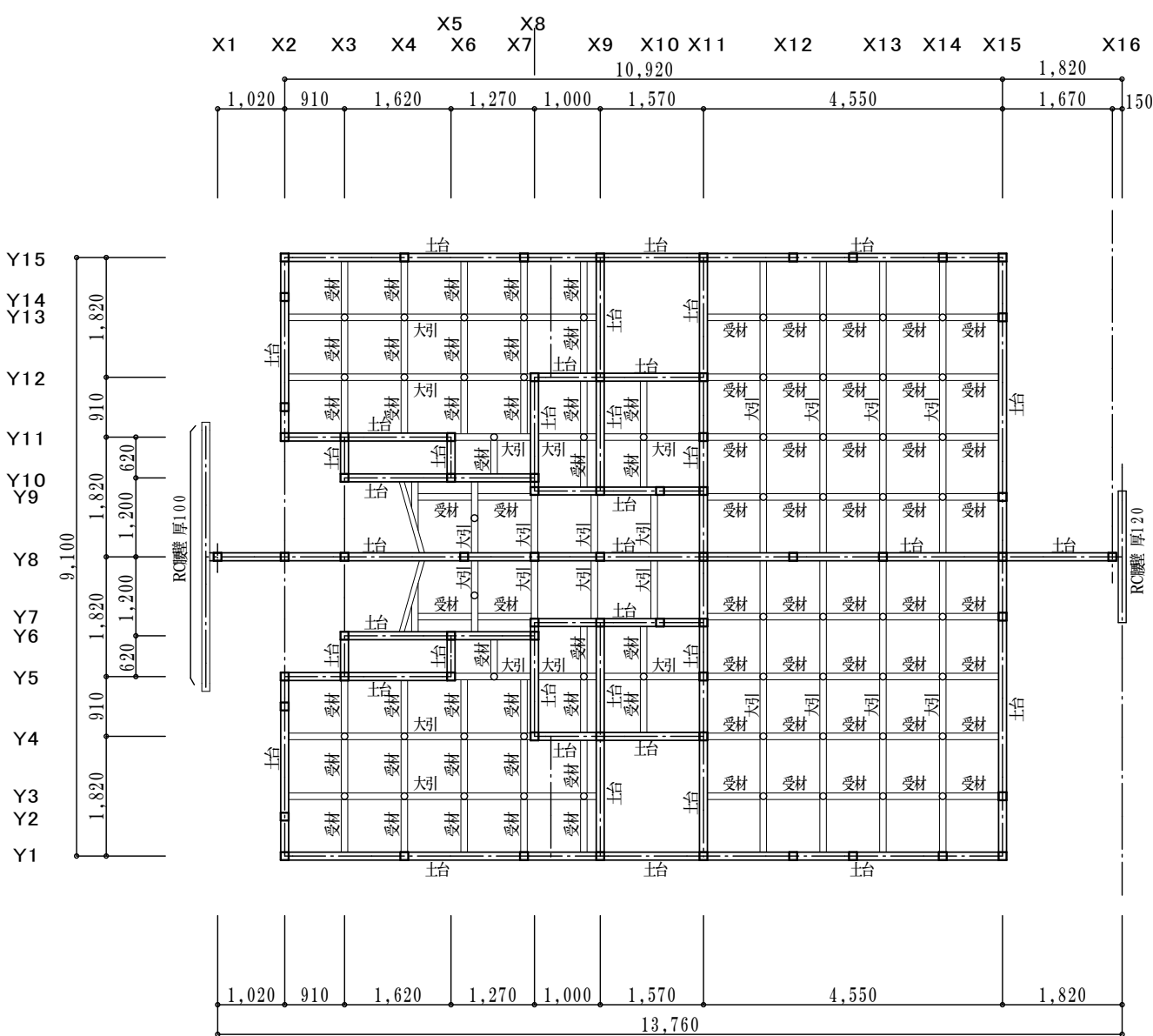
一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治



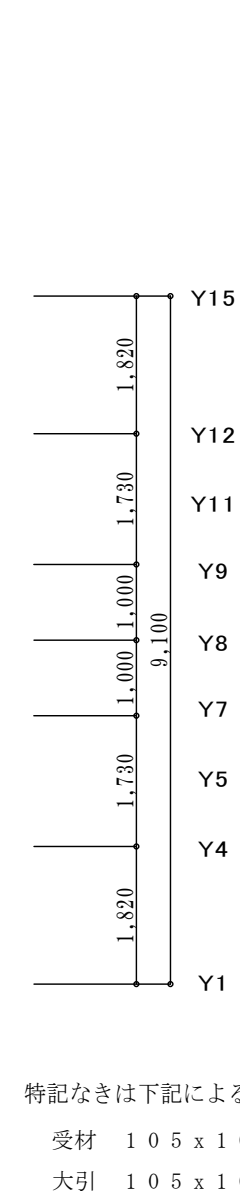
Y15通軸組図 S: 1/100



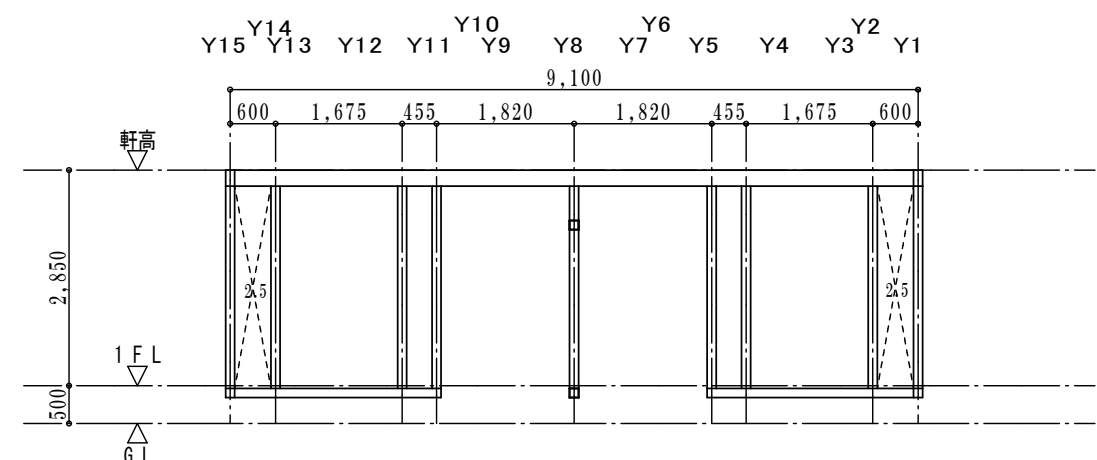
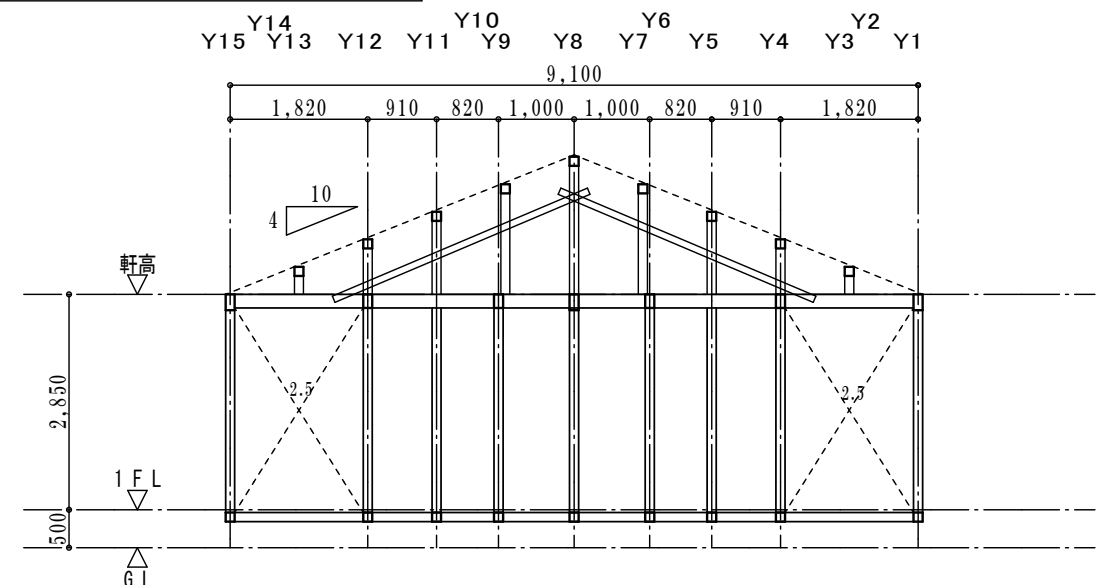
Y8通軸組図 S: 1/100



床伏図 S: 1/100



X11通軸組図 S: 1/100



X2通軸組図 S: 1/100

特記なきは下記による

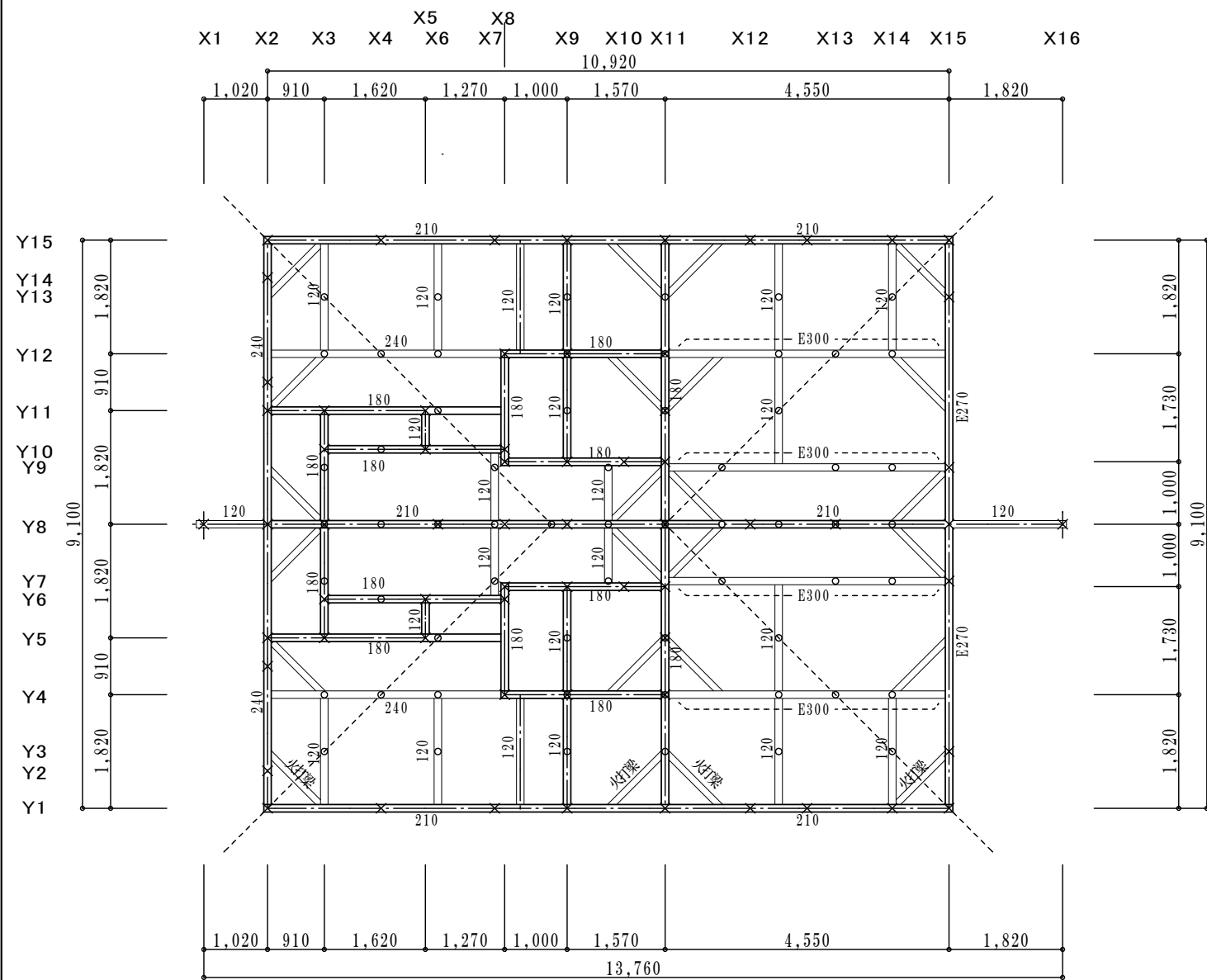
- 受材 105 x 105 @ 910
- 大引 105 x 105
- 土台 120 x 120

凡例

- ≡ ≡ ≡ - 柱を示す。 120 x 120
- - 鋼製製束フラットタイプを示す。

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-23
	図面名称	単身者用 床伏図	縮尺 (A-3)	1/100
	製図	ET	日付	H30.3

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治



梁伏図 S : 1 / 100

凡例
 - 梁下管柱を示す。

特記

小屋束は小屋筋違い、雲筋違いで結束する。
 地面より1m以内は防腐、防蟻措置をする。

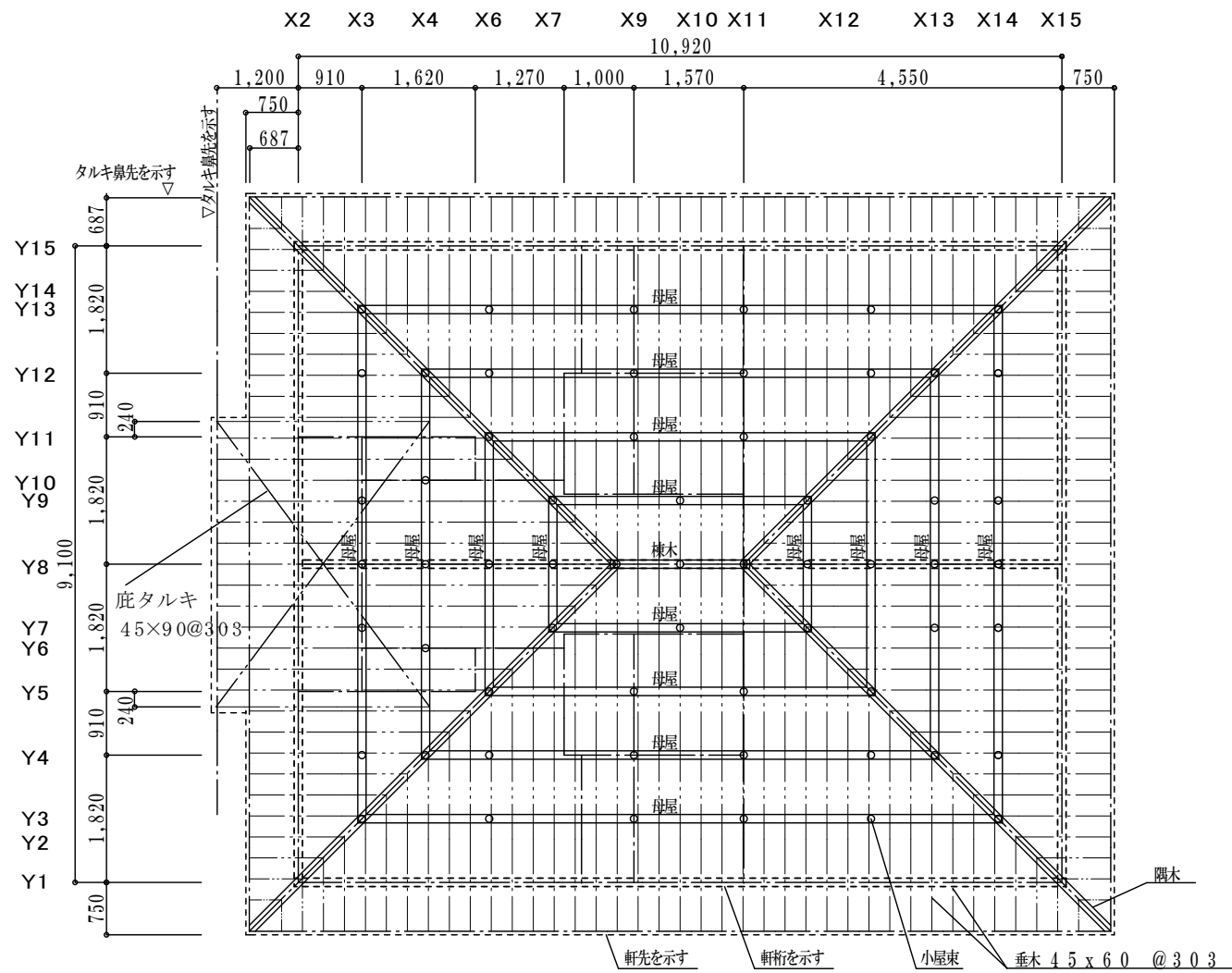
部材リスト

名称	材種	寸法	備考
棟木	杉	105 x 105	特1等
母屋	杉	105 x 105	特1等
小屋束	杉	105 x 105	特1等 カスガイ留め
隅木	杉	105 x 60	特1等
垂木	杉	45 x 60 @303	特1等
		45 x 90 @303	母屋欠込納め (垂木天端揃え)
火打梁	杉	105 x 105	特1等
土台	桧	120 x 120	1等 腰掛蟻継
大引	杉	105 x 105	特1等
受材	杉	105 x 105 @910	特1等
管柱	杉	120 x 120	特1等
間柱	杉	30 x 120	特1等
間柱 面材耐力壁部	杉	45 x 120	特1等

(注) 構造耐力上使用する木材は節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等耐力上欠点がない事。

部材リスト

名称	材種	略寸法	寸法	備考
梁	米松	120	105 x 120	仕口部 羽子板ボルト締め
梁	米松	180	105 x 180	仕口部 羽子板ボルト締め
梁	米松	210	120 x 210	腰掛蟻継 プレートとめ
梁	米松	240	120 x 240	腰掛蟻継 プレートとめ
梁	EW(E105-F300)RW	E300	120 x 300	仕口部 羽子板ボルト締め
				対称異等級
屋根 野地板	構造用合板	t = 12		特類
1階床板	構造用合板	t = 24		特類
金物	Zマーク及び同等品以上			



小屋伏図 S : 1 / 100

凡例

- 小屋束を示す。ほぞ挿しの上カスガイにて上下2本づつ留める。

勾配屋根水平構面

面材の種類	厚さ12mmの構造用合板(特類)
面材釘打ち仕様	面材を鉄丸釘N50を用いて、@150間隔で垂木に打ち付け
垂木の仕様と間隔	幅45x成60の垂木を相互の間隔303mm以下で、軒桁・母屋・棟木の上の勾配面に並列して設置

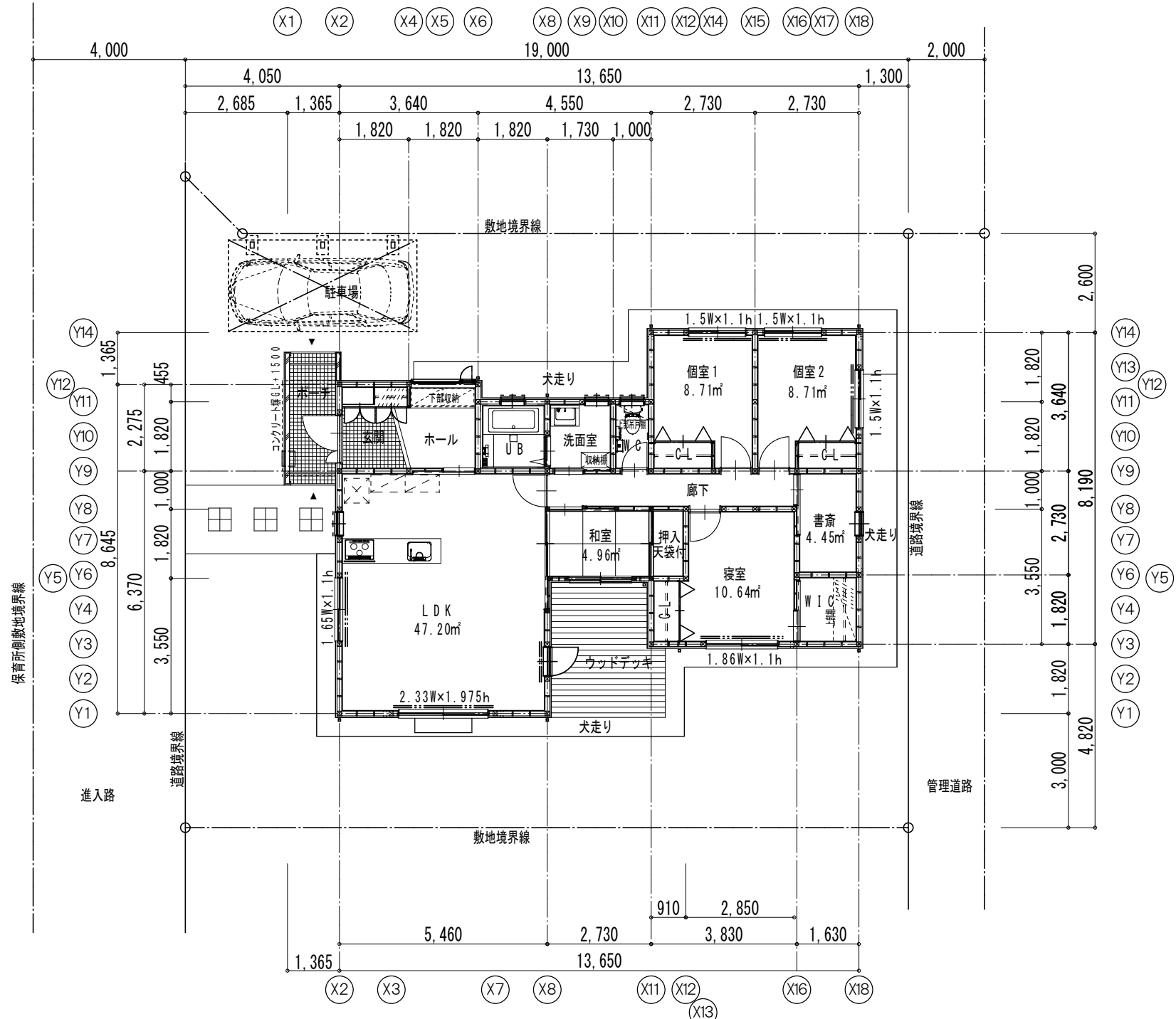
水平構面

面材の種類	厚さ24mmの構造用合板(特類)
面材釘打ち仕様	面材四周を鉄丸釘N75を用いて、@150間隔で梁組及び合板継目部分の受け材に対し打ち付け
受材の仕様と間隔	幅105x成105以上の受材を面材の継目に沿って土台、大引の間に落とし込み大引、及び受材の間隔910mm以下

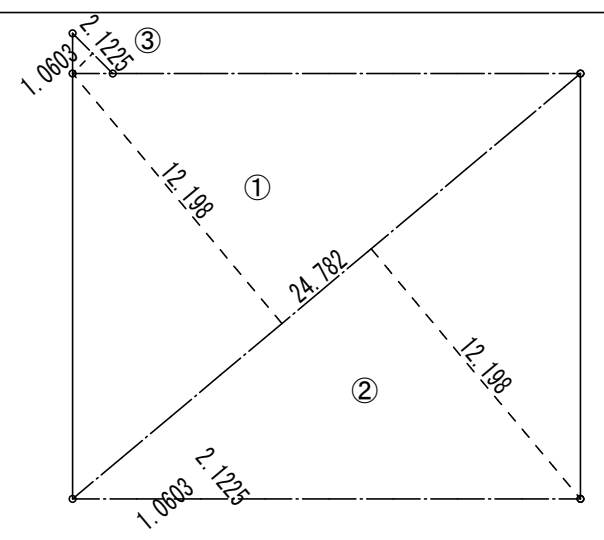
都市設計

一級建築士事務所登録(29A)第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治

工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-24
図面名称	単身者用 梁伏図 小屋伏図	縮尺(A-3)	1/100
製図	ET	日付	H30.3

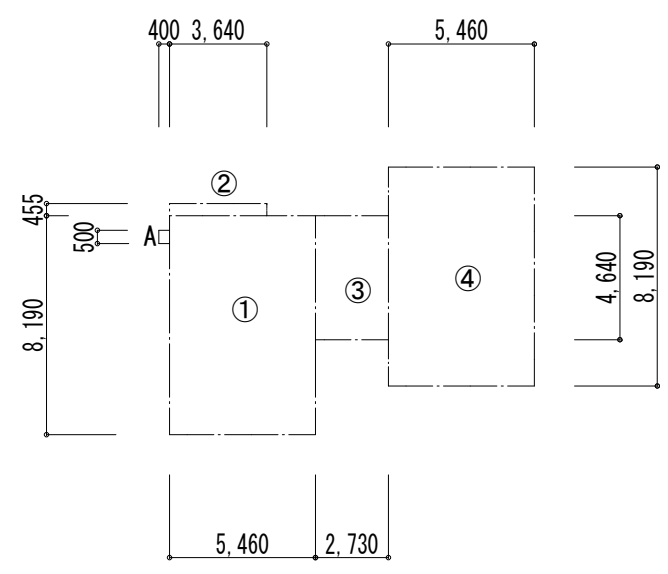


1階平面図 S: 1/100



①	$24.782 \times 12.198 \times 1/2 = 151.145418$
②	$24.782 \times 12.198 \times 1/2 = 151.145418$
③	$2.1225 \times 1.0603 \times 1/2 = 1.1252433$
合計	303.42m ²

敷地求積図・求積表 S: 1/200



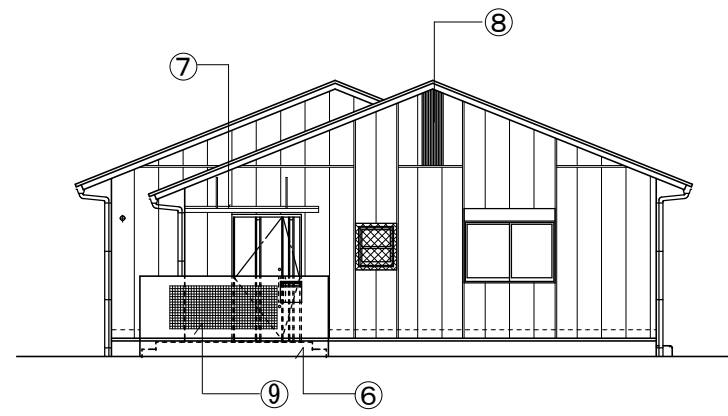
①	$5.46 \times 8.19 = 44.7174$
②	$3.46 \times 0.455 = 1.5743$
③	$2.73 \times 4.64 = 12.6672$
④	$5.46 \times 8.19 = 44.7174$
合計	103.6763
A	$0.4 \times 0.5 = 0.2$
合計	①+②+③+④+A = 103.87
建築面積	103.87m ² (31.42坪)
床面積	103.67m ² (31.36坪)

建物求積図・求積表 S: 1/200

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-25
	図面名称	世帯用医師住宅 平面図・求積図・求積表	縮尺	1/100・200
<small>一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林慎治</small>	製図	日付	H30.3	



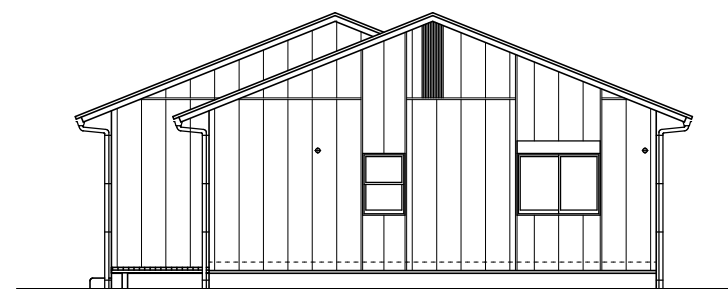
東面図 S: 1/100



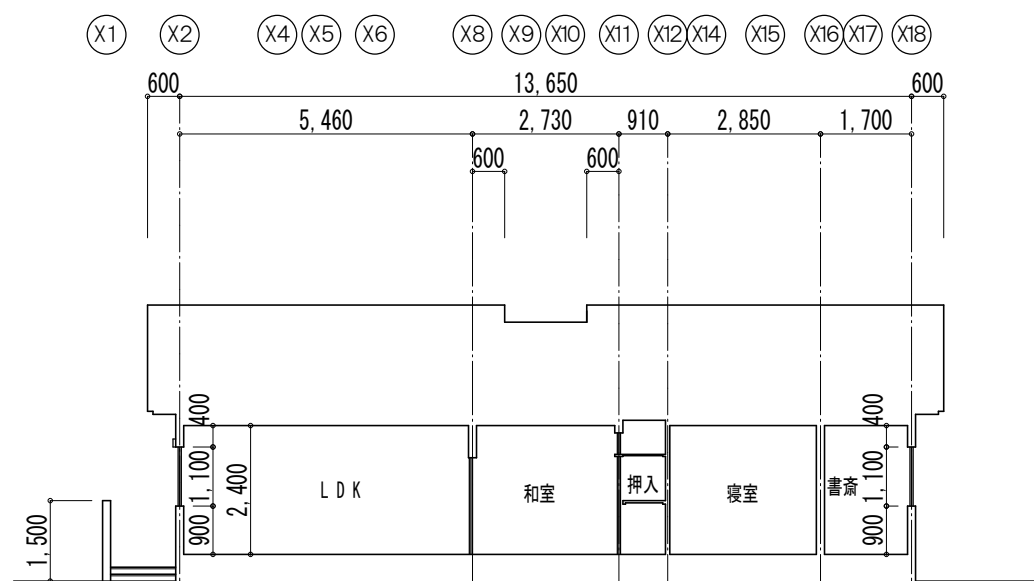
西面図 S: 1/100



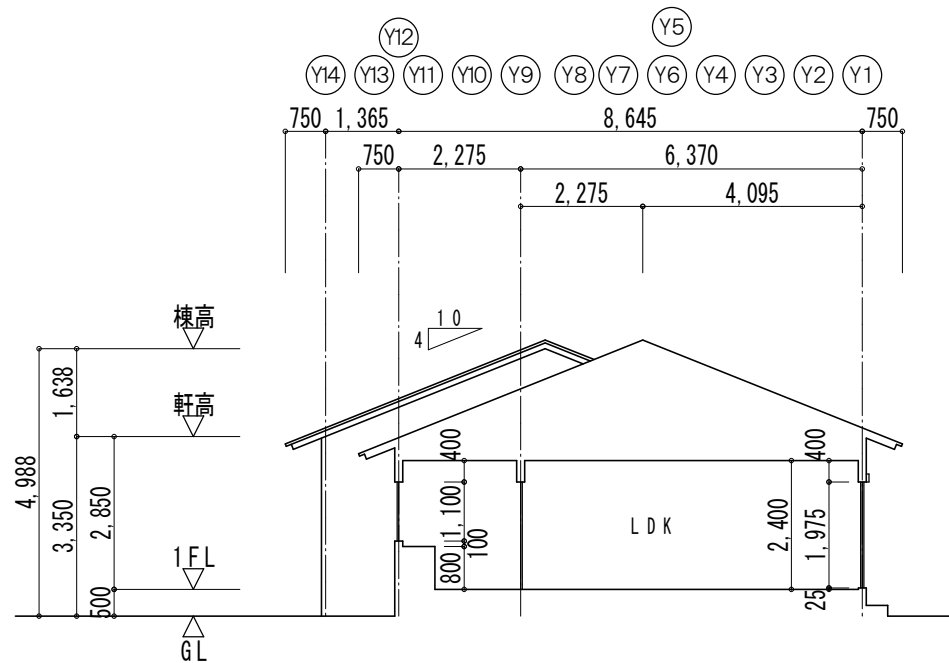
北面図 S: 1/100



東面図 S: 1/100



A-a断面図 S: 1/100

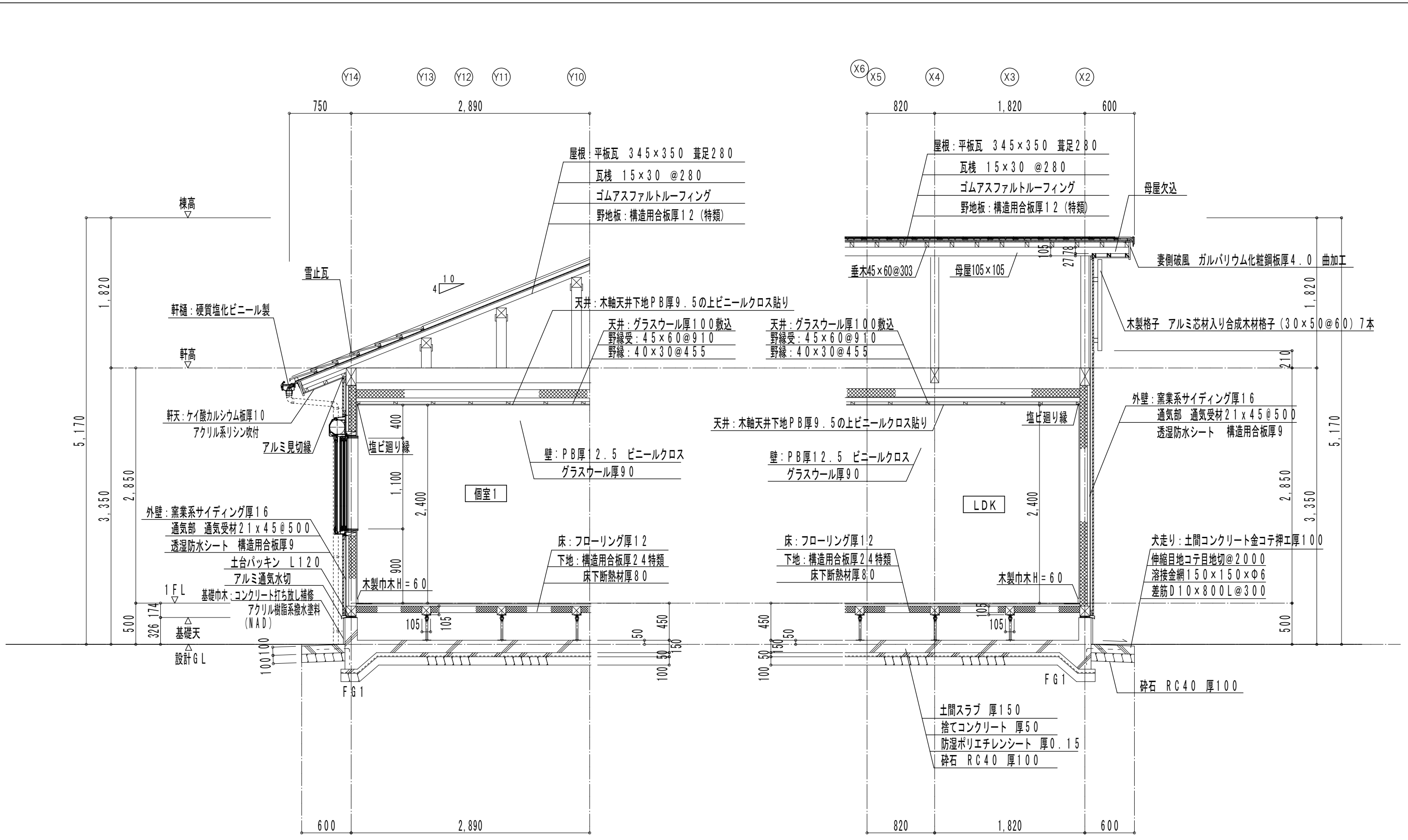


B-b断面図 S: 1/100

外部仕上表	
①	屋根: 平板瓦葺 4寸勾配 (スーパートライ110スマート同等)
②	軒樋: 硬質塩化ビニール製
③	外壁: 窯業系サイディング厚16 16×455×3030 タテ張
③a	外壁: 窯業系サイディング厚16 16×455×3030 タテ張
④	アルミ見切縁
⑤	アルミ通気土台
⑥	コンクリート打ち放し補修 アクリル樹脂系撥水塗料 (NAD)
⑦	アルミ庇 1400×2500
⑧	木製格子 アルミ芯材入り合成木材格子 (30×50@60) 7本
⑨	コンクリート打ち放し補修の上 表側 磁器モザイクタイル50口張 内側 吹付タイル
⑩	コンクリート打ち放し補修の上吹付タイル
⑪	クーラースリーブSU75 7ヶ処

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-26
	図面名称	世帯用医師住宅 立面図・断面図	縮尺	1/100
	製図	日付	H30.3	

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治

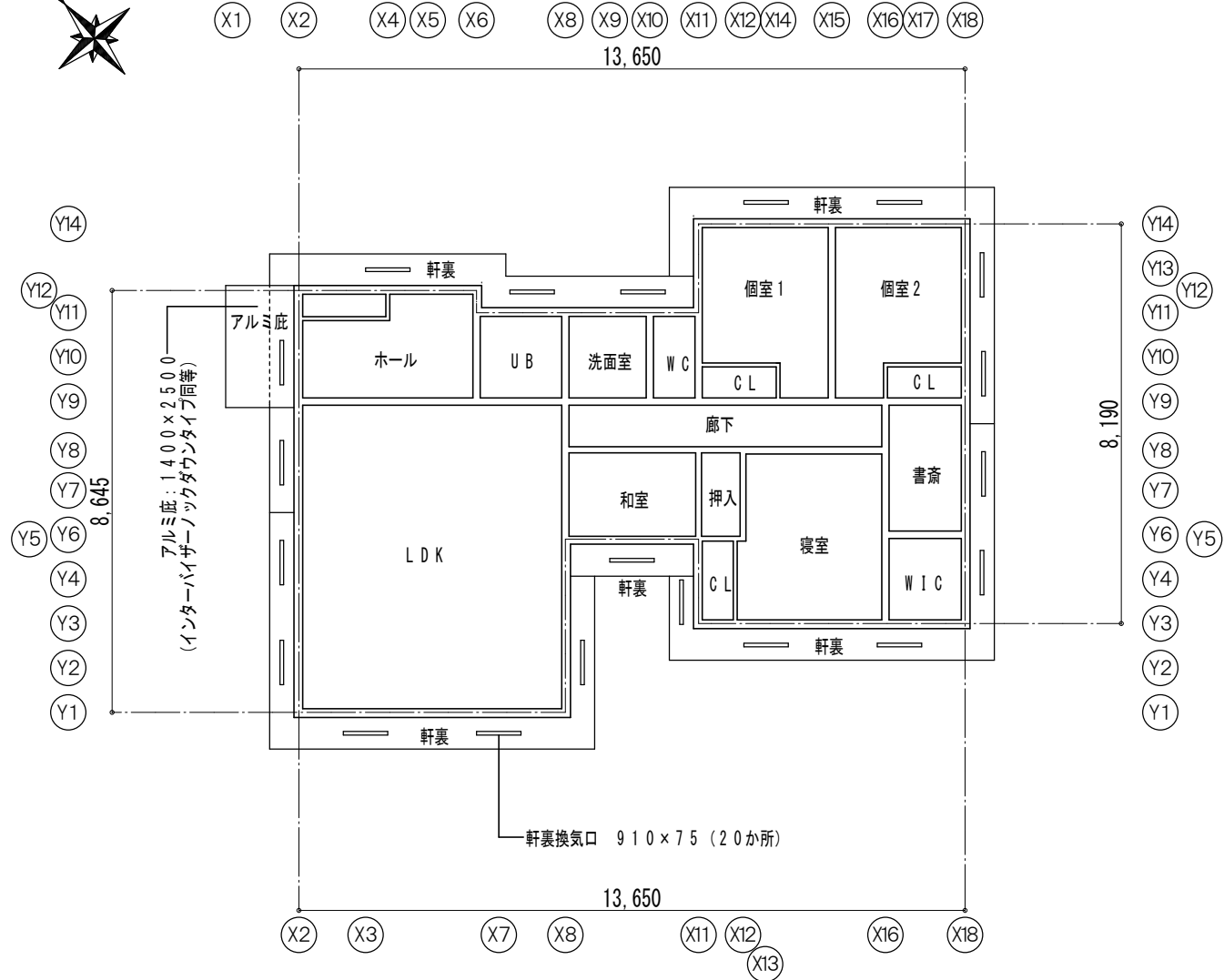
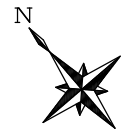


※ 設計g1=B.M+600とする

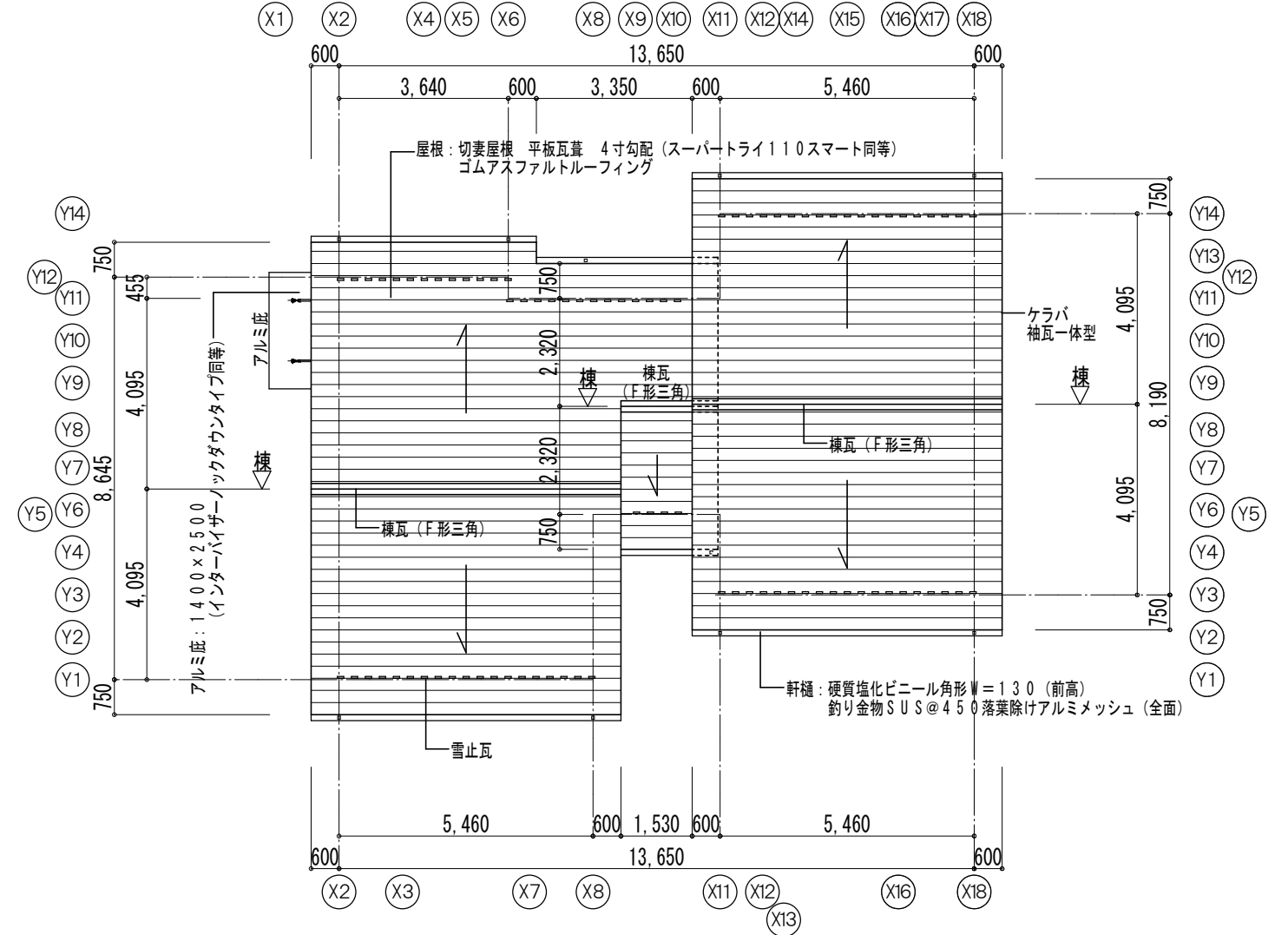
矩計図 S: 1/30

矩計図 S: 1/30

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-27
	図面名称	世帯用医師住宅 矩計図	縮尺	1/30
<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>	製図	日付	H30.3	



1階平面図 S: 1/100

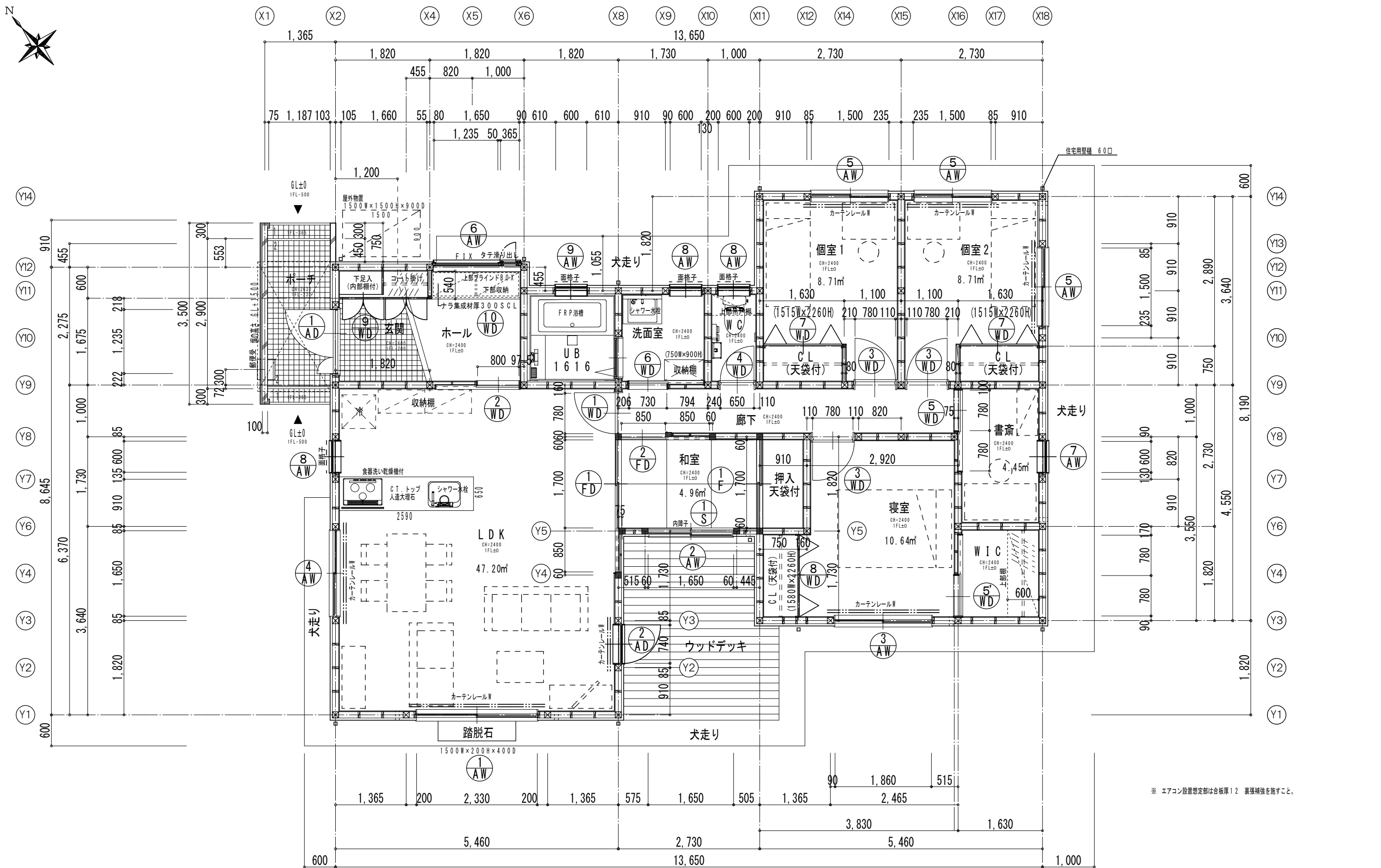
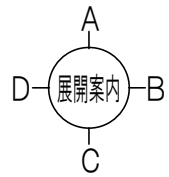


屋根伏図 S: 1/100

室名	天井仕上材	室名	天井仕上材
軒裏	ケイ酸カルシウム板 厚10 アクリル系リシン吹付 (下地調整共)	UB	バスパネル
玄関・ホール	木軸天井下地P B厚9.5 ビニールクロス貼り	WC	木軸天井下地P B厚9.5 ビニールクロス貼り
L.D.K	同上	寝室	同上
和室	木軸天井下地化粧P B厚9.5 杉証底目	寝室CL	シナベニア 厚4.0
押入	木軸天井下地 ベニア5.5	書斎	木軸天井下地P B厚9.5 ビニールクロス貼り
廊下	木軸天井下地P B厚9.5 ビニールクロス貼り	WIC	同上
洗面所	同上	個室1・2	同上
		個室CL	同上

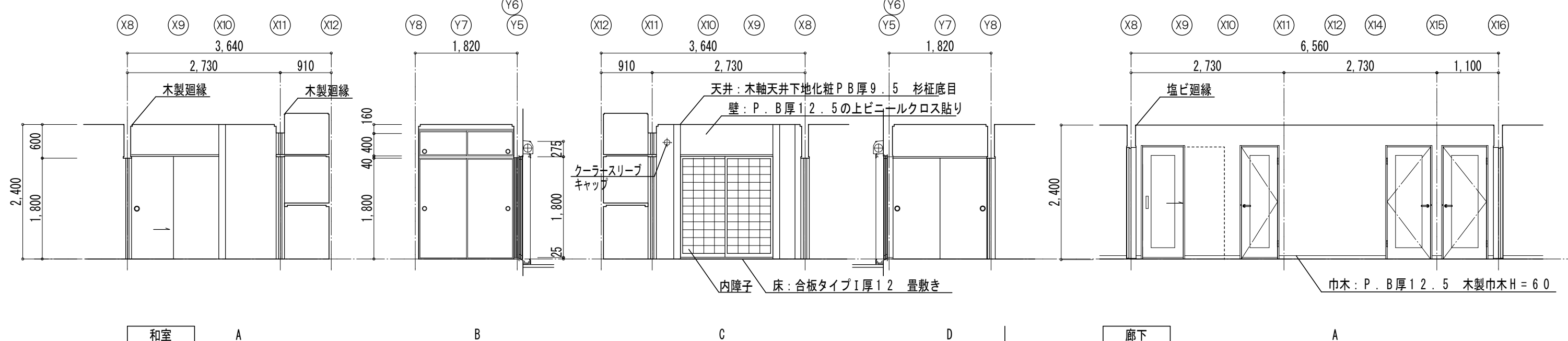
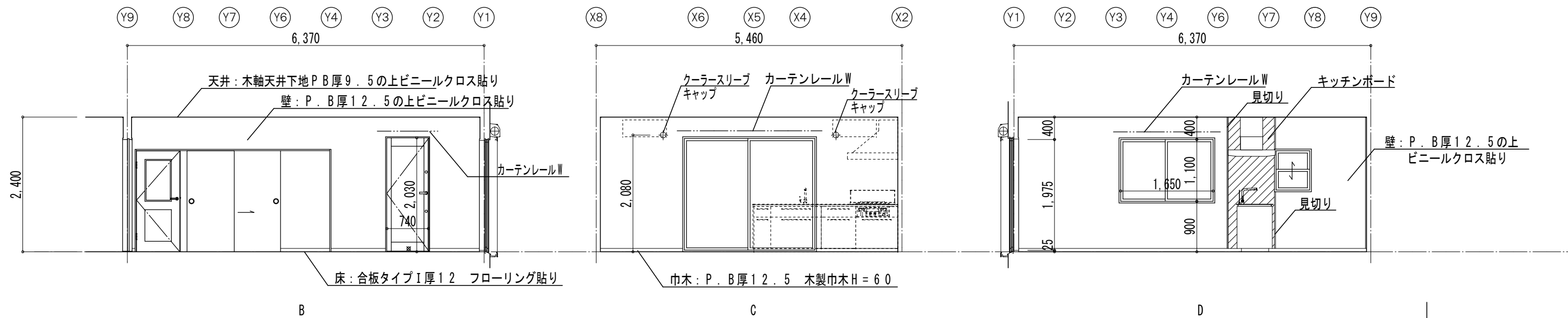
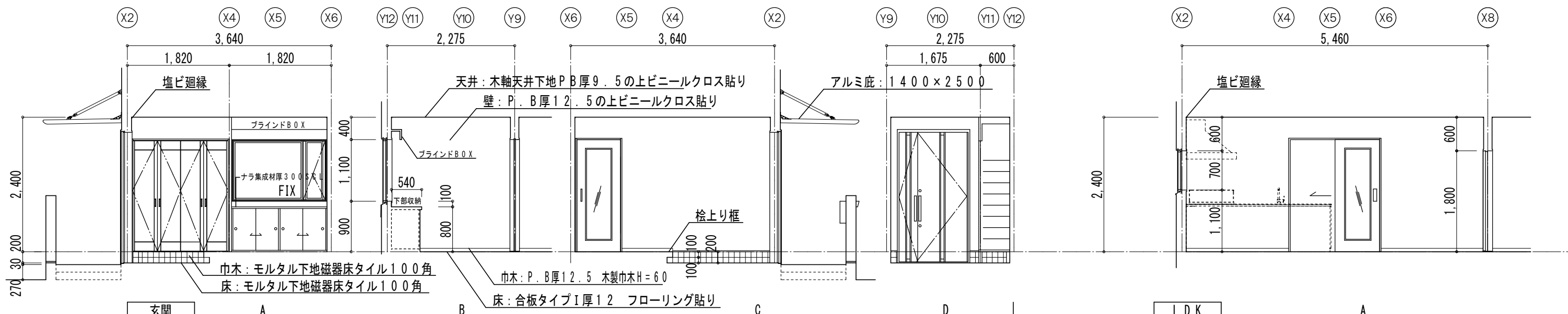
※ 瓦割り付け寸法により、桁の出、破風寸法を決定のこと。

都市設計 <small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>	工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号 A-28
	図面名称 世帯用医師住宅 天井伏図・屋根伏図	縮尺 1/100
	製図 日付 H30.3	



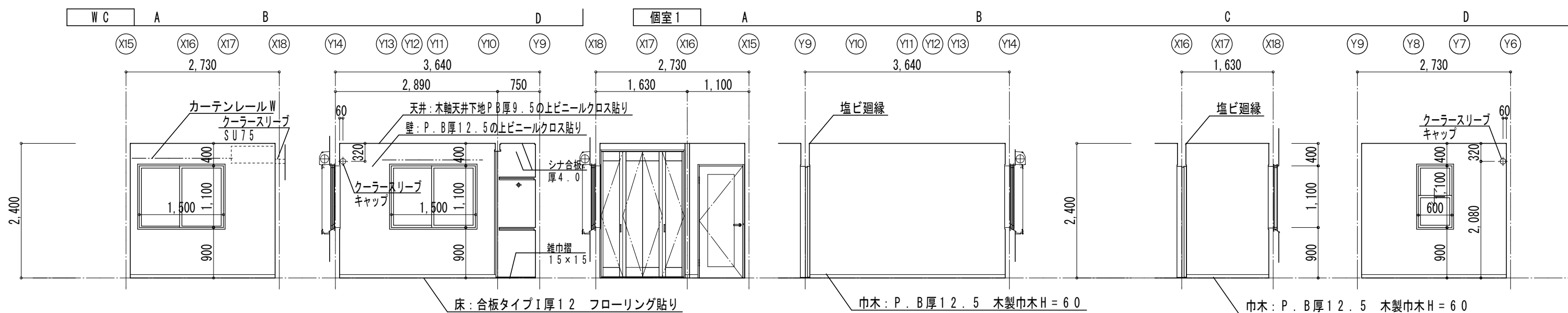
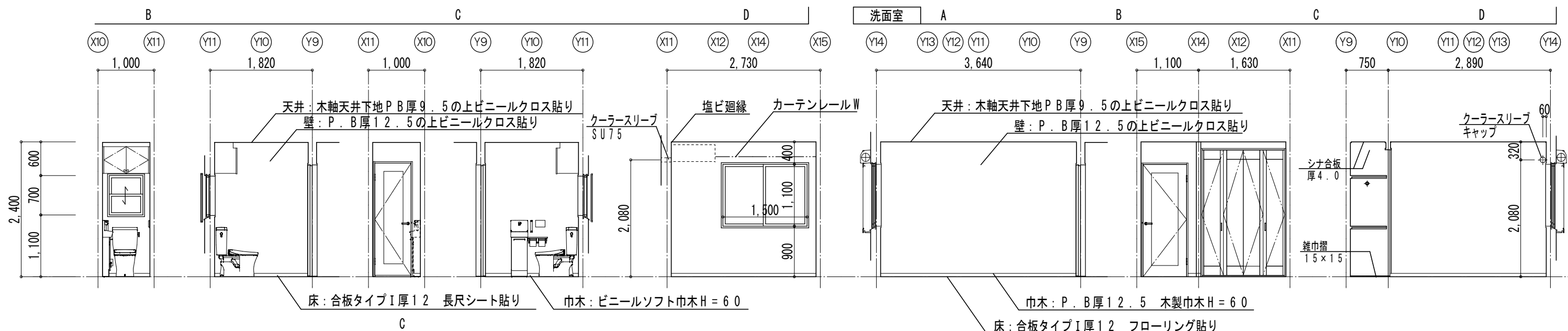
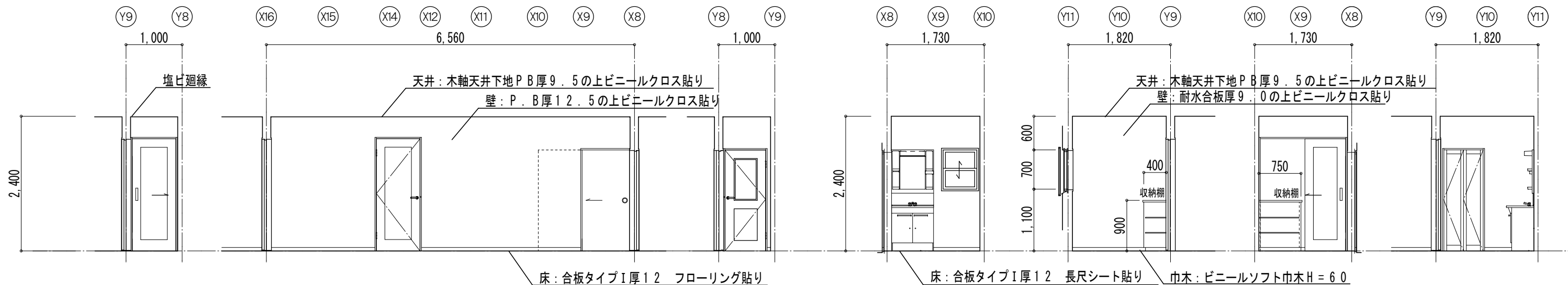
1階平面詳細図 S : 1/50

都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-29
	図面名称	世帯用医師住宅 平面詳細図	縮尺	1/50
	製図		日付	H30.3
<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>				

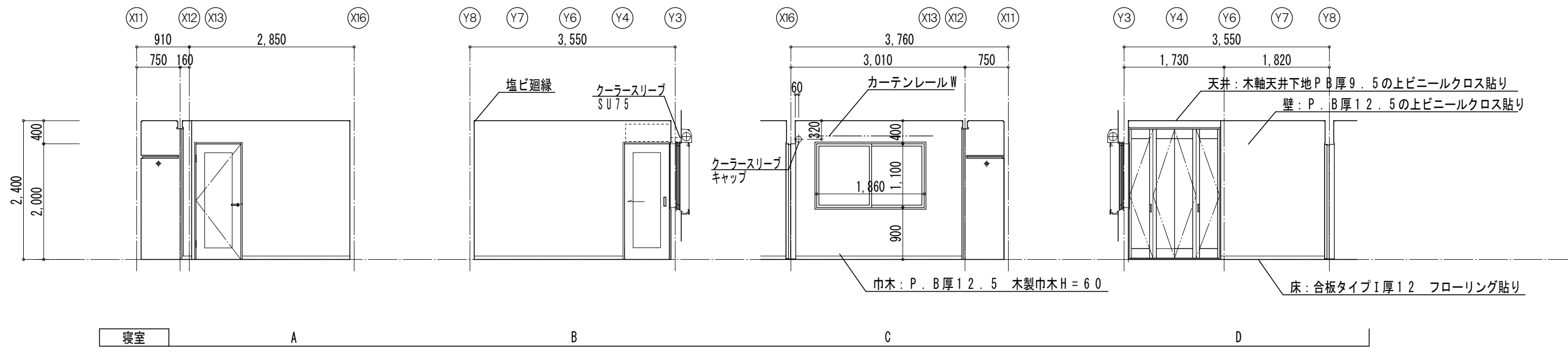
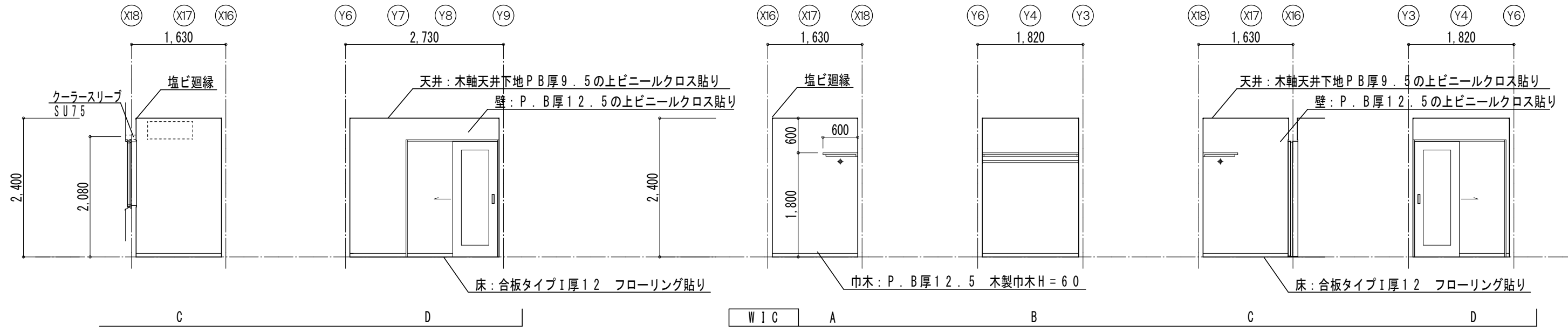


※ エアコン設置想定部 は合板厚12 裏張補強を施すこと。
 ※ カーテンレール引戻寸法は開口両側それぞれ150とする。

都市設計		工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-30
		図面名称	世帯用医師住宅 展開図1	縮尺	1/50
<small>一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>		製図		日付	H30.3



都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-31
	図面名称	世帯用医師住宅 展開図2	縮尺	1/50
	製図	日付	H30.3	



都市設計 <small>一級建築士事務所登録(29A)第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治</small>	工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号 A-32
	図面名称 世帯用医師住宅 展開図3	縮尺 1/50
	製図 日付 H30.3	

記号・形式	① AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違窓 半外付網戸付	② AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違窓 半外付網戸付	③ AW アルミ樹脂複合 シャッター付4枚建引違窓 半外付網戸付	④ AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違窓 半外付網戸付	⑤ AW アルミ樹脂複合 シャッター付引違窓 半外付網戸付	⑥ AW アルミ樹脂複合 障子タテ滑り出し窓+FIX窓 半外付網戸付	⑦ AW アルミ樹脂複合 片上げ下げ窓 半外付網戸付
図							
寸法 (W×H)・場所	2330×1975 LDK	1650×1800 和室	1860×1100 寝室	1650×1100 LDK	1500×1100 LDK、個室1・2	1650×1100 玄関ホール	600×1100 書斎
見込 数量	86	1	86	1	86	3	86
水切 ガラス	複層ガラス	複層ガラス	複層ガラス	複層ガラス	複層ガラス	複層ガラス	複層ガラス
額縁 扉板	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製
仕上	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色	アルミ二次電解着色
金物	クレセント、付属金物一式、下枠フラットレール	クレセント、付属金物一式、下枠フラットレール	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	クレセント、付属金物一式	オベレーターハンドル、付属金物一式	クレセント、付属金物一式
備考	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸、雨戸付シャッター	上枠一体型換気框、網戸、雨戸付シャッター	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸、雨戸付シャッター	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸	上枠一体型換気框、カーテンレールⅡ、網戸、雨戸付シャッター	網戸	上枠一体型換気框、網戸

記号・形式	⑧ AW アルミ樹脂複合 片上げ下げ窓 半外付網戸付面格子付	① AD アルミ樹脂複合 親子玄関ドア	② AD アルミ製片開きドア	① WD 木製片開きドア	② WD 木製片引戸	③ WD 木製片開きドア	④ WD 木製片開きドア	⑤ WD ⑤ WD 木製片引き扉
図								
寸法 (W×H)・場所	600×700 LDK・洗面室・WC 浴室	1235×2330 玄関	740×2030 LDK	780×1800 LDK	800×2000 ホール	780×2000 寝室・個室1・2	650×2000 WC	780×2000 書斎・寝室1・C
見込 数量	86	3	1	86	30	1	30	30
水切 ガラス	複層ガラス	F4	網入り型板硝子FⅡWG.8	複層硝子F	樹脂板厚3 ミスト半透明	樹脂板厚3 ミスト半透明		
額縁 扉板	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製	木製
仕上	アルミ二次電解着色	木目調	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	ラワン合板ビニールクロス貼仕上	ラワン合板ビニールクロス貼仕上	ラワン合板ビニールクロス貼仕上
金物	クレセント、付属金物一式	下枠SUSカバー、DC、付属金物一式	付属金物一式戸当り レバーハンドル 丁番	付属金物一式 ドアストッパー レバーハンドル 丁番	引手 戸車 Vレール	付属金物一式 レバーハンドル 丁番 戸当り	付属金物一式 レバーハンドル 丁番 戸当り	付属金物一式、3方枠
備考	網戸	断熱ドア (D2仕様)	シリンダー錠				アンダーカット 錠 (WC)	引手、戸車、Vレール、敷居

記号・形式	⑥ WD 木製片引き扉	⑦ WD クローゼット扉	⑧ WD クローゼット扉	⑨ WD 木製開き扉	⑩ WD 木製引違い戸	① FD 片引き戸襖	② FD 片引き戸襖	① F 引き違い襖	① S 引き違い障子戸
図									
寸法 (W×H)・場所	730×2000 洗面室	1515×2260 個室1・2 CL	1580×2260 寝室CL	1700×2000 玄関	1655×745 ホール	1700×1800 和室	1700×1800 和室	1700×2240 押入	1650×1800 和室
見込 数量	30	1	30	1	30	1	30	19.5	1
水切 ガラス									
額縁 扉板	木製	木製	木製	木製					
仕上	ラワン合板ビニールクロス貼仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	オレフィンシート合板仕上	片面新鳥の子、片面ビニールクロス	片面新鳥の子、片面ビニールクロス	片面新鳥の子	スプルー・障子紙
金物	付属金物一式、3方枠	付属金物一式、SUSレール	付属金物一式、SUSレール						
備考	引手、Vレール	引手	引手		引手、Vレール	引手、敷居	引手、敷居	引手、敷居	引手、敷居

凡例
 FL 透明フロート硝子
 AP アクリル系樹脂板硝子半透明
 FⅡ 型板硝子
 居室アルミサッシはフィルター付換気框とする
 (引違窓は上枠一体型)

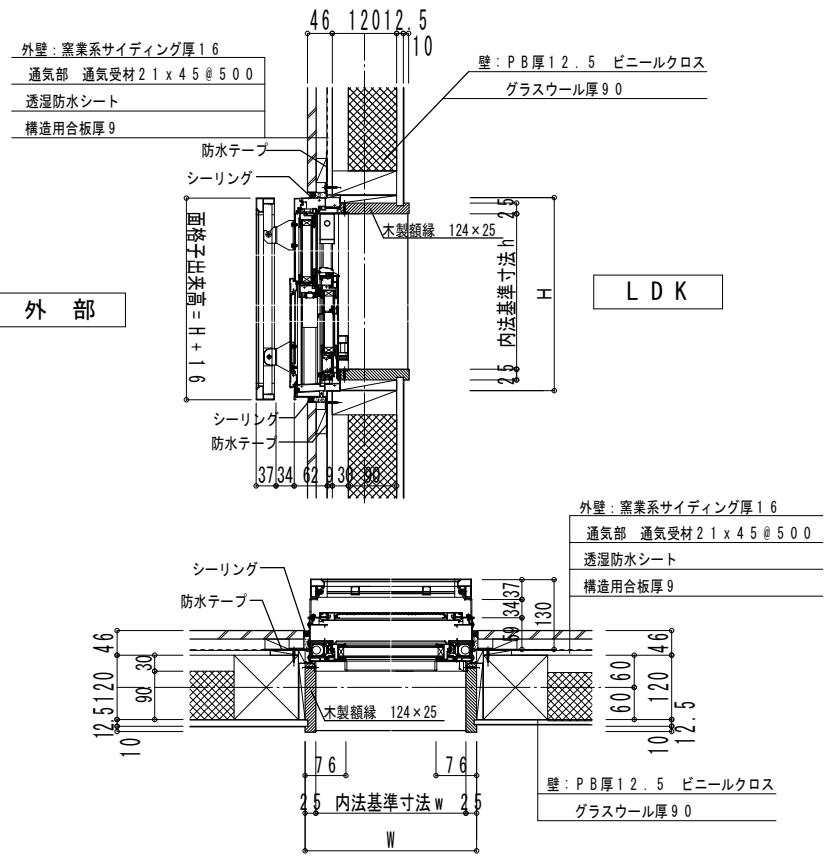
都市設計

工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事
 図面名称 世帯用医師住宅 建具表
 図面番号 A-33
 縮尺 1/50
 日付 H30.3

6

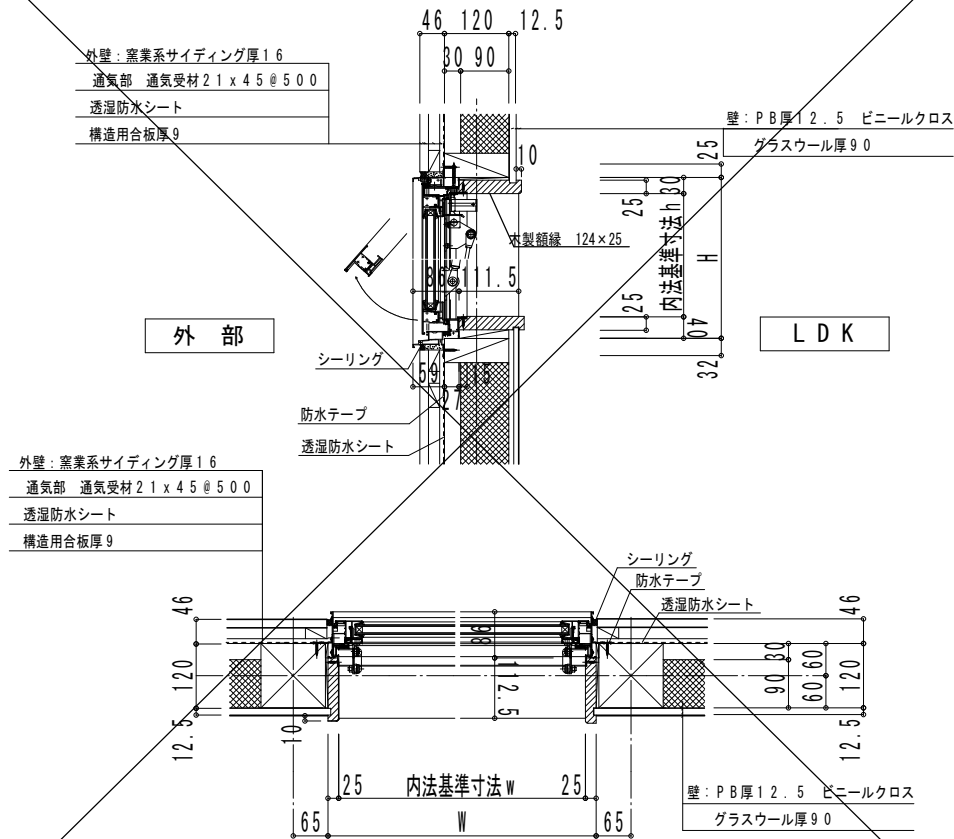
上げ下げ窓

S = 1 / 10



7 突出し窓

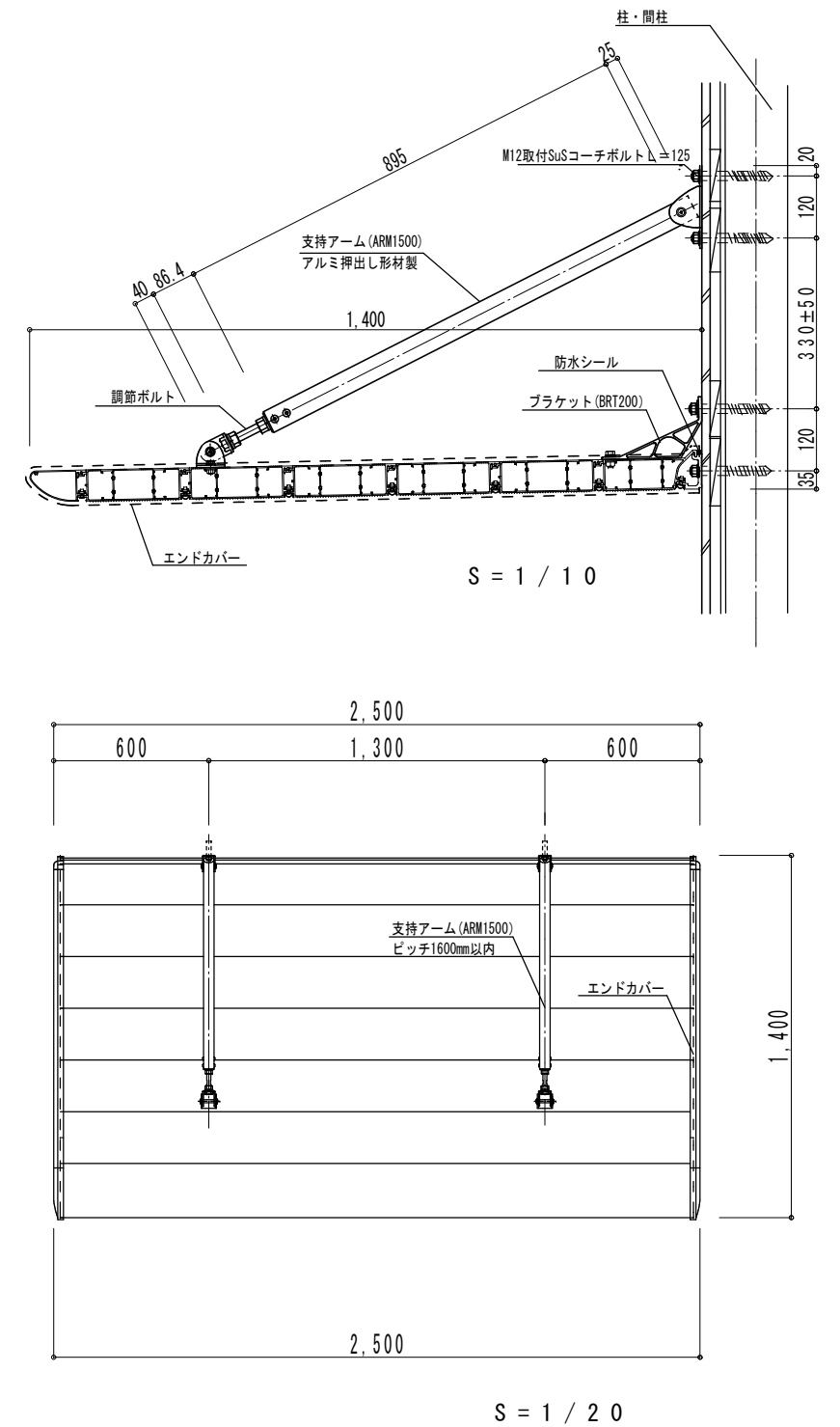
S = 1 / 10



8

アルミ庇

S = 1 / 10 · 20



都市設計

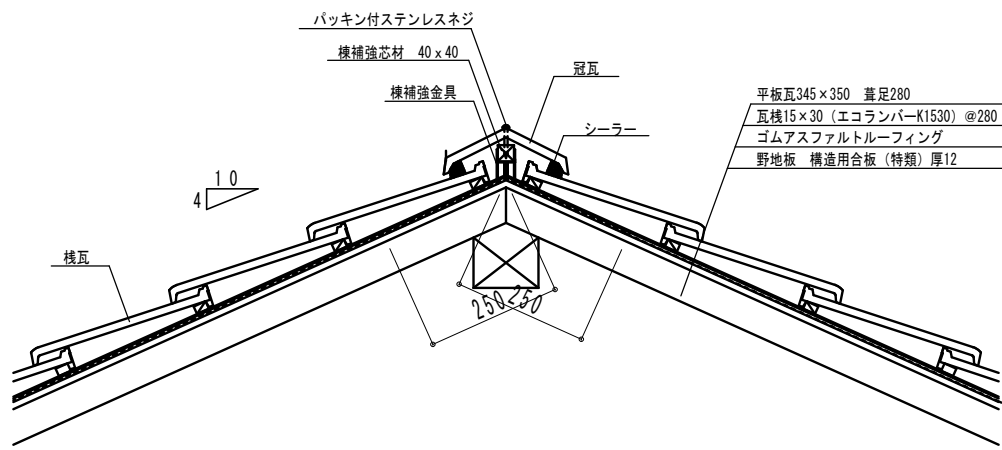
工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-35
図面名称	部分詳細図2	縮尺	1/10・20
製図		日付	H30.3

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治

9

棟納まり図

S = 1 / 10

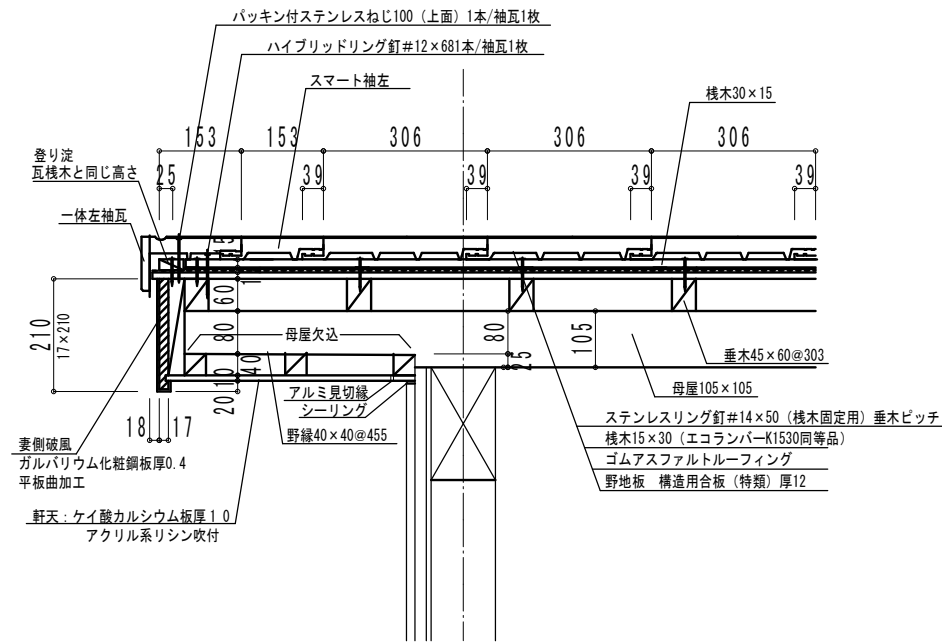


棟部分のルーフィングは、両方向へそれぞれ250mm以上重ね合わせる。
隅棟部分のルーフィングは、重ね貼りの上に両方向へそれぞれ250mm以上増し貼りをすること。

10

袖瓦 (けらば左)

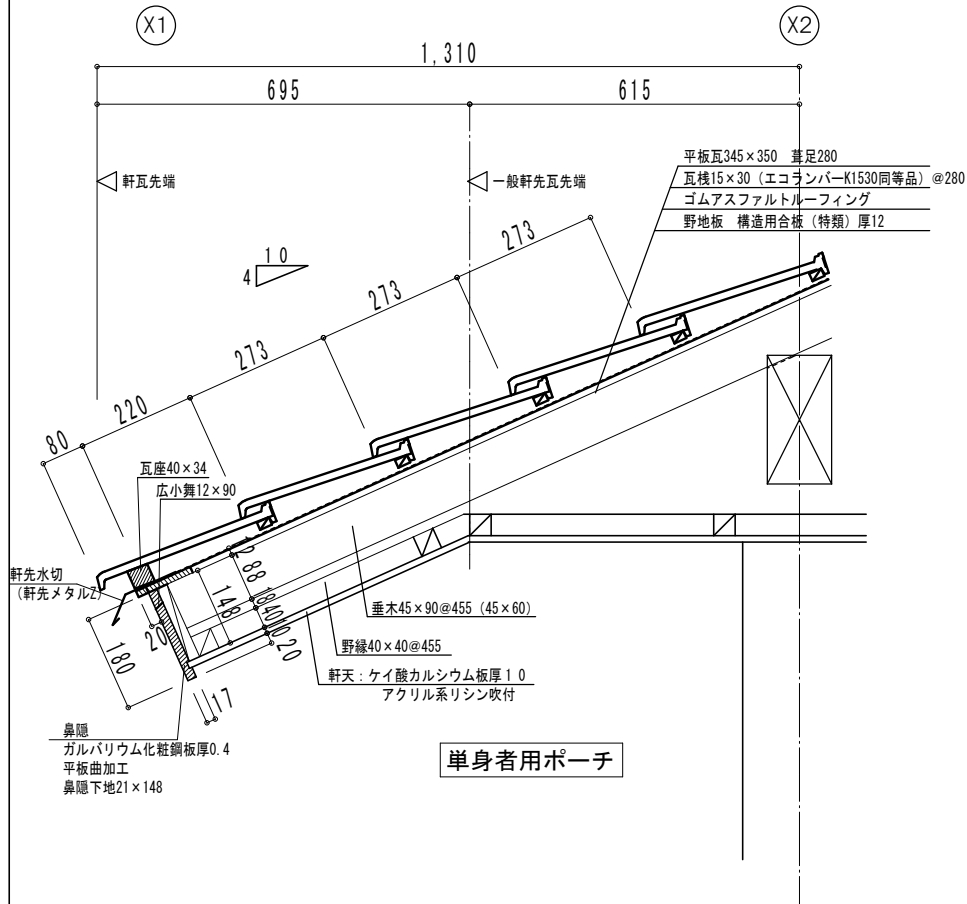
S = 1 / 10



11

軒先収図1

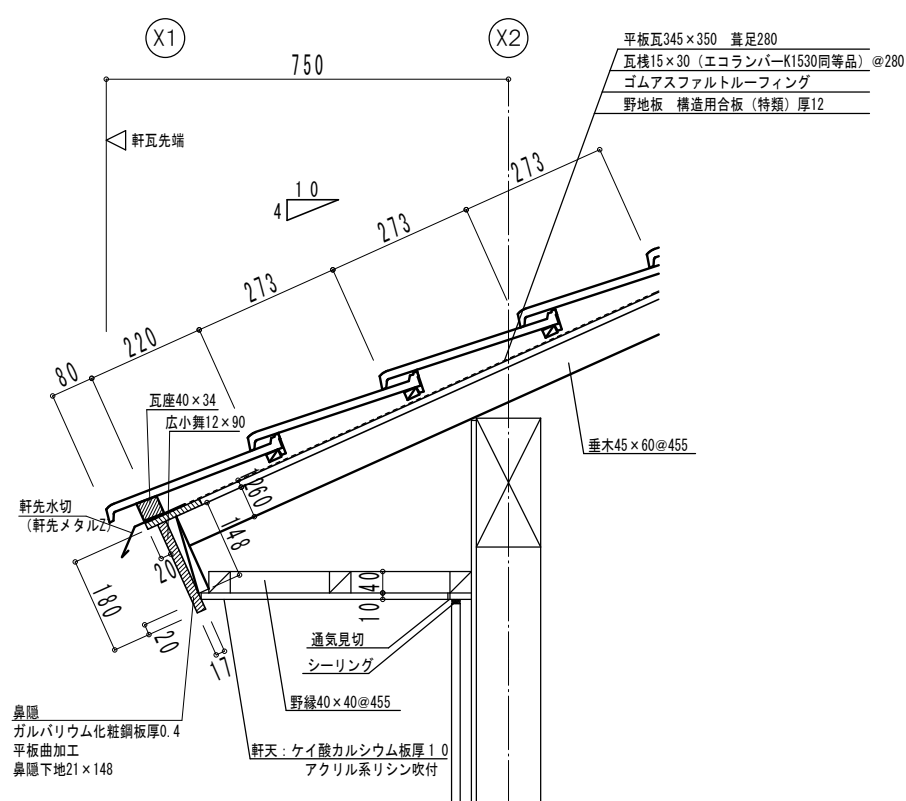
S = 1 / 10



12

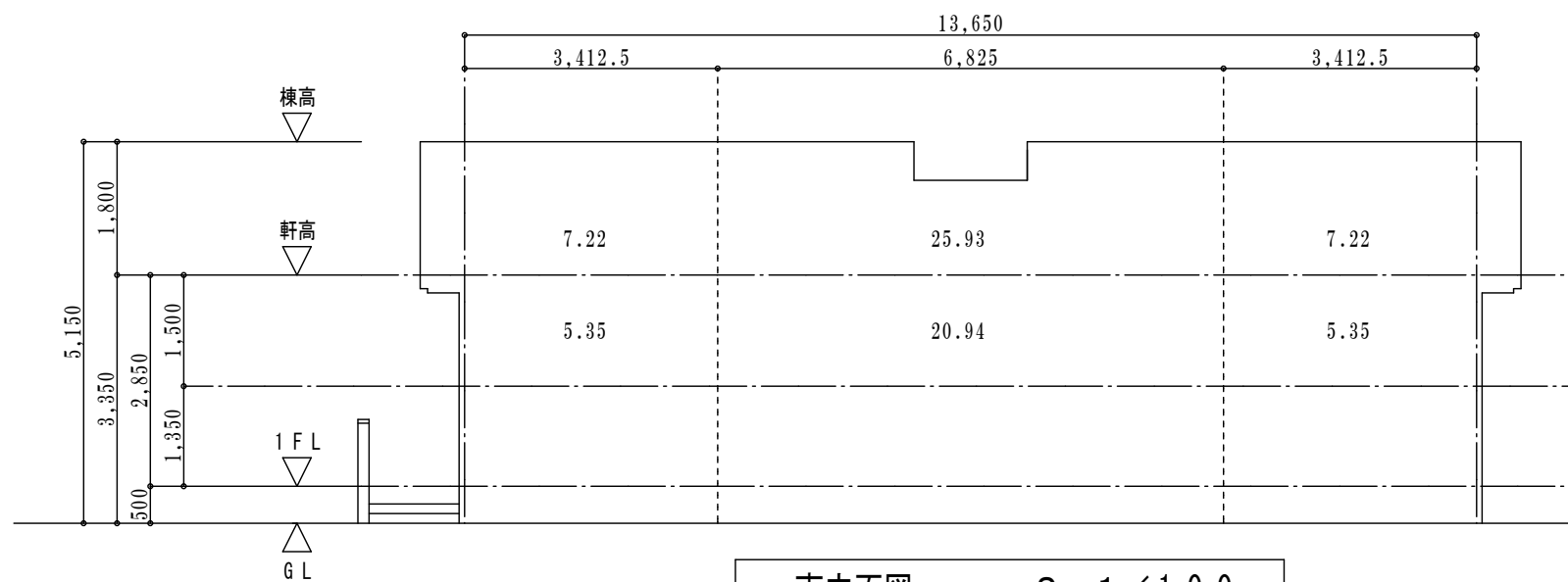
軒先収図2

S = 1 / 10



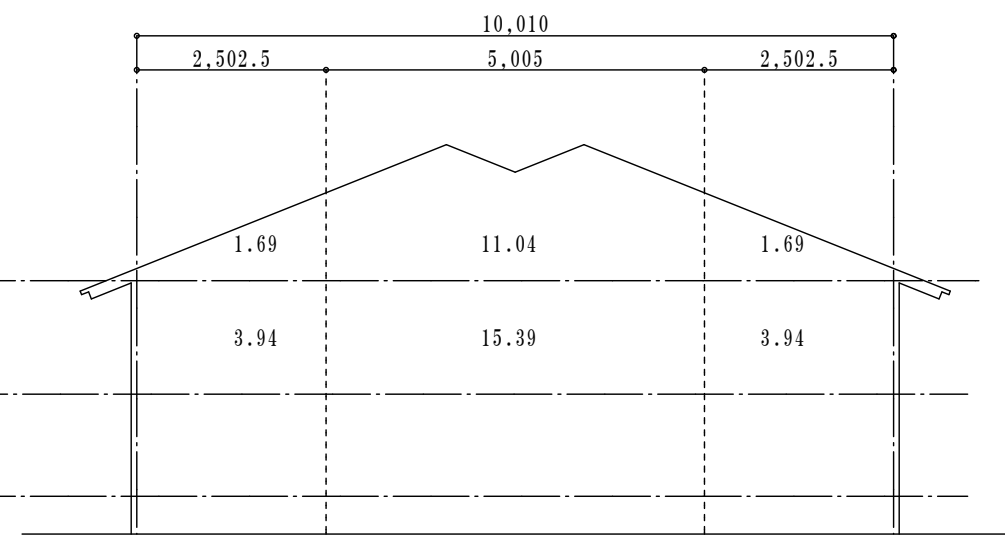
都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-36
	図面名称	部分詳細図3	縮尺	1/10
	製図	日付	H30.3	

一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治

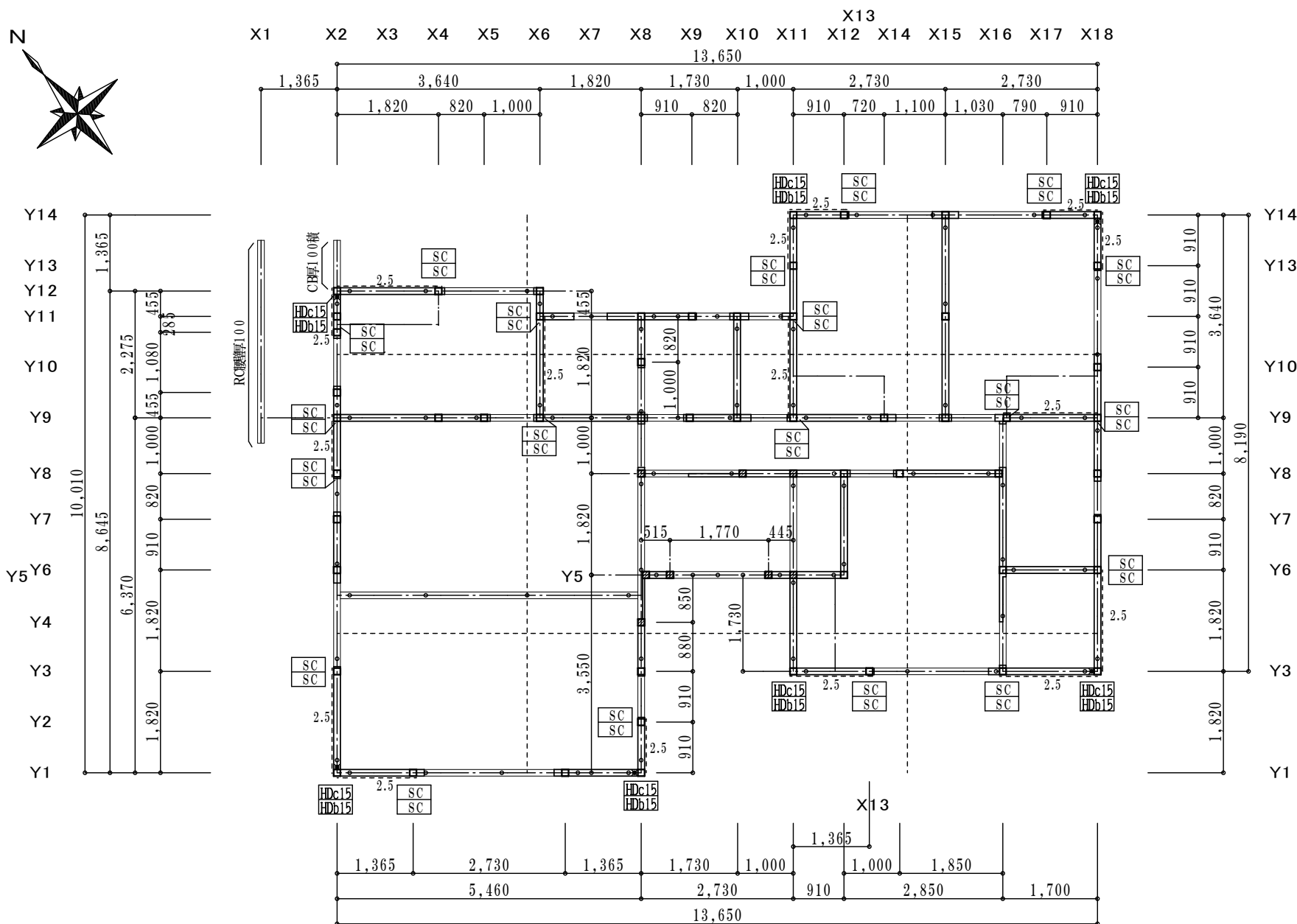


南立面図 S : 1 / 100

建築基準法施行令第46条による面積



西立面図 S : 1 / 100



耐力壁金物伏図 S : 1 / 100

特記なきは下記による

○ : アンカーボルトM-12 (A-40) @2000以内

アンカーボルトの埋め込み長さの検討

SD295A $F_c = 21$ 短期付着 $f_a = 2.1$

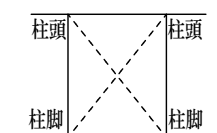
アンカーボルトM-16 (A-60) 周長 = $16 \times 3.14 = 50.24$

$15 \text{ KN} / (50.24 \times 0.0021) = 142.17 \rightarrow 15 \text{ cm}$ 以上埋め込み必要
(27.4cmの埋め込みとする)

凡例

使用欄	壁倍率	仕様
×	2	筋違い90 x 45を示す。
×	4	(ダブル)
×	5	(90 x 45 たすき掛け+構造用合板厚9片面 釘N50 @150)
×	5	(構造用合板厚9 両面張り 釘N50 @150)
○	2.5	(構造用合板(特類)厚9 片面張り 釘N50 @150)

SC ——— 柱頭金物
SC ——— 柱脚金物



告示記号	略符号	要耐力 KN	金物等	略符号	(株式会社 タナカ) (メーカー商品名)	略符号	(株式会社 カナイ) (メーカー商品名)
ろ	CP-L	3.4	L字形かど金物釘CN65 x 5本	SC	スモールコーナー		ミニピルトコーナー
は	VP	5.1	山形プレート金物釘CN9.0 x 8本 又はT字形かど金物釘CN65 x 5本	CC	コンパクトコーナー		
へ	HD10	10	10KN用引き寄せ金物	HDc10	ホールダウンコーナー 又は ショコナー		
と	HD15	15	15KN用引き寄せ金物	HDc15	オメガコーナー-15KN用	HDb15	プレイングホールダウンB-HD15
ち	HD20	20	20KN用引き寄せ金物	HDc20	オメガコーナー-20KN用	HDb20	プレイングホールダウンB-HD20
り	HD25	25	25KN用引き寄せ金物			HDb25	プレイングホールダウンB-HD25
ぬ		30				HDb30	プレイングホールダウンB-HD30
		35		HDc35	ビス止めホールダウンU35		

納まりに依り同等の金物使用

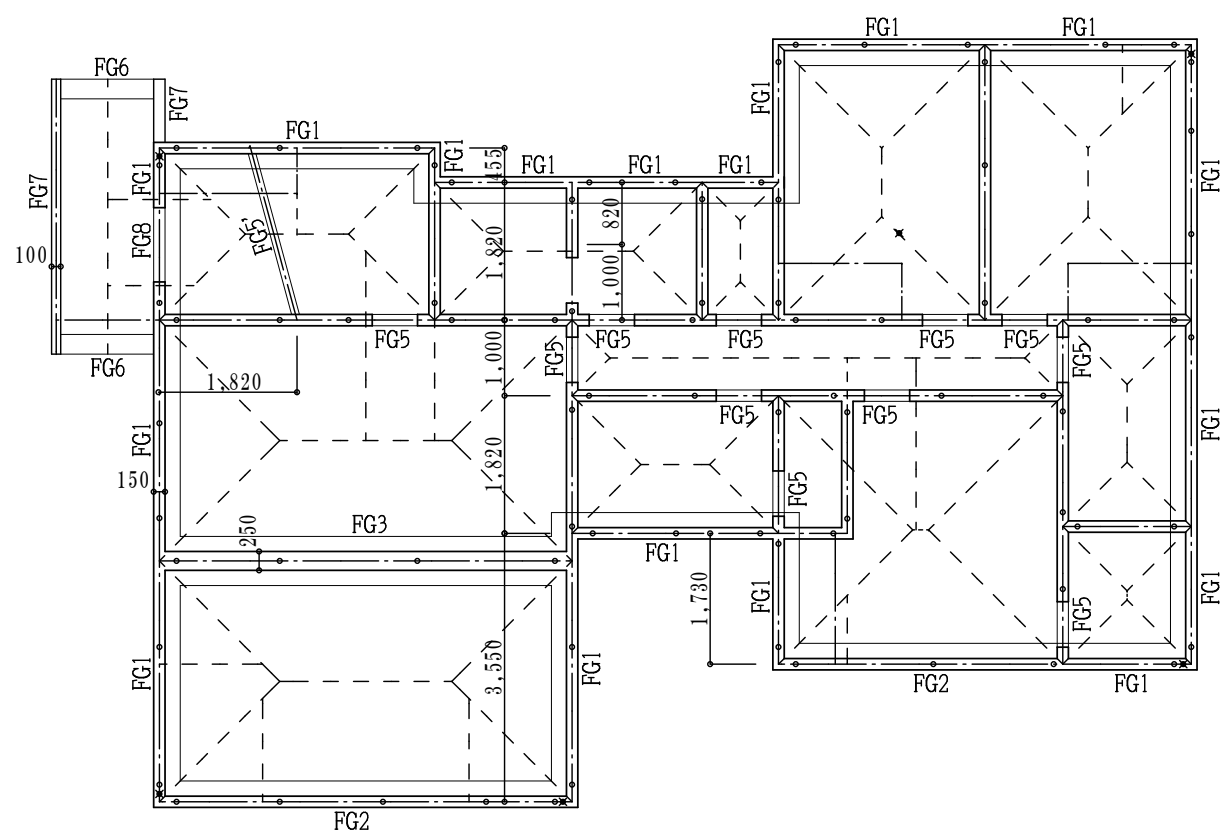
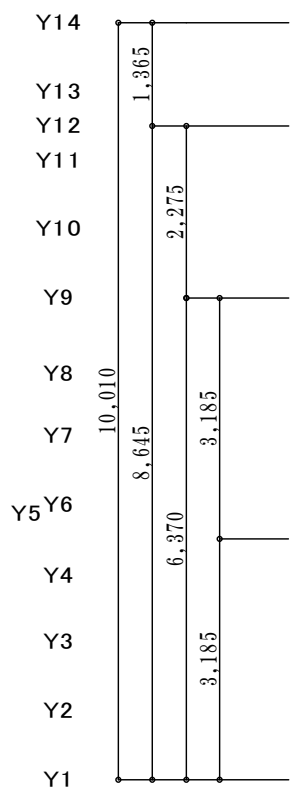
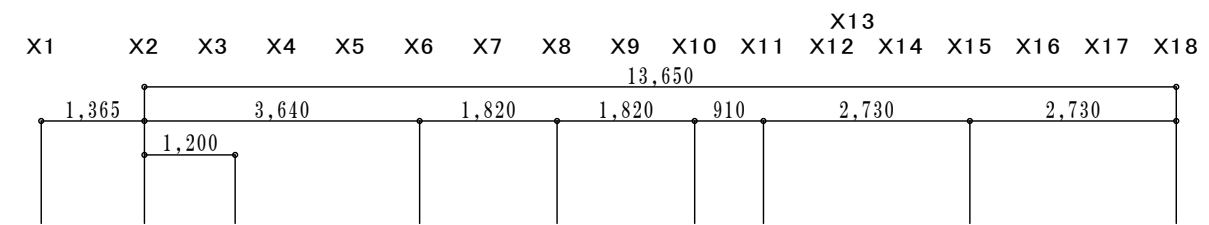
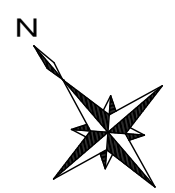
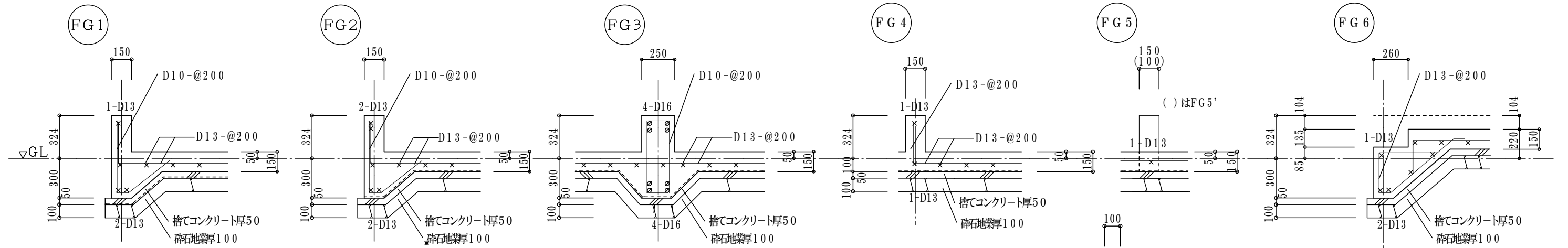
都市設計



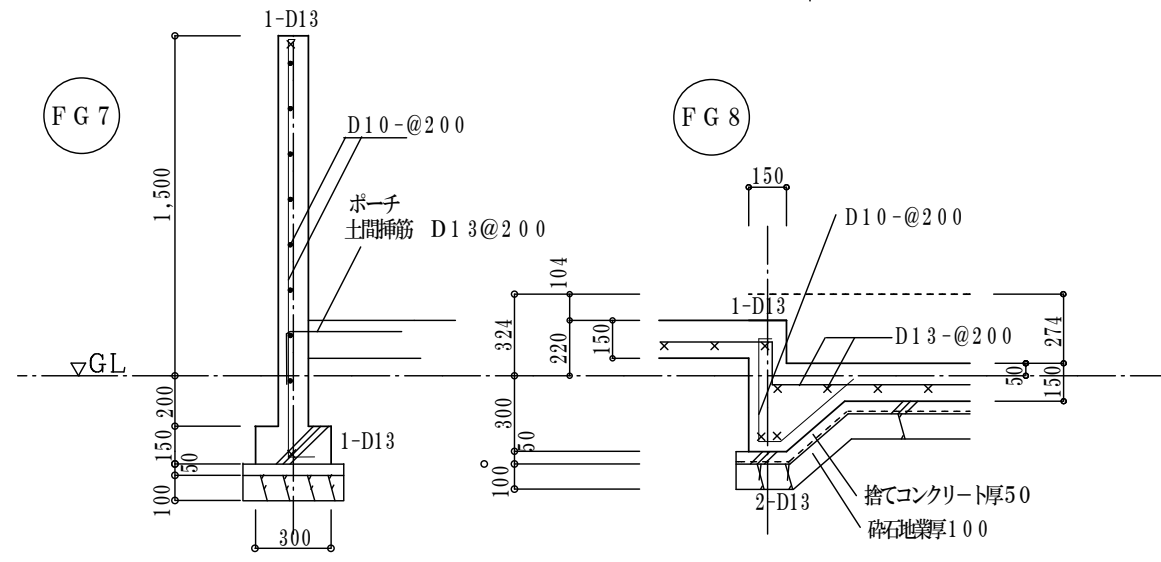
工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-37
図面名称	世帯者用 耐力壁金物伏図	縮尺 (A-3)	1/100
製図	ET	日付	H30.3

一級建築士事務所登録(29A)第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治

基礎詳細図 1:30



基礎伏図 S: 1/100



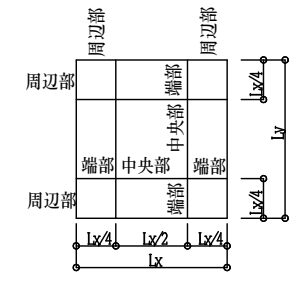
構造概要

基礎	ベタ基礎
スウェーデン式サウンディング法により 支持地盤を確認済	
コンクリート	FC21-18-20 (下記以外) FC18-15-20 (捨てコンクリート)
鉄筋	SD295A (規格品)

特記なきは下記による

○ : アンカーボルト (A-40) @2000以内
FG4 FS1 とする。

符号	短辺	端部	中央部	周辺部	版厚
FS1	短辺	D13-@200	D13-@200	D13-@200	150
	長辺	D13-@200	D13-@200	D13-@200	

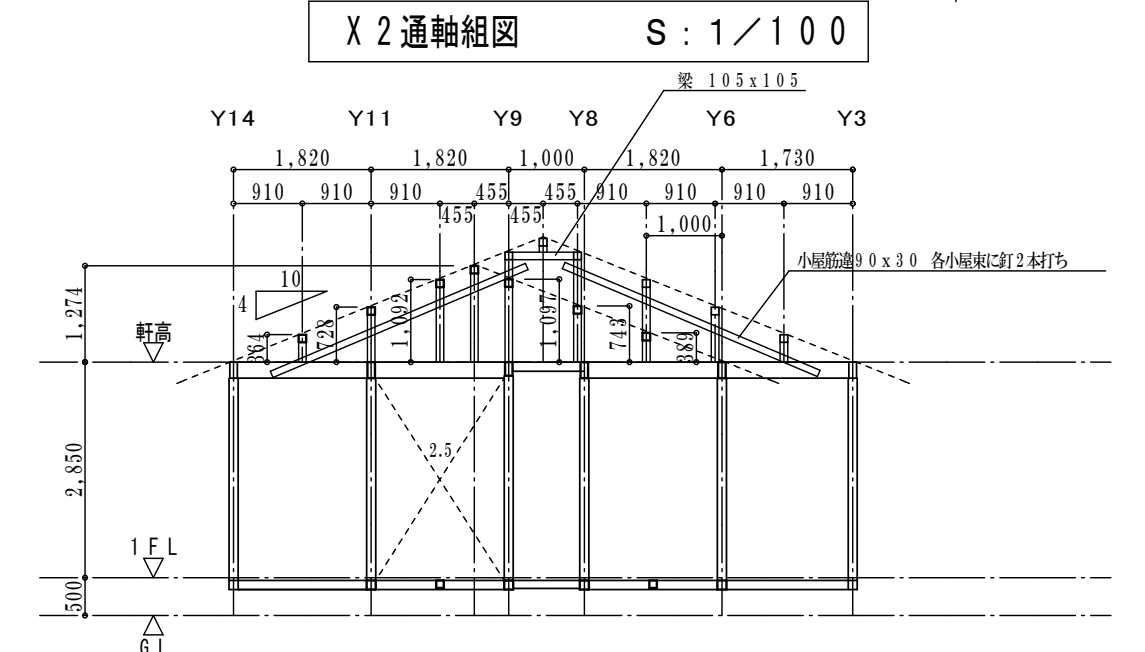
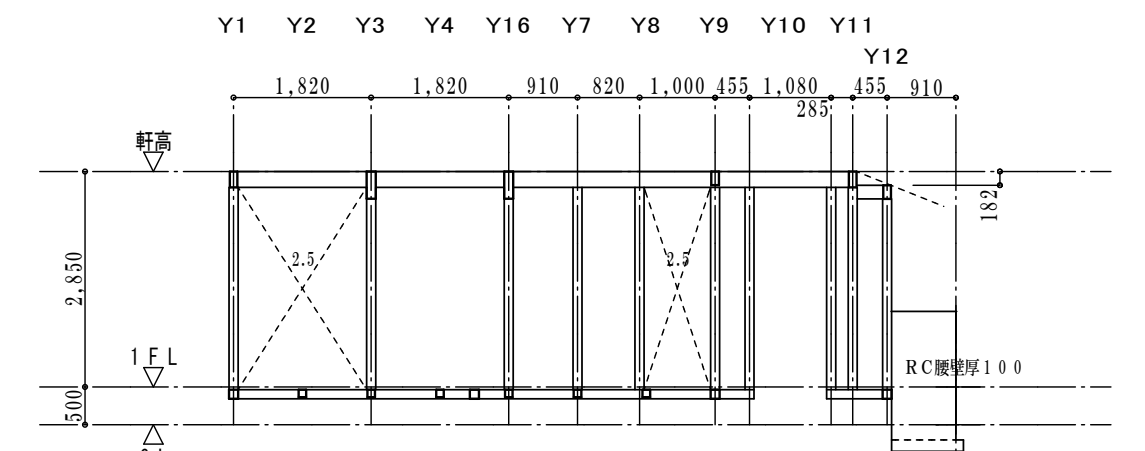
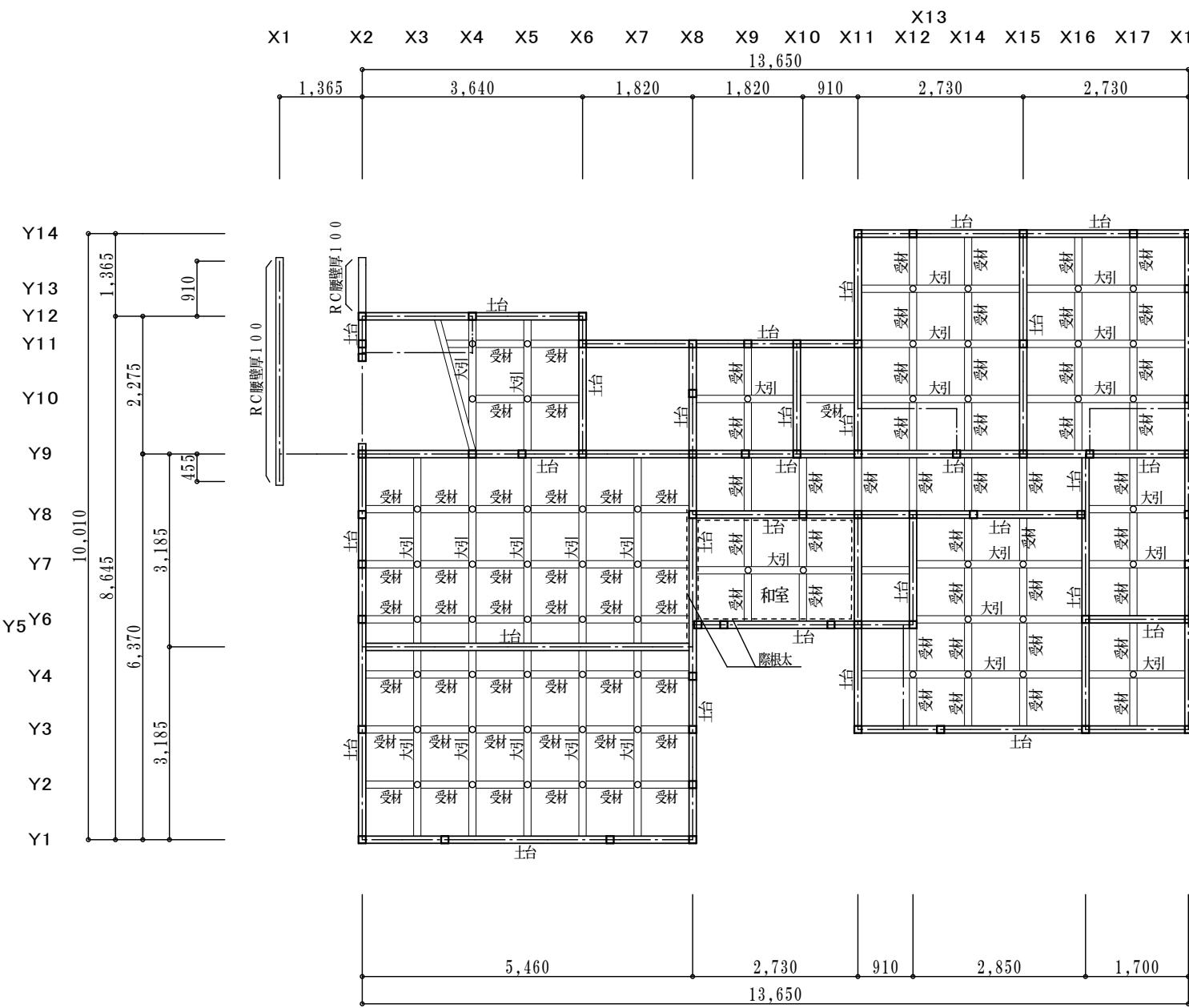
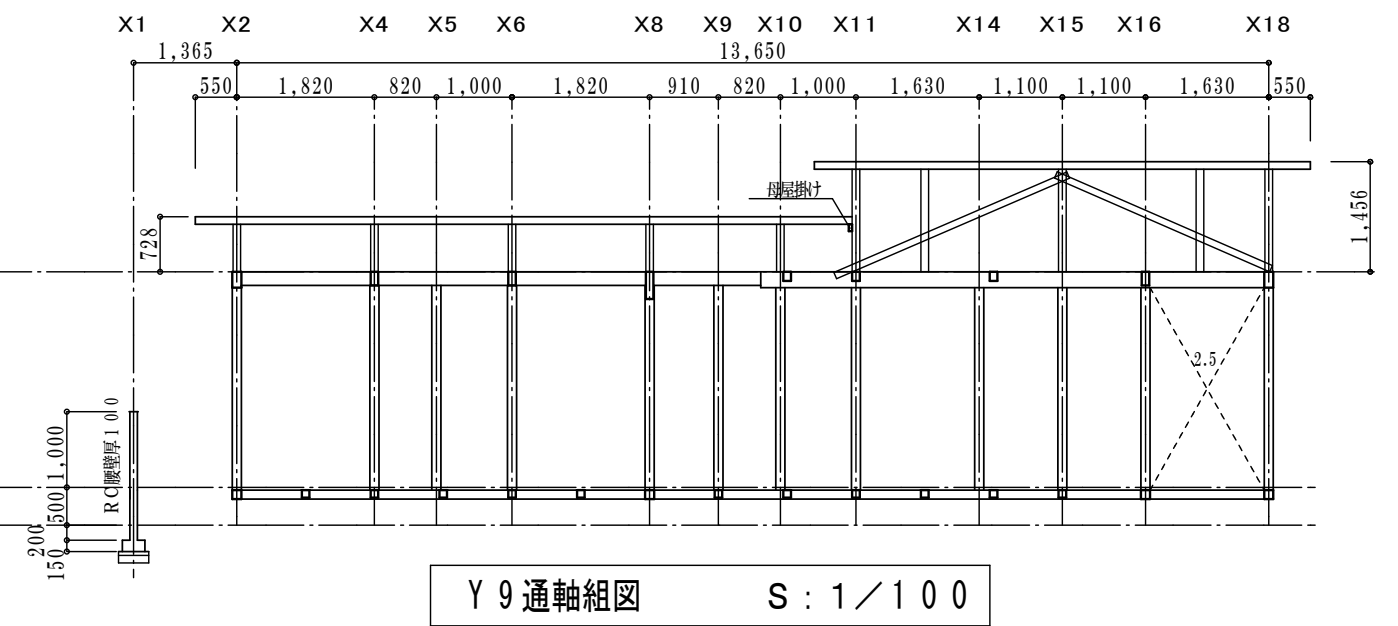
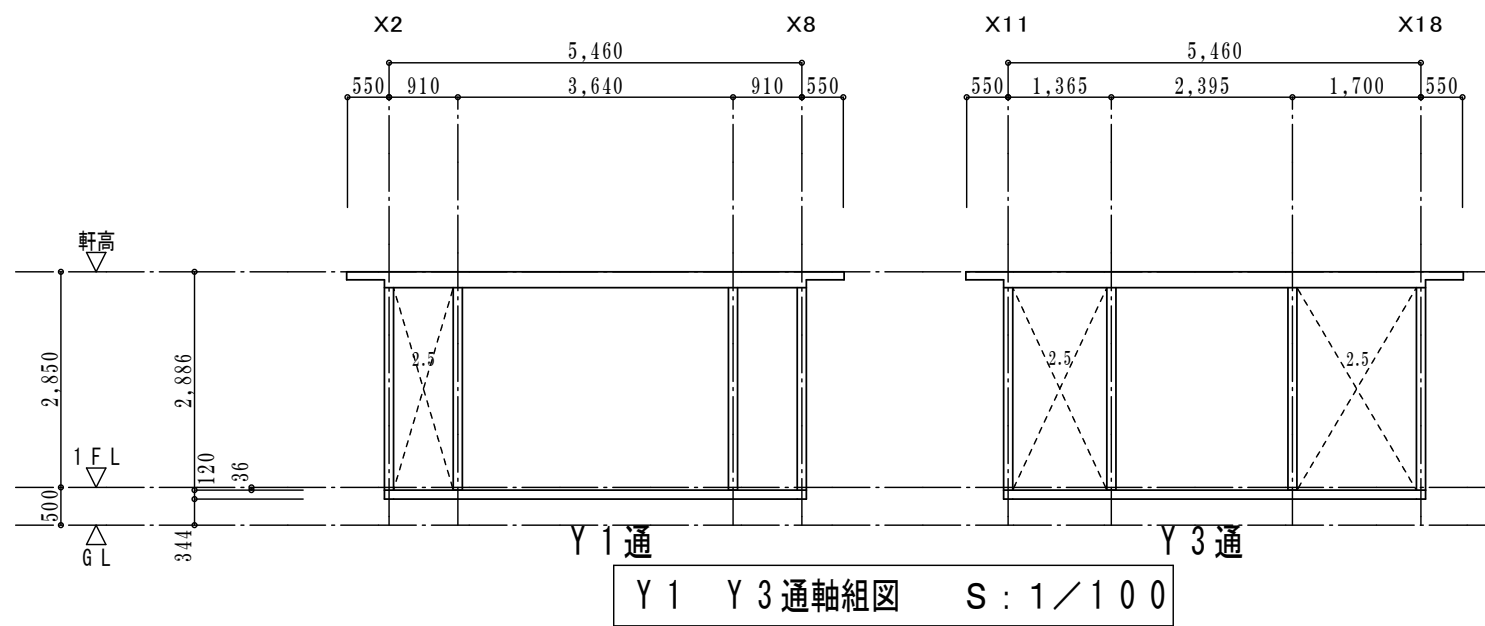


鉄筋は、シングル配筋とする。
スラブ筋の梁への定着長さは3.5dとする。
スラブ下面、ポリエチレン防湿シート厚0.15敷込とする。

梁2段筋の間隔 $\frac{7d}{2}$ D13 → 36
D16 → 44

<h2>都市設計</h2>	工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-38
	図面名称	世帯者用 基礎伏図	縮尺 (A-3)	1/100
	製図	ET	日付	H30.3

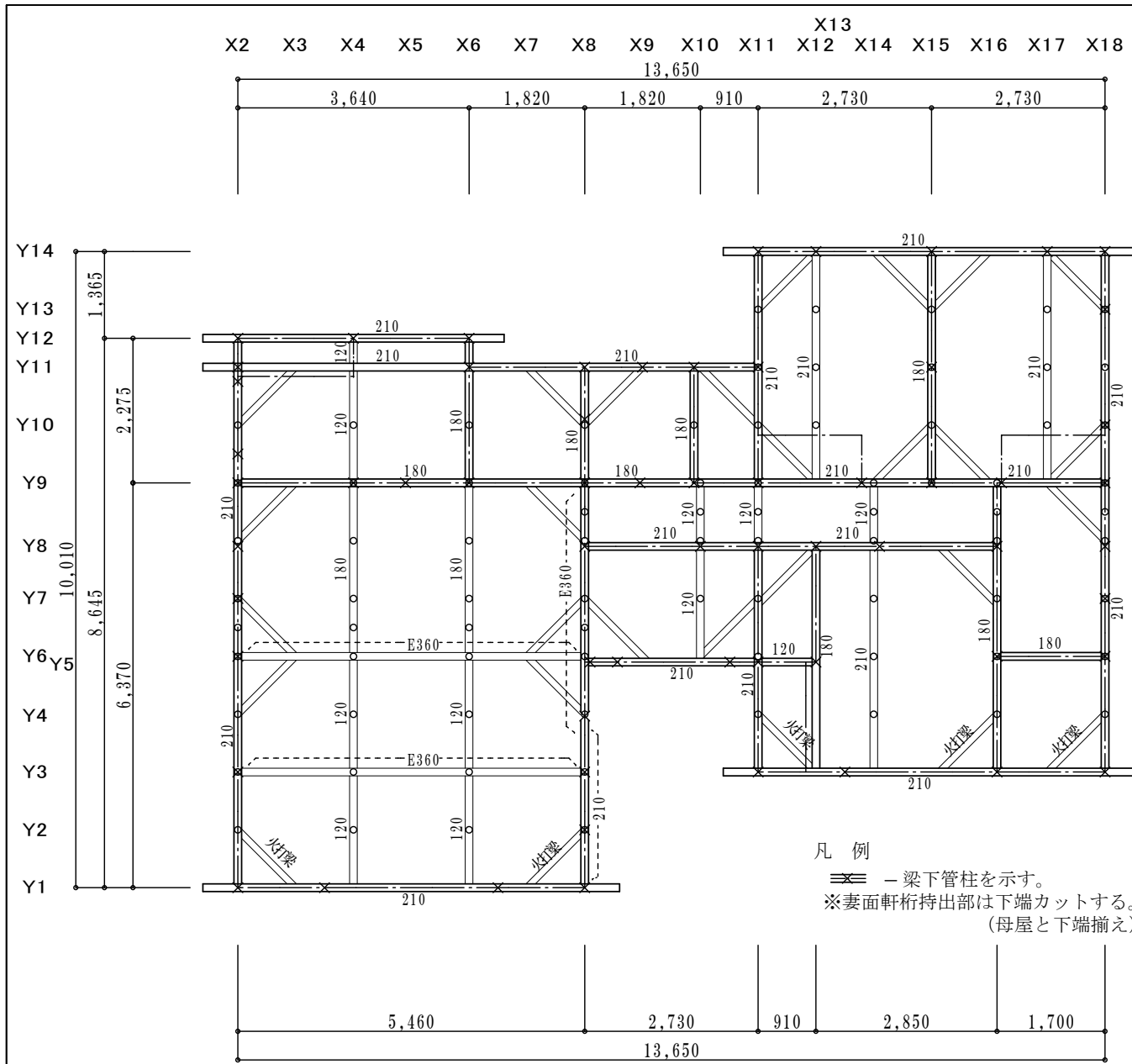
一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
一級建築士登録第152097号 村林俊治



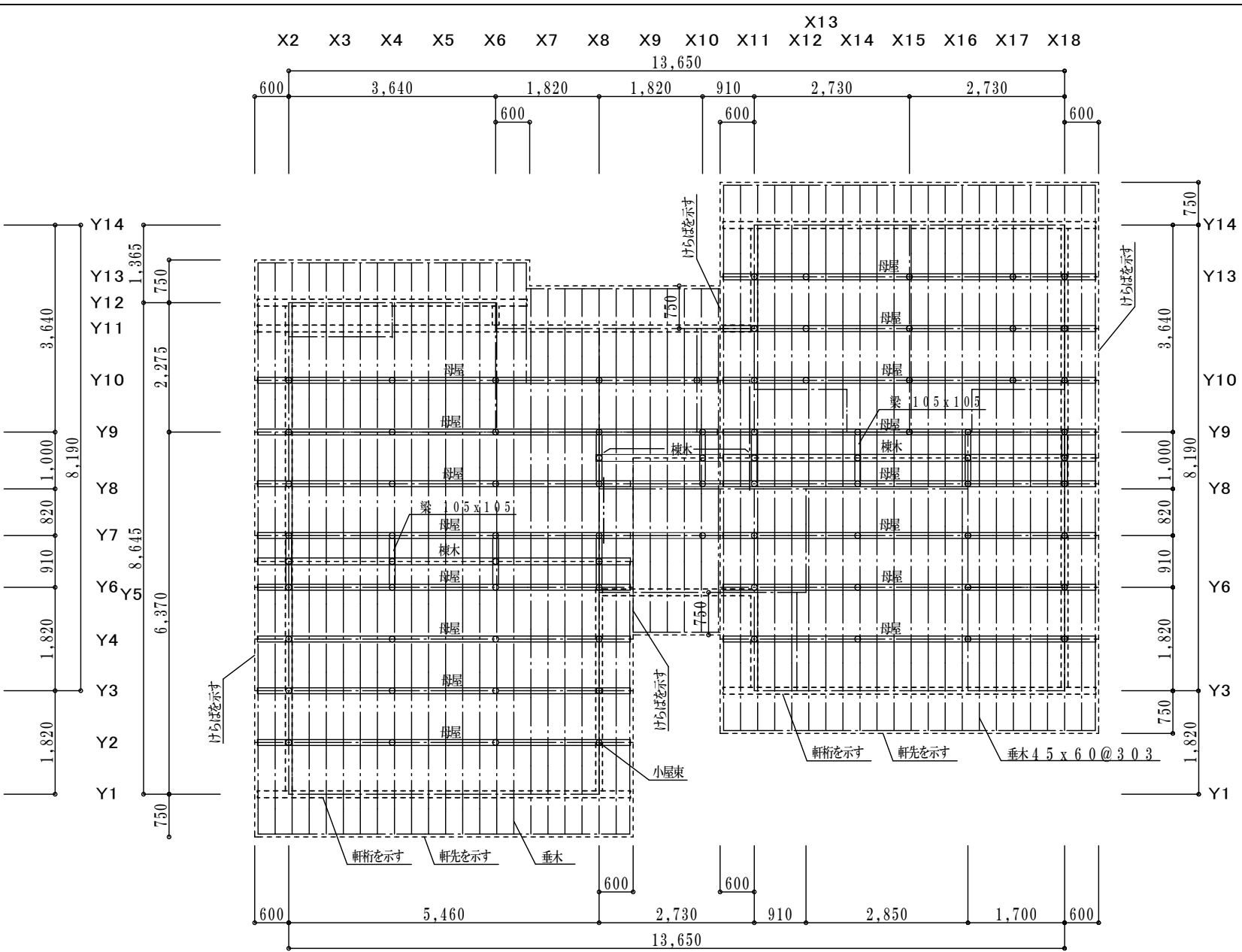
特記なきは下記による
 受材 105 x 105 @ 910
 大引 105 x 105
 際根太 45 x 77
 土台 120 x 120
 *和室、大引・受材天端は、土台天-43

凡例
 ≡ ≡ ≡ - 柱 120 x 120
 ○ - 鋼製束フラットタイプを示す。

都市設計	工事名称 京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号 A-39
	図面名称 世帯者用 床伏図 軸組図	縮尺 (A-3) 1/100
一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林俊治	製図 ET	日付 H30.3



梁伏図 S : 1 / 100



小屋伏図 S : 1 / 100

特記

小屋束は小屋筋違い、雲筋違いで結束する。
 妻面より外にある軒桁は、梁成の下端を母屋サイズに合わせカットする。
 地面より1m以内は防腐、防蟻措置をする。

部材リスト

名称	材種	寸法	備考
棟木	杉	105 x 105	特1等
母屋	杉	105 x 105	特1等
小屋束	杉	105 x 105	特1等 カスガイ留め
隅木	杉	105 x 60	特1等
垂木	杉	45 x 60 @ 303	特1等
火打梁	杉	105 x 105	特1等
土台	桧	120 x 120	1等 腰掛蟻継
大引	杉	105 x 105	特1等
受材	杉	105 x 105 @ 910	特1等
管柱	杉	120 x 120	特1等
間柱	杉	30 x 120	特1等
間柱 面材耐力壁部	杉	45 x 120	特1等

部材リスト

名称	材種	略寸法	寸法	備考
梁	米松	120	105 x 120	仕口部 羽子板ボルト締め
梁	米松	180	105 x 180	仕口部 羽子板ボルト締め
梁	米松	210	120 x 210	腰掛蟻継 プレートとめ
梁	EW(E105-F300)RW 対称異等級	E360	120 x 360	仕口部 羽子板ボルト締め
屋根 野地板	構造用合板 t = 12			特類
1階床板	構造用合板 t = 24			特類
金物	Zマーク及び同等品以上			

凡例

- — 小屋束を示す。カスガイにて上下2本づつ留める。
- — 母屋掛け 45 x 90 米松

勾配屋根水平構面

面材の種類	厚さ12mmの構造用合板(特類)
面材釘打ち仕様	面材を鉄丸釘N50を用いて、@150間隔で垂木に打ち付け
垂木の仕様と間隔	幅45x成60の垂木を相互の間隔300mm以下で、軒桁・母屋・棟木の上の勾配面に並列して設置

水平構面

面材の種類	厚さ24mmの構造用合板(特類)
面材釘打ち仕様	面材四周を鉄丸釘N75を用いて、@150間隔で梁組及び合板継目部分の受け材に対し打ち付け
受材の仕様と間隔	幅105x成105mm以上の受材を面材の継目に沿って土台、大引の間に落とし込み大引、及び受材の間隔910mm以下

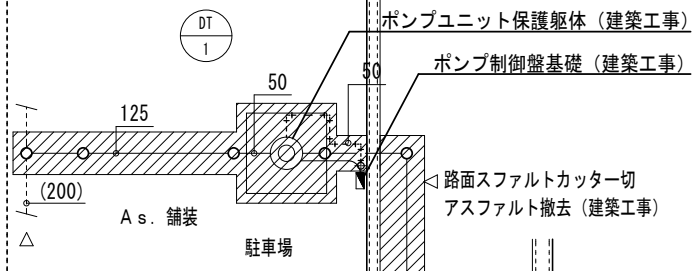
都市設計

一級建築士事務所登録(29A)第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林俊治

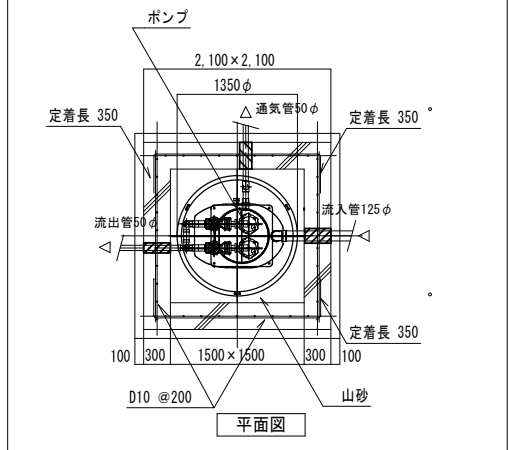
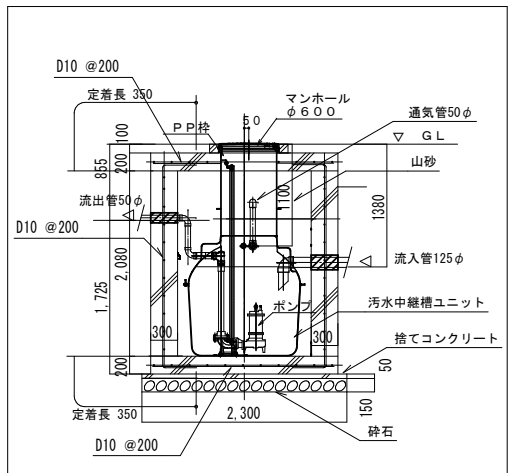
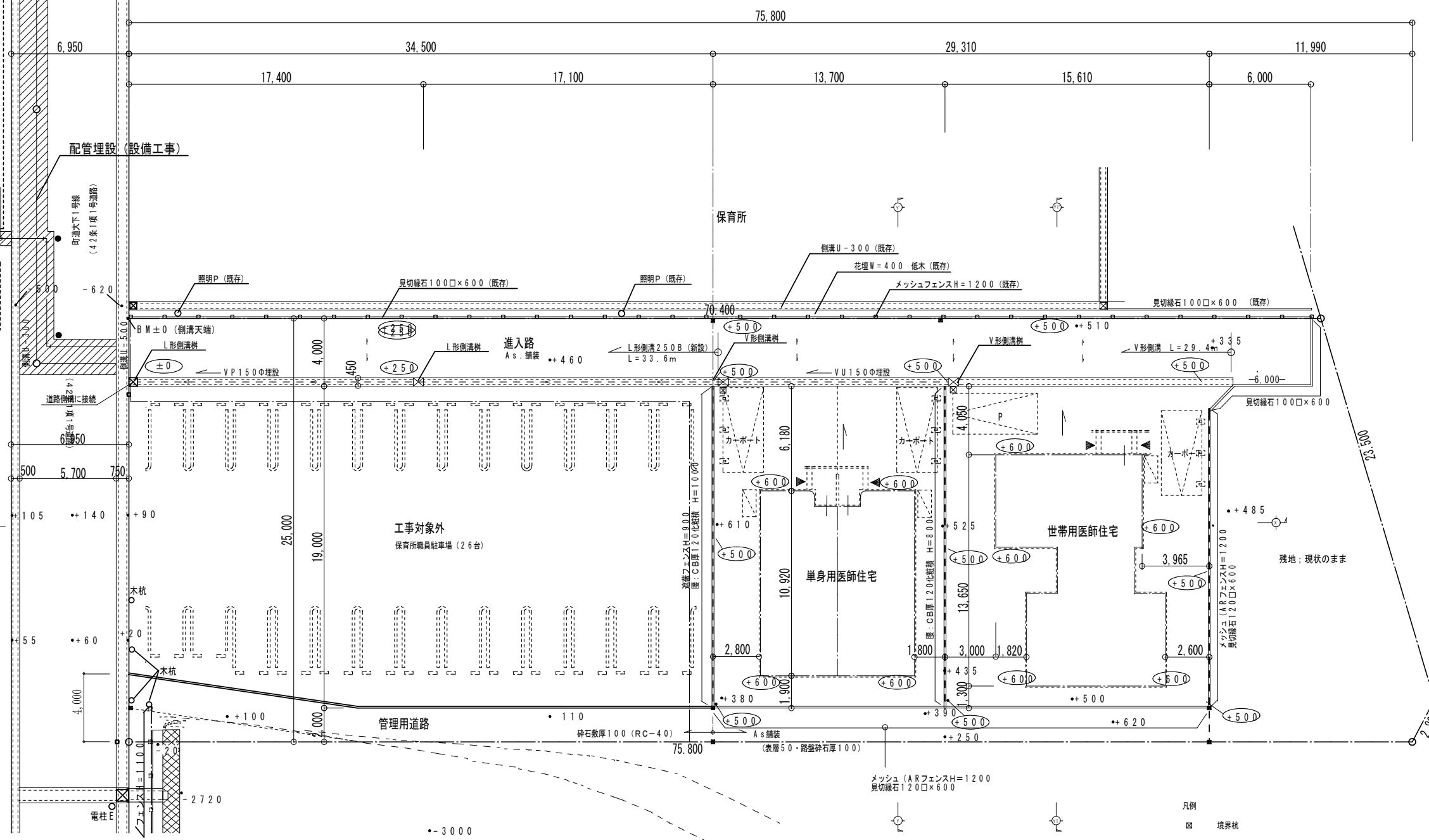
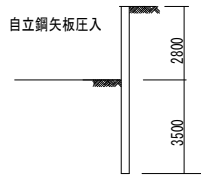
工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-40
図面名称	世帯者用 梁伏図 小屋伏図	縮尺(A-3)	1/100
製図	ET	日付	H30.3

(注) 構造耐力上使用する木材は節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等耐力上欠点がない事。

病院施設



ポンプユニット施工 山留 (参考)
鋼矢板圧入工法
根切面積 $4.1\text{m} \times 4.1\text{m} = 16.8\text{m}^2$
根切深さ 2.8m
根入深さ 3.5m



DT-1 据付参考図

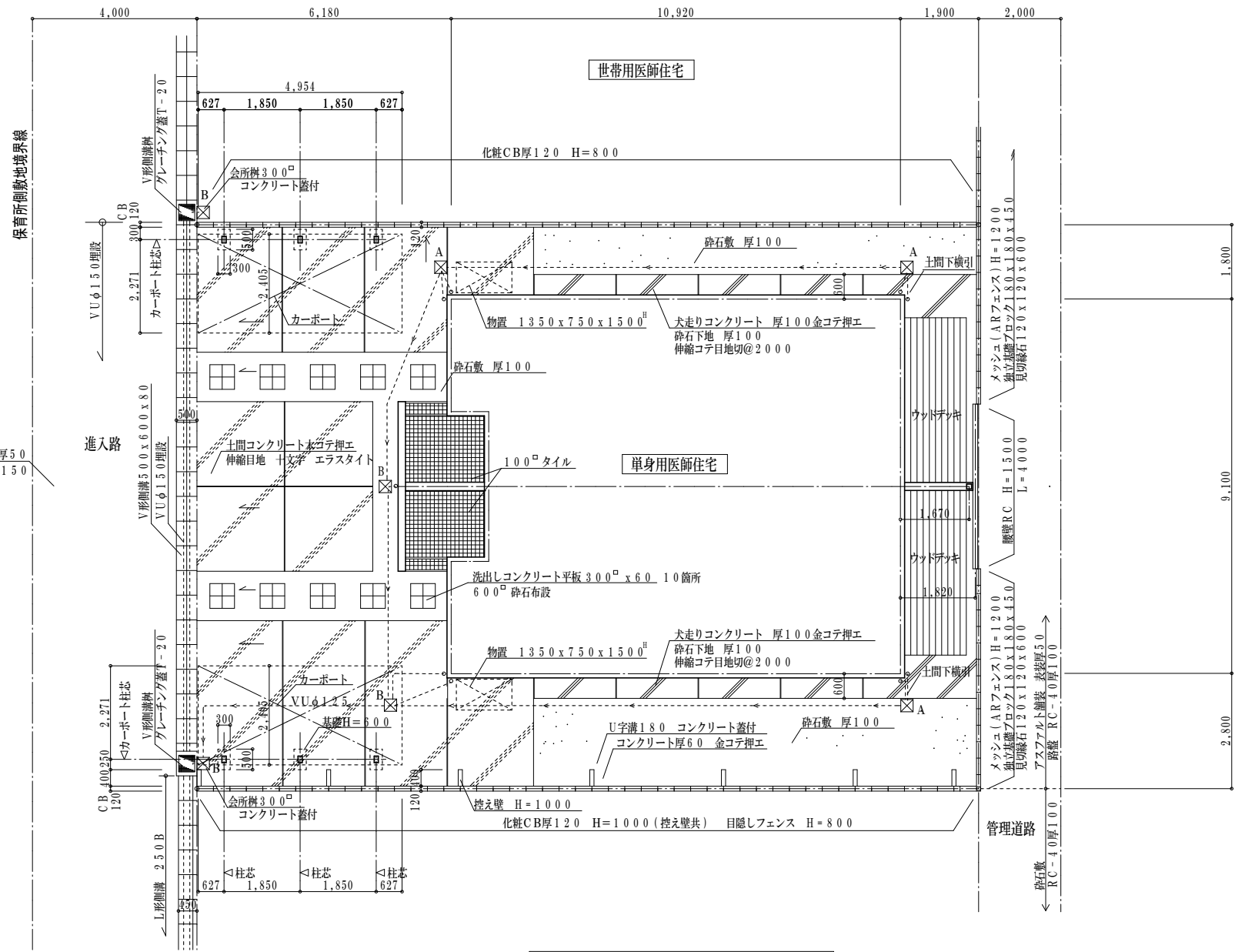
- (注記)
1) 基礎躯体 鉄筋コンクリート造 (建築工事)
2) 土留め (建築工事)
3) 掘削、埋め戻し (建築工事)
4) 汚水中継槽ユニット FRP製
※記入寸法は参考とする

全体外構平面図 S: 1/200

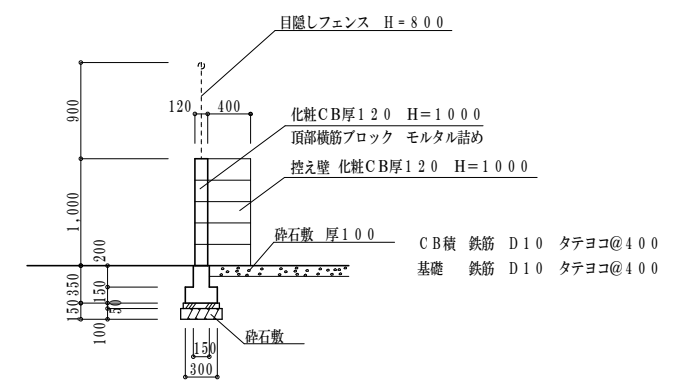
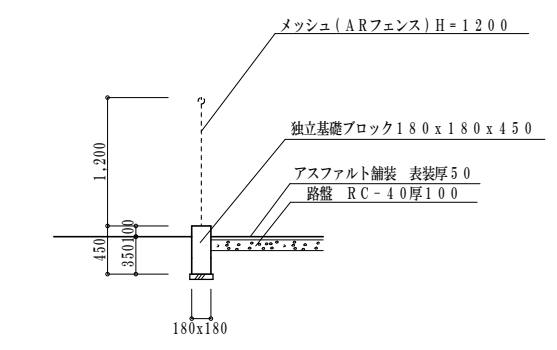
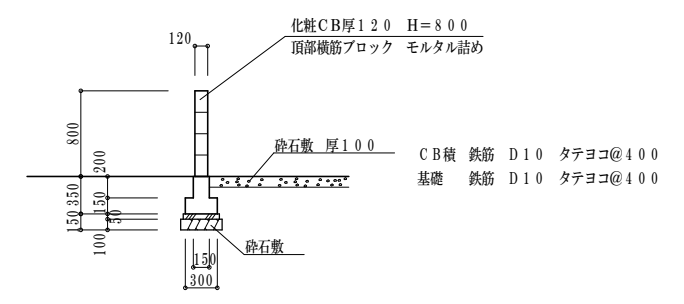
※ 進入路及び宅地表土 厚200をスキ取る。
宅内砕石敷下層地盤は掘削残土良質流用土敷均しとする。

* 図番 A-41 外構全体平面図 修正版

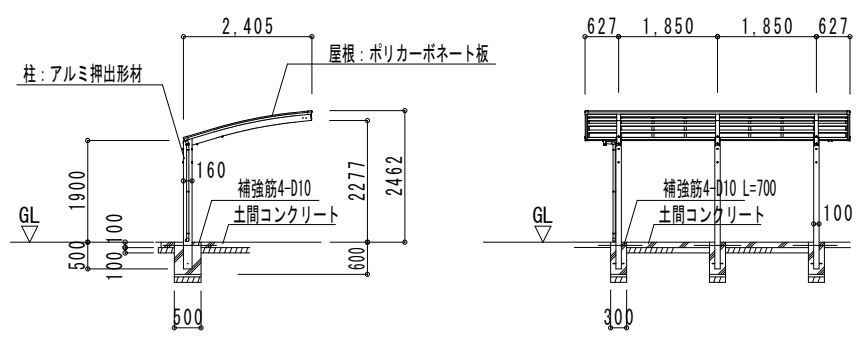
都市設計	工事名称	京丹波町立医師住宅等新築工事	図番	A-41
	図面名称	全体外構平面図	縮尺	1/200
<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 村林建設</small>		製図	日付	H30.3



外構図 S: 1/100



塀回り詳細図 S: 1/50



カーポート参考図 S: 1/100

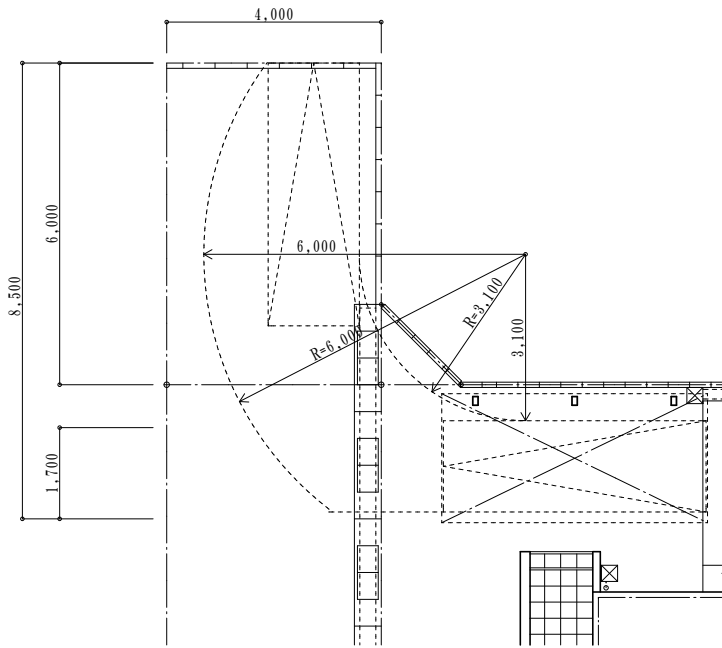
カーポート (世帯用 共通)
 (DHGN (P・K) 2450 四国化成同等品)
 土間コンクリート 厚100 木コテ押エ
 伸縮コテ目地切 @2000
 溶接金網 150x150 φ6
 コンクリート下地 砕石 厚100
 カーポート基礎 3ヶ所/台
 コンクリート独立基礎 500x300x600h

- 凡例
- — 雨水整備の位置を示す
 整備会所までの土間下横引きはVU65とする
 - ⊠ A — 雨水排水会所2400 コンクリート蓋付を示す
 - ⊠ B — 雨水排水会所3000 コンクリート蓋付を示す
 - — 雨水排水VUφ100埋設を示す

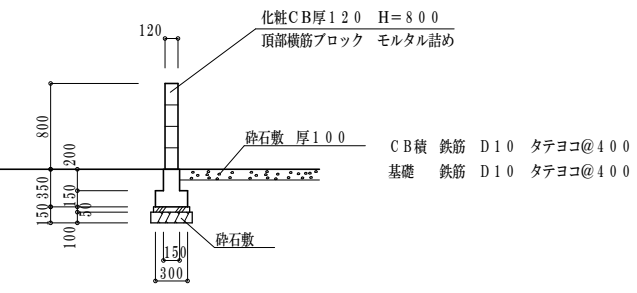
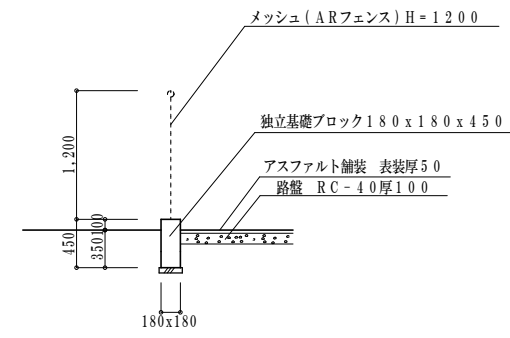
都市設計

工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-42
図面名称	単身用医師住宅 外構平面図	縮尺	1/100・50
製図	ET	日付	H30.3

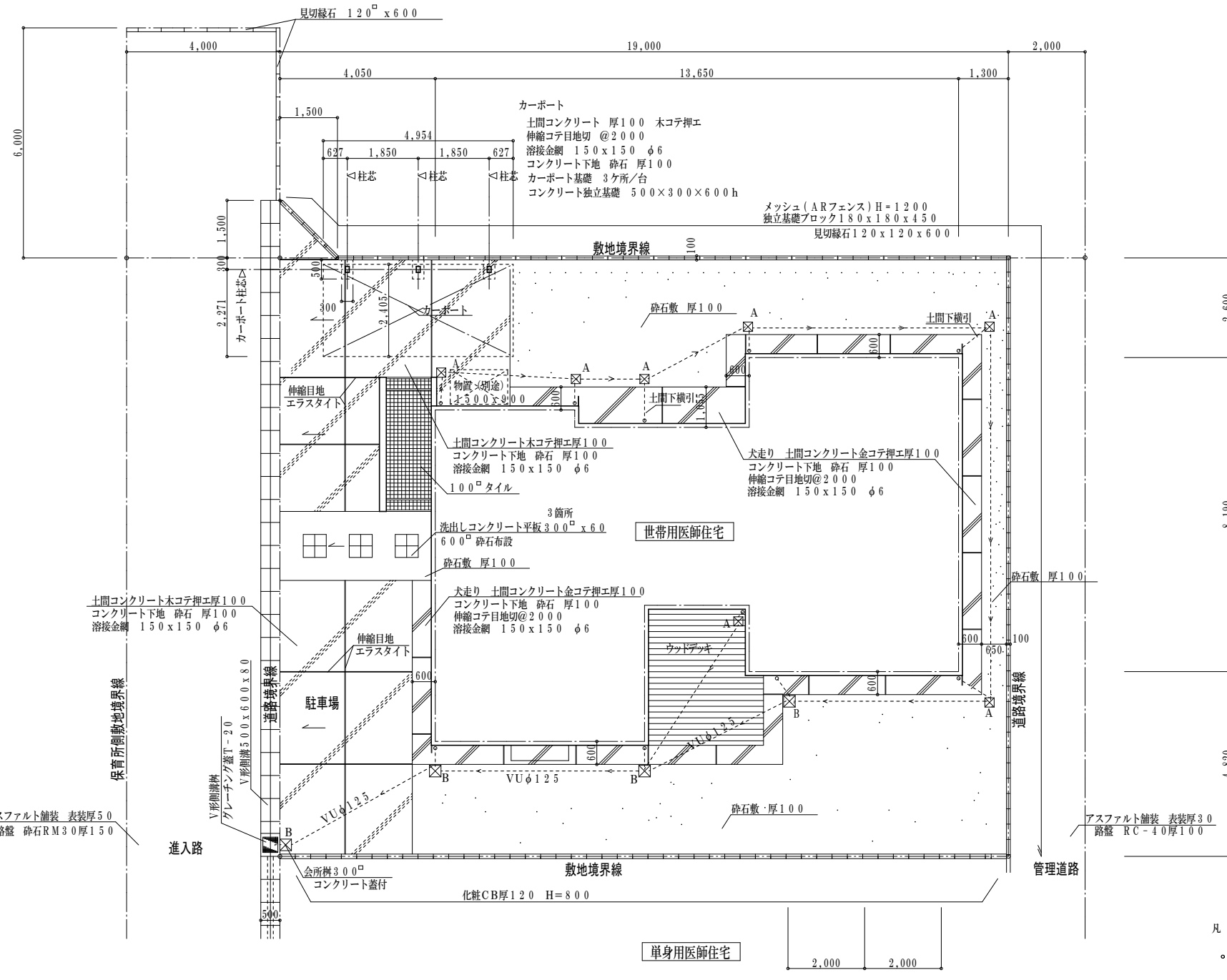
一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号
 一級建築士登録第152097号 村林建設



駐車回転軌跡 S: 1/100



塀回り詳細図 S: 1/50

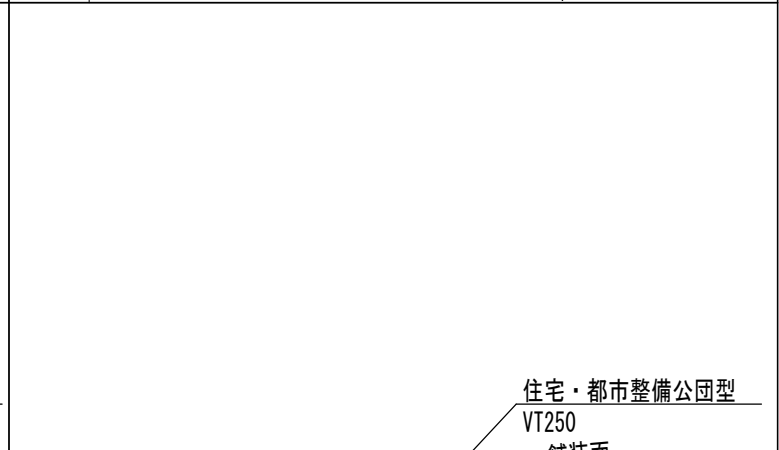
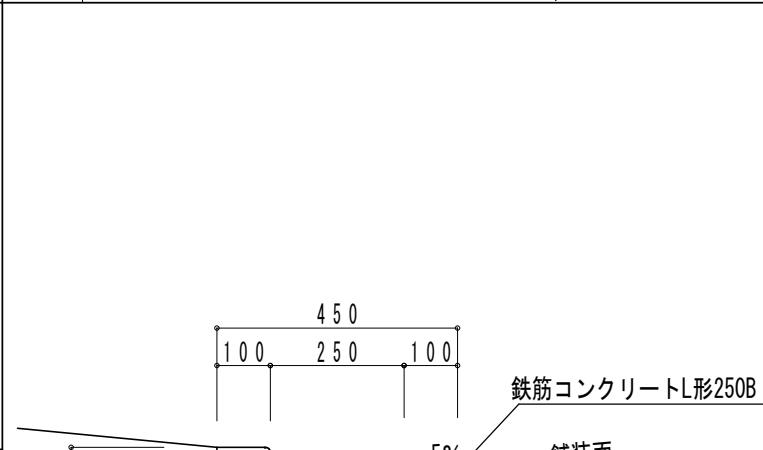
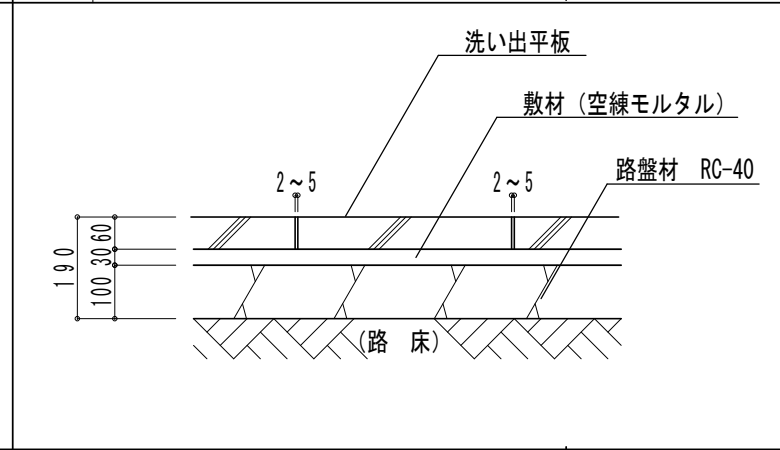
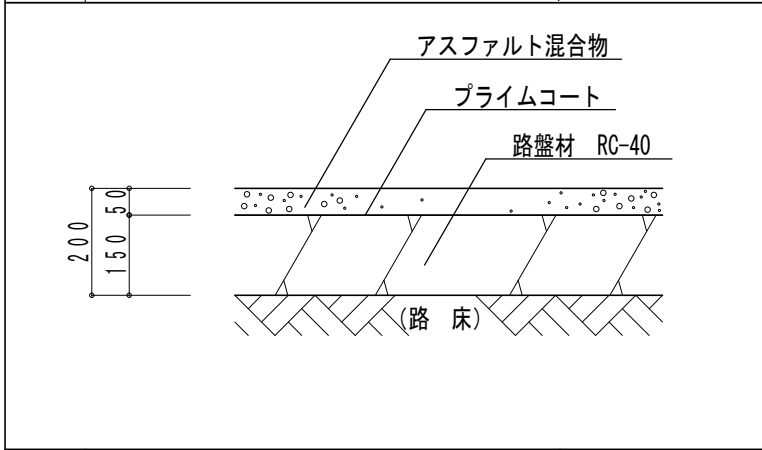


外構図 S: 1/100

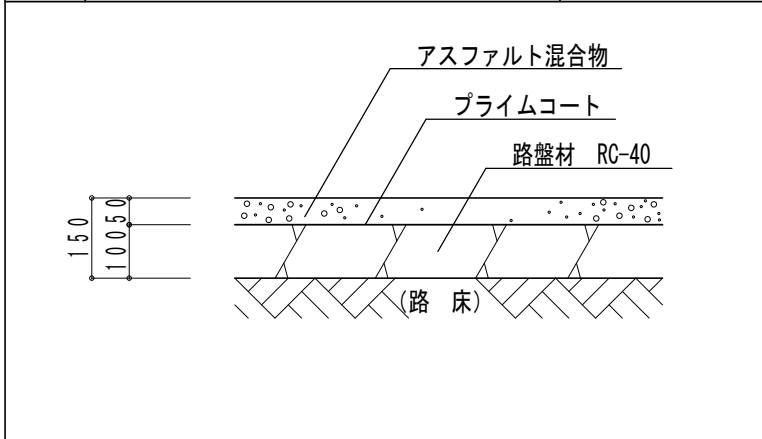
- 凡例
- — 雨水貯留の位置を示す
堅樋会所までの土間下横引きはVU65φとする
 - ☒ A — 雨水排水会所240φ コンクリート蓋付を示す
 - ☒ B — 雨水排水会所300φ コンクリート蓋付を示す
 - — 雨水排水特記の他VUφ100埋設を示す

都市設計		工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-43
		図面名称	世帯用医師住宅 外構平面図	縮尺	1/100・50
		製図	ET	日付	H30.3
		<small>一級建築士事務所登録 (29A) 第01211号 一級建築士登録第152097号 材料俊治</small>			

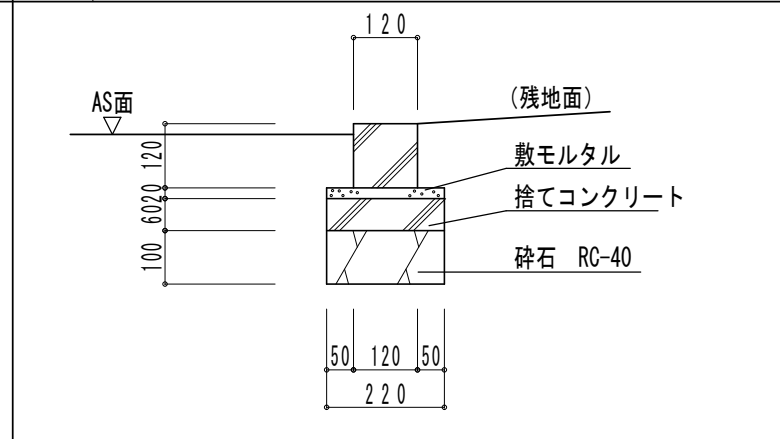
1	進入路アスファルト舗装	S = 1 / 10	3	コンクリート平板舗装	S = 1 / 10	5	L形側溝	S = 1 / 10	6	V形側溝	S = 1 / 10
---	-------------	------------	---	------------	------------	---	------	------------	---	------	------------



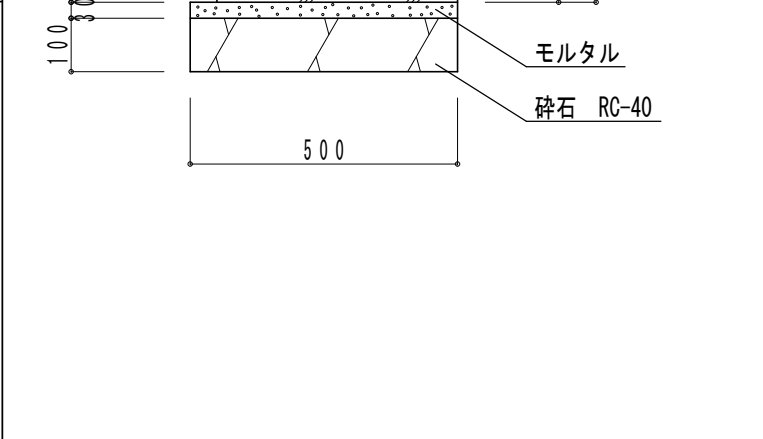
2 管理用道路アスファルト舗装 S = 1 / 10



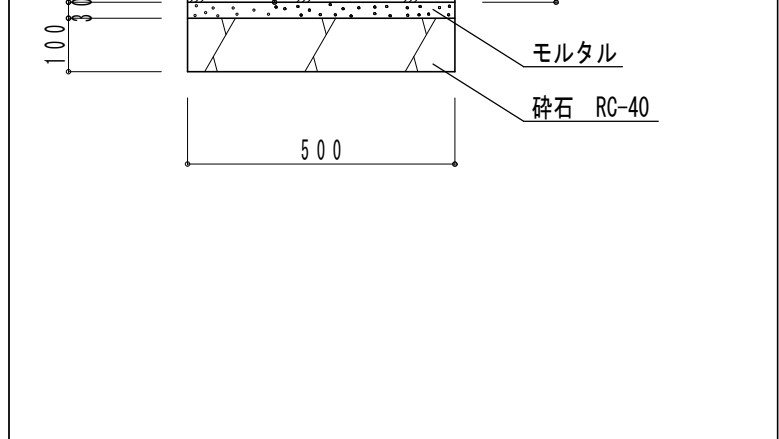
4 見切縁石 S = 1 / 10



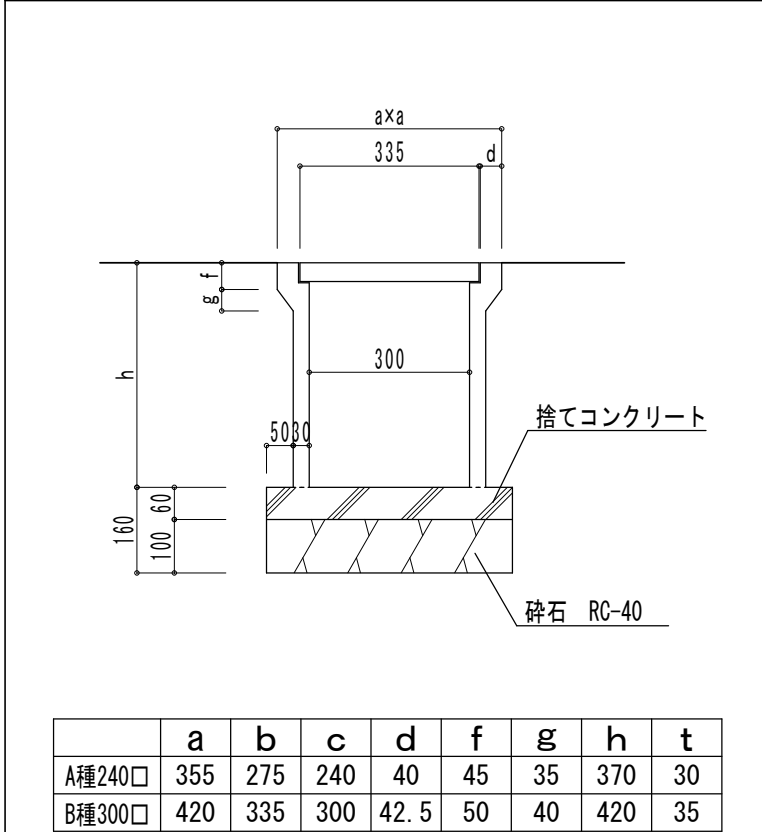
9 L形側溝樹 S = 1 / 10



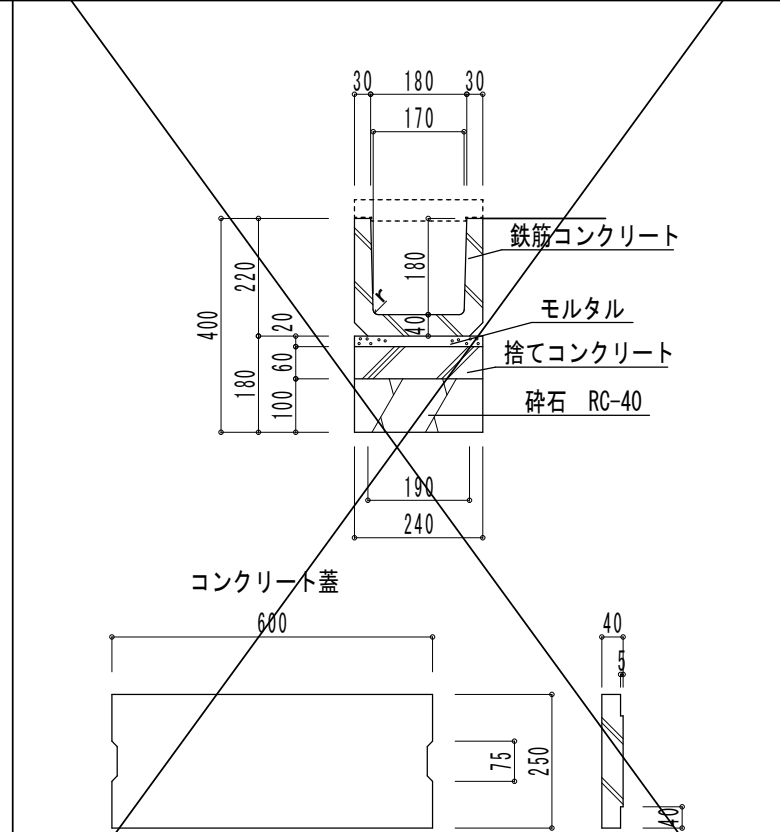
10 V形側溝樹 S = 1 / 10



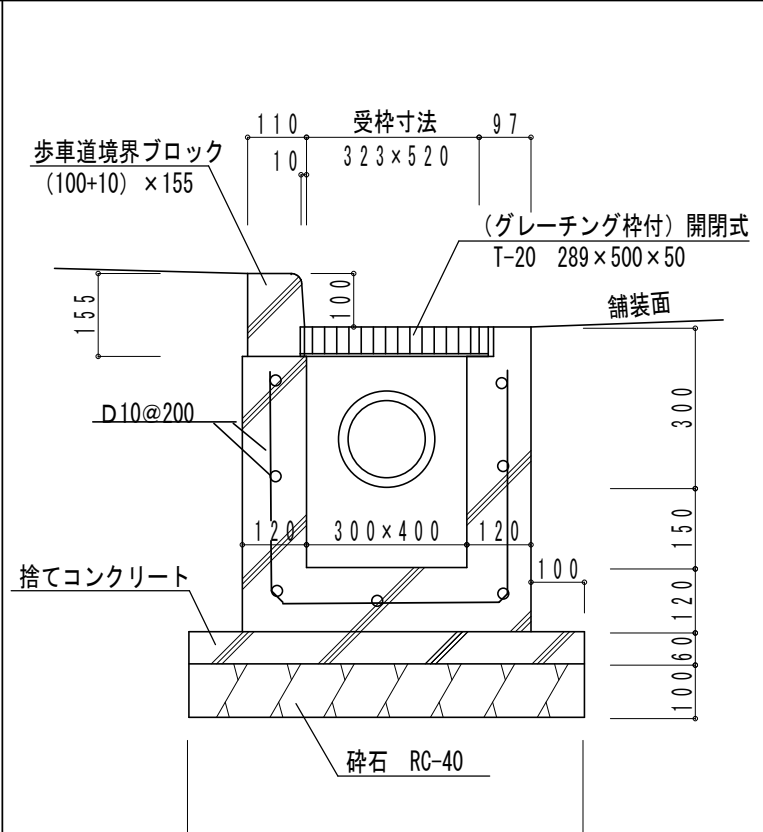
7 雨水排水会所 (A種・B種) S = 1 / 10



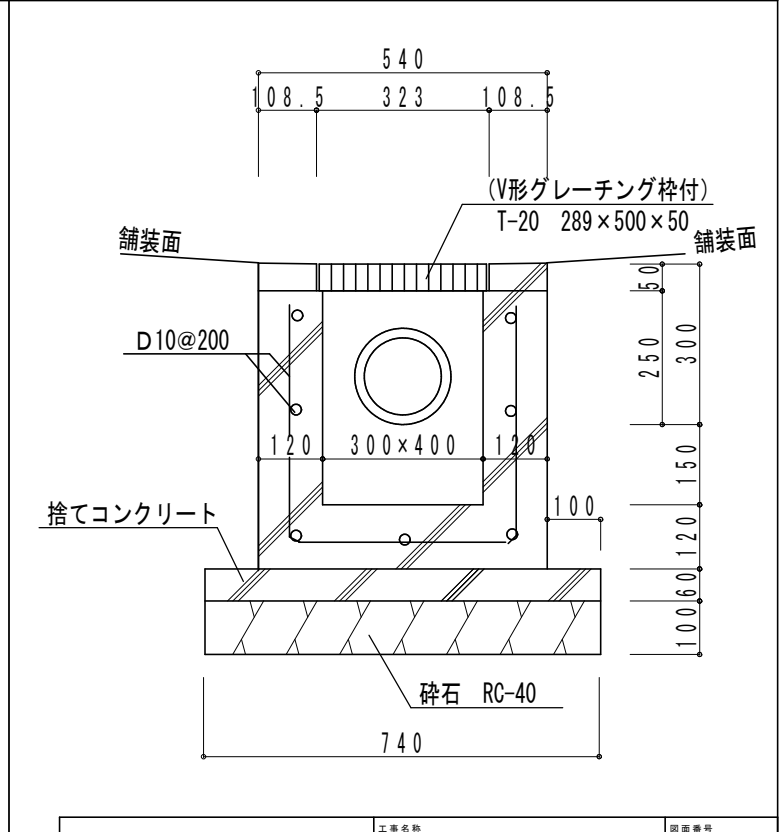
8 U形側溝180 S = 1 / 10



9 L形側溝樹 S = 1 / 10



10 V形側溝樹 S = 1 / 10



都市設計

工事名称	京丹波町立医師住宅新築工事	図面番号	A-44
図面名称	外構詳細図	縮尺	1/10
設計者	一級建築士事務所 森田 昌久	製図	日付
			H30.3